

山梨県笛吹市

竹居古墳群

一中山間地域総合整備事業八代地区竹居2工区

ほ場整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一

2016

山梨県峡東農務事務所
笛吹市教育委員会
公益財団法人山梨文化財研究所

例　　言

1. 本書は、山梨県笛吹市八代町竹居 1630 番地外に所在する、竹居古墳群の埋蔵文化財発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は、中山間地域総合整備事業八代地区竹居 2 工区ほ場整備工事に伴い、笛吹市の委託を受けた公益財團法人山梨文化財研究所が発掘調査および整理作業にあたった。
3. 発掘調査は、平成 26 年 11 月 6 日から翌 27 年 1 月 30 日まで実施した。
4. 本書の執筆は、植月学（山梨県立博物館）、宮澤公雄が行った。
5. 本書の編集を宮澤が行った。
6. 本書に掲載の遺構写真は宮澤が、遺物写真は中川美治、宮澤が撮影した。
7. 発掘調査および整理作業のうち一部の調査・業務について、以下の機関に委託ならびに協力を得た。

基準点・写真測量 株式会社テクノプランニング

鉄器保存処理 公益財團法人山梨文化財研究所

石材鑑定 河西 学（公益財團法人山梨文化財研究所）

骨同定 植月 学（山梨県立博物館）

ガラス小玉材質同定 藤澤 明（帝京大学文化財研究所）

8. 本書ならびに発掘調査に関わる記録図面・写真・出土遺物等は、笛吹市教育委員会が保管している。

9. 本遺跡の発掘調査および整理作業にあたっては、以下の諸機関・各位から多大なるご指導・ご協力を賜った。ここに記して深く感謝の意を表する次第である。

笛吹市教育委員会、山梨県学術文化財課

池上悟、石神孝子、植月 学、小澤美和子、河西 学、小林健二、塩谷風季、鈴木一有、鈴木敏則、坂本美夫、野崎 進、橋本博文、日高 慎、藤澤 明、村石眞澄、森 和敏

10. 参考文献は、執筆者順に第 4 章末にまとめて掲載した。

11. 本墳については、以下の文献において概要を報告しているが、本書をもって正式な報告とする。

宮澤公雄 2015 「竹居古墳群」『山梨考古』第 137 号 山梨県考古学協会

凡　　例

1. 遺跡全体におけるX・Y座標は、世界測地系平面直角座標第VII系のX = -43850.000、Y = 13770.000（北緯35度36分16秒、東経138度39分07秒）を基点（X = 0、Y = 0）とした座標値である。なお、各遺構平面図中に示す方位は、すべて座標北を示している。

なお、真北方向角は-0度5分18秒となる。

2. 遺構・遺物実測図の縮尺は、以下の通りである。

遺構　墳丘 — 1/40、1/100　石室 — 1/40　遺物出土状況 — 1/20、1/30

遺物　土師器・須恵器 — 1/3　金属製品 — 2/3、1/2

玉類 — 1/1　石製品 — 1/3

3. 遺構図版中の遺物分布図のマークは以下の通りである。ただし、マークの向きは平面図については北向き、垂直分布図は垂直方向を基準としている。

■ 土師器　● 須恵器　★ 繩文土器　▲ 陶磁器　□ 金属製品　○ 玉類
◆ 石製品　△ 骨　☆ 黒曜石　◇ 炭化物

4. 遺物図版中で使用したスクリーントーンの凡例は、以下の通りである。

■■■ 黒彩　■■■■■ 須恵器

5. 遺構同一図版中の標高は、原則として統一しているが、一部異なるものもあり明記してある。

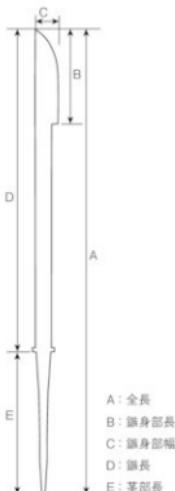
6. 出土遺物分布図中の出土遺物実測図は、任意の縮尺であり統一していない。また、接合関係を表現した線のうち、実線は接合関係にあるもの、破線は直接接合しないが同一個体と判断されるものを表す。

7. 出土遺物のうち、鉄製品についてはさまざまな形状のものがあるため、部位の計測値についてはできるだけ本文中に記載したが、鉄鎌に関する遺物観察表中における計測値は右図による。

8. 石室側壁および石室内の報告において、奥壁より石室入口へ向かい、右側を右側壁、左側を左側壁とする。

9. 遺構図版および遺物観察表中の色調名は、農林水産省技術会議事務所監修
1990『新版 標準土色帖』(小山正忠・竹原秀雄)、尚学図書・言語研究所 1986
『色の手帳』 小学館によっている。

10. 本書で用いた地図は、国土地理院発行の「石和」(1:25,000)、明治25年測量の
1960年刊行「山梨県東八代郡八代町土地宝典 地番地積地図入図」のうち八代
町竹居区分図(1:1,800)、笛吹市「地籍図」(1:1,500)である。



鉄鎌計測部位

目 次

例 言

凡 例

第1章 序 説	1
第1節 調査に至る経緯	1
第2節 調査経過	1
第3節 調査方法	3
第4節 遺跡概要	3
第5節 基本層序	5
第2章 遺跡の立地と環境	7
第1節 遺跡の地理的位置	7
第2節 遺跡の歴史的環境	7
第3章 遺構と遺物	12
第1節 1号墳	12
1 墳 丘	12
2 前庭部	12
3 閉塞部	12
4 石 室	13
5 遺物出土状況	13
6 出土遺物	14
第2節 2号墳	17
1 墳 丘	17
2 石 室	17
3 遺物出土状況	17
4 出土遺物	18
第3節 3号墳	19
1 墳 丘	19
2 遺物出土状況	19
3 出土遺物	19
第4章 科学分析	64
第1節 竹居古墳群から出土したウマ遺体	64
第5章 総 括	67
第1節 竹居1～3号墳の築造年代	67
第2節 象嵌鏡について	69
第3節 竹居古墳群の位置づけ	72
参考文献	73
おわりに	74

表 目 次

第1表 周辺の遺跡一覧	11	第4表 出土遺物観察表（金属製品）	22
第2表 出土遺物観察表（土器）	20	第5表 出土遺物観察表（玉）	23
第3表 出土遺物観察表（石製品）	21	第6表 馬齒計測結果	65

図版目次

第1図 1・2号墳石室区割図	3	第4図 調査区配置図	6
第2図 竹居古墳群周辺の古墳分布	4	第5図 遺跡の位置と周辺の遺跡	10
第3図 標準土層	5	第6図 1号墳平面図	29・30

第7図	1号墳埴丘・周溝セクション図	31・32	第24図	3号墳遺物出土状況	52
第8図	1号墳前底部	33	第25図	出土遺物（1）	53
第9図	1号墳閉塞石	34	第26図	出土遺物（2）	54
第10図	1号墳閉塞石断面図	35	第27図	出土遺物（3）	55
第11図	1号墳掘り方	36	第28図	出土遺物（4）	56
第12図	1号墳石室展開図	37・38	第29図	出土遺物（5）	57
第13図	1号墳前底部遺物出土状況（1）	39	第30図	出土遺物（6）	58
第14図	1号墳前底部遺物出土状況（2）	40	第31図	出土遺物（7）	59
第15図	1号墳主体部遺物出土状況（1）	41・42	第32図	出土遺物（8）	60
第16図	1号墳主体部遺物出土状況（2）	43・44	第33図	出土遺物（9）	61
第17図	2号墳平面図	45	第34図	出土遺物（10）	62
第18図	2号墳縄床	46	第35図	出土遺物（11）	63
第19図	2号墳石室展開図	47	第36図	ウマの歯冠長・歯冠高の比較	65
第20図	2号墳遺物出土状況（1）	48	第37図	ウマ右下顎骨咬合面（上）と頬側面（下）	66
第21図	2号墳遺物出土状況（2）	49	第38図	竹居1号墳出土須恵器分類表	68
第22図	2号墳掘り方	50	第39図	竹居1号墳出土象底鰐類例集成図	70
第23図	3号墳平面図	51			

写真図版目次

図版1	1. 1号墳モザイク写真		3. 1号墳敷石除去状況	4. 1号墳掘り方
図版2	1. 1号墳石室全景	2. 1号墳石室	5. 1号墳出土人骨保存処理状況	
図版3	1. 1号墳調査開始前		6. 1号墳調査風景（1）	7. 1号墳調査風景
	2. 1号墳調査開始前（除草後）		8. 竹居古墳群遠景	
	3. 1号墳奥壁	4. 1号墳右側壁	図版8	1. 2号墳モザイク写真
	5. 1号墳左側壁	6. 1号墳閉塞石	図版9	1. 2号墳縄床検出状況
	7. 1号墳閉塞石内側	8. 1号墳前底部	図版10	2. 2号墳調査開始前
図版4	1. 1号墳右側壁			2. 2号墳調査開始前（除草後）
	2. 1号墳前底部石列（上層）			3. 2号墳閉塞石除去状況
	3. 1号墳前底部礫検出状況（1）			4. 2号墳遺物出土状況（1）
	4. 1号墳前底部礫検出状況（2）			5. 2号墳遺物出土状況（2）
	5. 1号墳第1次閉塞石内側			6. 2号墳遺物出土状況（3）
	6. 1号墳第1次閉塞石基底部			7. 2号墳遺物出土状況（4）
	7. 1号墳遺物出土状況（1）			8. 2号墳遺物出土状況（5）
	8. 1号墳遺物出土状況（2）		図版11	1. 2号墳遺物出土状況（6）
図版5	1. 1号墳遺物出土状況（3）			2. 2号墳遺物出土状況（7）
	2. 1号墳遺物出土状況（4）			3. 2号墳遺物出土状況（8）
	3. 1号墳遺物出土状況（5）			4. 2号墳遺物出土状況（9）
	4. 1号墳人骨検出状況（1）			5. 2号墳遺物出土状況（10）
	5. 1号墳人骨検出状況（2）			6. 2号墳床石除去状況
	6. 1号墳人骨・馬の歯検出状況			7. 2号墳掘り方
	7. 1号墳第2次閉塞石下遺物出土状況（1）			8. 2号墳調査風景
	8. 1号墳第2次閉塞石下遺物出土状況（2）		図版12	1. 3号墳モザイク写真
図版6	1. 1号墳第2次閉塞石下遺物出土状況（3）			2. 3号墳調査開始前
	2. 1号墳第2次閉塞石下遺物出土状況（4）			3. 3号墳調査開始前（除草後）
	3. 1号墳第2次閉塞石下人骨検出状況			4. 3号墳完掘
	4. 1号墳前底部遺物出土状況（1）			5. 3号墳埴丘セクション
	5. 1号墳前底部遺物出土状況（2）		図版13	出土遺物（1）
	6. 1号墳前底部遺物出土状況（3）		図版14	出土遺物（2）
	7. 1号墳西側埴丘	8. 1号墳西側周溝	図版15	出土遺物（3）
図版7	1. 1号墳丘西側断面	2. 1号墳奥壁裏断面	図版16	出土遺物（4）

第1章 序 説

第1節 調査に至る経緯

山梨県では、農業効率の向上を図るために、は場整備事業を実施してきた。笛吹市八代町竹居地区は、モモ、ブドウなどの果樹栽培が盛んであるが、農業用道路などが未整備となっており、中山間地域総合整備事業八代地区竹居2工区はは場整備工事として事業を進めることとなった。

果樹栽培地における圃場整備事業は、立木があるため大きな改変是不可能であり、農道の建設・拡幅、土地境界の直線化などが計画された。

工事対象地域は、古墳時代後期の古墳が点在することが知られており、笛吹市の遺跡台帳にも竹居1～9号墳、蝙蝠塚古墳、おこり塚古墳などが登録されている。しかし、これらは分布調査によるものであり、これまでほとんど調査も行われておらず、古墳の分布や内容など不明な部分が多くあった。

この計画を受け笛吹市教育委員会では、事業の実施に先立って、平成24年11月19日から12月7日にかけて古墳が存在しそうな土地区画を中心に試掘調査を実施した。試掘調査の結果、古墳と思われる痕跡数箇所と土師器・須恵器などが発見されたことから、事業実施に先立って発掘調査が必要であると判断された。上記事業計画に従い、農道建設、土地境界の改変によって影響を受ける古墳を調査の対象とした。

調査の対象となったのは、土地境界の直線化によって墳丘ならびに主体部の一部が削平を受ける1号墳、墳丘裾と思われる部分が削平される3号墳、農道建設によって削平される2号墳の計3基である。ただし、古墳名は、笛吹市教育委員会の遺跡台帳登録の遺跡名を使用したものではなく、今回の調査によって新たに命名されたものである。

平成27年10月、笛吹市より発掘調査事業の説明があり、入札の結果、公益財団法人山梨文化財研究所が調査を行うことになった。笛吹市と公益財団法人山梨文化財研究所の間で委託契約を締結し、発掘調査を実施した。

調査体制

調査主体 公益財団法人山梨文化財研究所

調査担当者 宮澤公雄（公益財団法人山梨文化財研究所）

発掘調査参加者 長田秋文、河西町男、近山辰男、平賀早苗、深沢修、望月一正

整理作業参加者 池田美樹、岩崎満佐子、川口美和、柳原ゆかり、斎藤ひろみ、佐野眞雪、須田泰美、田中真紀美、中川美千子、中川美治、中島一成、原野ゆかり、平賀早苗、藤原五月、横田杏子

事務局 林紀子、柳本千恵子（公益財団法人山梨文化財研究所）

第2節 調査経過

発掘調査事業受託後、平成26年10月7日に発掘調査届を提出、発掘調査は平成26年11月6日から平成27年1月30日まで調査を実施した。発掘調査終了後、2月4日に埋蔵物発見届を笛吹警察署宛に、埋蔵文化財保管証を笛吹市教育委員会宛に提出して発掘調査に関わる諸手続きを完了した。

発掘調査に当たっては、農道建設の工事日程から、2号墳の調査を優先して行うよう笛吹市教育委員会より指示があり、2号墳から順次調査を実施した。

調査日誌

平成26年

11月4日 基準点設置作業

- 11月 6日 機材搬入、排土置き場整地作業、現況写真撮影、1・2号墳除草作業
11月 7日 1・2号墳除草後写真撮影、2号墳調査開始、重機による表土掘削
11月 8日 2号墳周溝検出作業、1号墳石垣撤去作業、
11月10日 1号墳重機による表土掘削
11月12日 墳丘清掃作業、主体部不明なためトレチ設定
11月13日 2号墳横穴式石室基底部石材確認、石室割付、石室内調査、丸玉、ガラス小玉出土
11月14日 1号墳墳丘奥壁側表土掘削、主体部検出作業
11月17日 2号墳石室内調査、金環、鉄斧出土
11月19日 2号墳遺物出土状況写真撮影、3号墳調査開始前写真撮影・除草作業
11月20日 2号墳礫床検出状況写真撮影・エレベーション図作成、3号墳除草後写真撮影・石垣除去
11月21日 2号墳礫床除去、3号墳石垣除去
11月25日 2号墳礫床除去、金環・丸玉・ガラス小玉出土
11月27日 2号墳遺物出土状況写真撮影・周溝調査、1号墳調査区拡張
11月28日 2号墳周溝セクション写真撮影
12月 1日 1号墳石室内調査、2号墳ガラス小玉集中区調査
12月 2日 2号墳ガラス小玉取り上げ、3号墳掘り下げ
12月 4日 1号墳石室内調査、2・3号墳写真測量
12月 6日 1号墳前庭部遺物出土状況写真撮影、2号墳敷石除去
12月 8日 1号墳石室内調査、2号墳掘り方調査
12月 9日 1号墳割り付け
12月12日 1号墳人骨出土状況写真撮影、2号墳掘り方調査、3号墳墳丘断ち割り
12月13日 1号墳入口部調査区拡張、2号墳壁基底部立面図作成
12月17日 1号墳石室用材崩落防止措置、2号墳石室用材解体、掘り方掘り下げ
12月18日 1号墳前庭部土器出土状況写真撮影、2号墳掘り方写真測量
12月19日 1号墳前庭部遺物取上げ、石室内調査、馬の歯出土
12月22日 1号墳石室内・前庭部遺物出土状況写真撮影
12月26日 1号墳前庭部遺物出土状況写真撮影
12月27日 1号墳前庭部エレベーション図作成

平成27年

- 1月 5日 1号墳石室内遺物検出作業
1月 7日 1号墳石室内遺物検出作業
1月13日 1号墳石室内清掃作業、周溝調査
1月14日 1号墳写真測量
1月16日 除雪作業
1月19日 1号墳第2次閉塞石下調査
1月20日 1号墳墳丘断ち割り作業
1月21日 1号墳墳丘盛土除去作業、閉塞石実測作業
1月24日 1号墳墳丘断面写真撮影・図面作成、八窓鏡・佩砥出土
1月25日 1号墳閉塞石図化作業
1月26日 1号墳右側壁解体作業、石室エレベーション図作成作業
1月27日 1号墳右側壁解体作業
1月28日 1号墳奥壁解体作業、掘り方写真撮影・写真測量

1月29日 事務所撤収、調査機材撤収作業

1月30日 発掘調査器材片付け

第3節 調査方法

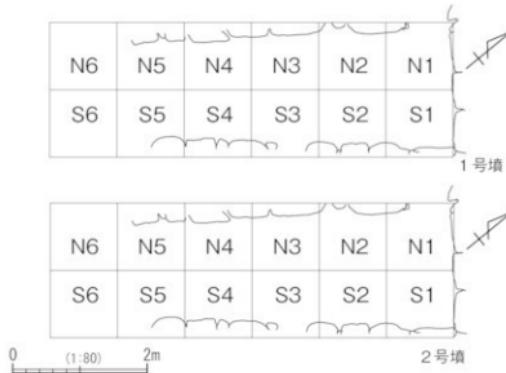
ほ場整備事業によって影響を受ける3基の古墳の調査を実施することとなったが、古墳の現況写真撮影を行うため、除草前後の現況をポールによる写真撮影を実施した。その後、重機による表土剥ぎおよび畠境に積まれた石垣の解体作業を行い、墳丘、周溝の確認作業、石室内の調査を行うこととした。工事が石室内に及ぶ場合は、石室内全体の調査を実施し、石室の解体、掘り方の調査を行うこととし、工事の及ばない石室用材については、現地で埋設保存することが笛吹市教育委員会より指示されていた。

そのため、工事対象地内となる石室用材については、石室内の調査が終了した段階で、記録図化と並行しながら重機により石室用材の解体を実施した。石室掘り方については、平面図ならびにエレベーション図の作成を行った。

調査対象となった3基の古墳を被うように国土座標にあわせて南北方向をX軸、東西方向をY軸とするグリッドを設定し、南西隅を基点とした、世界測地系平面直角座標第VII系のX = -43850.000、Y = 13770.000（北緯35度36分16秒、東経138度39分07秒）を基点（X = 0、Y = 0）とした。

出土した遺物は、原位置が明らかなものは、写真測量によって微細図を作成し、光波測量機器を用いて個別に取り上げを行った。また、石室内は国家座標によって設定したグリッドとは別に、石室主軸ラインを基準として1mのメッシュで区割りを行い、区画毎に床面覆土の回収を行い、土壤洗浄によって微細遺物の回収に努めた（第3図）。

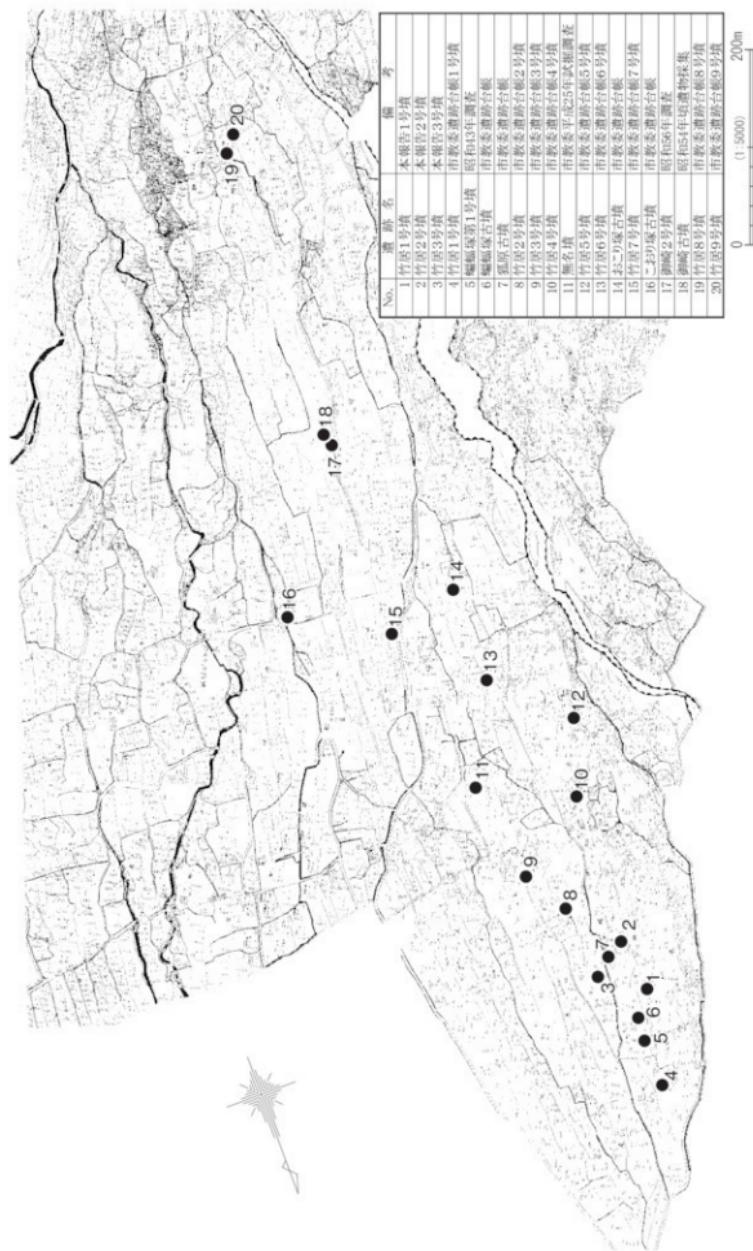
遺構図の作成は、写真測量を基本としたが、セクション・エレベーション図などの一部図面は手作業による実測などで補完し、遺物微細図については簡易写真測量によって、記録の作成を実施した。



第1図 1・2号墳石室区割図

第4節 遺跡概要

笛吹市八代町竹居に所在する竹居古墳群は、浅川によって形成された扇状地扇尖部に広く分布する古墳時代後期の群集墳であるが、笛吹市教育委員会の遺跡台帳においても、竹居古墳群の名称は使用しておらず、古墳群としての認識はされてこなかった遺跡である。この点在する後期古墳については、開墾等によって削



第2図 竹居古墳群周辺の古墳分布

平を受けているものがほとんどであり、分布状況も明らかにできず、考古学的な調査もほとんど実施されていないことから、その実態は不明な部分が多い。

「八代町誌」によれば、竹居地区には 15 基ほどの古墳があったとされる。そのうちの 1 基であるおこり塚は前方後円墳で、周間に瓢箪形の周溝があったとされる（第2図14）。勾玉、管玉が出土したようであるが、昭和 30 年頃全壊したという（八代町 1975）。その他については、古墳時代後期の横穴式石室墳だとされるが、耕作により削平されたものが多く、出土遺物もほとんど知られていない。

笛吹市の遺跡台帳には、竹居地区において 16 基の古墳が登録されているが、その内容は明らかではない。

竹居古墳群の名称は、本調査を契機として命名されたもので、過去に遺跡台帳に登録された遺跡との整合性については、今後の課題である。

竹居地内で最も下位に位置する蝙蝠塚第 1 号墳は、昭和 43 年に八代町誌編さん事業の一環で発掘調査が実施されている（第2図5）。南西に開口する横穴式石室墳で、石室全長 6.7 m、奥壁幅 2.1 m、入り口幅 1.4 m を測る。墳丘は削平されており、主体部も石室の基底部しか残存していなかった。石室内からは、土師器・須恵器・馬具・金環・刀子・北宋銭・かわらけなどが出土している。

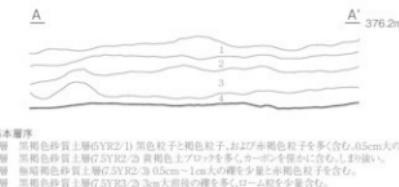
現状では、古墳と認識できる古墳は 1 基あり、笛吹市の遺跡台帳では竹居 4 号墳とされている（第2図）。天井石も残存する。その他は、土地形状や石垣の状態から古墳と推測されるものが数カ所確認できるだけである。

第2章第2節でも触れるが、竹居地区の中では上位に位置する御崎古墳は、豪華な飾り馬具を出土しており、7世紀後半の築造とされる（第2図18）。竹居古墳群は命名されたばかりでどこまでを範囲とするのか定められていないが、竹居地区の古墳を総称するのであれば、御崎古墳も竹居古墳群のうちの 1 基といえる。

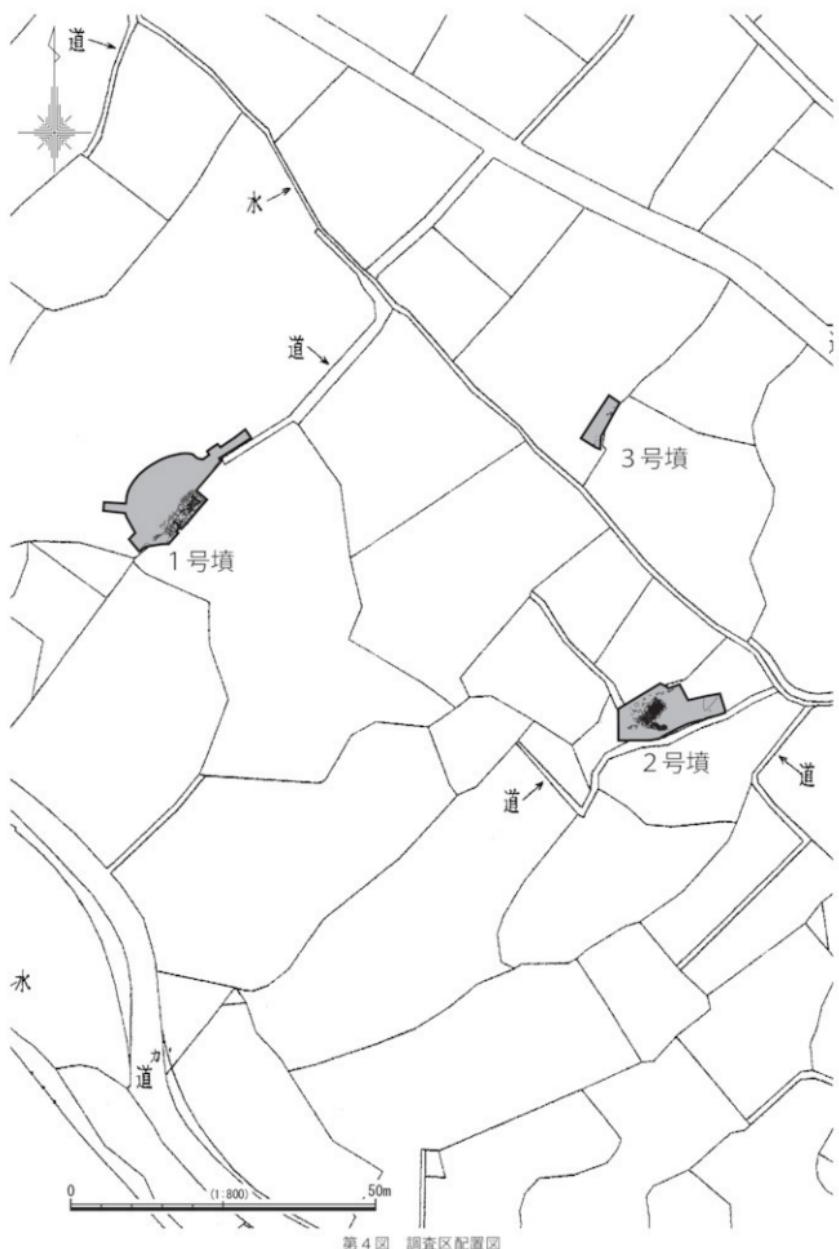
今回発掘調査を実施した 3 基の古墳は、竹居古墳群の中では下位に位置しており、その下位には岡地区が隣接している。岡地区内においても、浅川右岸沿いに古墳の分布が確認されており、竹居古墳群から分布が続く状況から、本来一体の群集墳であったことが想定される。

第 5 節 基本層序

調査区は、浅川扇状地上にあり、南西に向かう緩傾斜面となっている。緩斜面のため、遺構確認面までの表土層は浅く、耕作土である表土直下が遺構確認面となっている。第1図に示したのは、1号墳墳丘下の土層堆積である。墳丘盛土下には、墳丘構築時の表土層と思われる黒褐色土層が残存していた。第1層は黒褐色砂質土層で、旧地表土。第2層は同じく黒褐色砂質土層であるが、王褐色土ブロックを多く含む。第3層は極暗褐色砂質土層である。第4層は黒褐色砂質土層で、周溝などの遺構確認面である。



第3図 標準土層



第4図 調査区配置図

第2章 遺跡の立地と環境

第1節 遺跡の地理的位置

竹居古墳群の所在する山梨県笛吹市は、甲府盆地東部に位置する。

平成16年10月に東八代郡石和町・御坂町・一宮町・八代町・境川村・東山梨郡春日居町が合併して笛吹市として発足。平成18年8月には東八代郡芦川村を編入して現在に至っている。秩父山地鶴冠山西麓に発する東沢と国師ヶ岳南東麓に発する西沢を源流に持つ笛吹川が市域の北側を北東から南西へ流れしており、市名の由来ともなっている。市域の多くは、积遜ヶ岳、黒岳をはじめとして、1,500m級の山々からなる御坂山地の山裾および山地から流れ出たいくつかの河川によって形成された扇状地上に立地する。

笛吹市八代町は、笛吹川左岸に位置し、北は笛吹川を挟んで旧石和町、東は天川を挟んで旧八代町、西は浅川とその支流竜安寺川を境として旧境川村、南は鳥坂峠を境として旧芦川村と接している。旧町域の南東は御坂山塊に属し、北西部はこの山塊の神座山から流れ出した浅川によって形成された扇状地上に広がり、町の主要部を成している。この浅川扇状地は、肥沃な農地を形成し、笛吹川沿岸および先端部は水田、扇央部は桑園として利用されてきたが、近年は、桃・ぶどうなどの果樹栽培が盛んに行われている。

竹居古墳群の立地する八代町竹居は、浅川によって形成された扇状地の扇央部付近に位置している。

第2節 遺跡の歴史的環境

本遺跡の所在する笛吹市八代町周辺は、山梨県内においても遺跡が多い地域として知られており、260カ所を超える遺跡が確認されている（八代町教育委員会1990）。

町域南側に展開する御坂山塊は、山梨県内でも有数の縄文時代の遺跡が濃密に分布しており、縄文時代前期後半を主体とする花鳥山遺跡は著名であり、大正時代からその名は知られていた。昭和29・30年には国学院大学によって発掘調査が実施され、3軒の堅穴住居と多量の遺物を発見している。また、昭和62・63年度に実施された調査では、幅3m、長さ270mほどの調査であったが、20軒余りの堅穴住居とともに多量の遺物が発見された。住室内からは栽培種と考えられるエゴマをはじめ、球根類やドングリ、シカ・イノシシなどの獸骨、魚骨なども検出されている（第5図187）。

弥生時代になると、扇状地先端部に多くの遺跡が知られるようになる。身洗沢遺跡は、低湿地性の後期の遺跡で、弥生時代の水田跡が山梨県下において初めて検出され、農具などの多くの木製品や種子なども発見された。発見されたクワ、エブリ、膝柄クワの柄、又クワなどの農具は、県指定の文化財となっている。その他、向田遺跡、屋敷内遺跡、沢の木遺跡などの弥生時代遺跡が知られる。

八代地域では、63基の古墳が確認されている（八代町教育委員会1990）。本地域は、中道地域とともに唯一、古墳時代前期より古墳が造営された地域である。浅川左岸に位置する丘陵は、三珠地域から連なる曾根丘陵の東端にあたり、多くの遺跡が知られている。

岡銚子塚古墳は、本地域において最初に築造された前方後円墳である。全長92mを測り、後円部上に粘土櫛の主体部をもつ。宝曆13年に発掘され、遺物は現存しないが鼈龍鏡、彷彿二神二獸鏡など3面の青銅鏡が出土した（同268）。中道地域以外で最初に築造された古墳であり、墳形、埴輪、副葬品などから、甲斐銚子塚古墳との関係が注目されている。

米倉の通称竜安寺には、一辺52mを測る竜塚古墳が立地する（同283）。大形の方墳で、これまで築造時期が不明であったが、発掘調査によって墳頂から土師器が出土し、5世紀前半の築造であることが明らかとなり、八代地域では岡銚子塚古墳に続く首長墓といえる。この古墳が、墳形として方墳を採用したのかは、明らかではない。

岡銚子塚古墳の前方部側に杯塚古墳がある。径23mの円墳で、堅穴式石室を有するとされ、5世紀中頃

に築造されたものである（同 267）。

これ以降、後期後半に至るまで丘陵上に古墳が造られることはなく、平坦地に古墳がみられるようになる。狐塚古墳は、全長 52 m ほどの前方部が縮小した前方後円墳で、埴丘には埴輪を巡らす。後円部上の主体部は不明であるが、昭和初期に前方部上に土俵を造る際、鉄劍、鉄刀、鉄鋒などが出土しており、5世紀後半代の築造だとされる（同 154）。狐塚古墳に続く古墳としては、团栗塚古墳が知られる。前方後円墳とされるが、現在は後円部だけが残存している。全長 30 m ほどの帆立貝形の古墳と考えられ、後円部上に竪穴式石室と組合せ石棺が並列している（同 139）。

莊塚古墳は偶然発見され、土師器、須恵器、直刀、金環、勾玉、管玉などが出土し、須恵器は MT15～TK10 に比定されるもので、本県では初現期の横穴式石室墳と考えられている。莊塚古墳の東側には石室全長 10.1 m の左片袖型横穴式石室を有する地蔵塚古墳がある（同 246）。副葬品は知られていないが、6世紀末から 7世紀初頭に比定できる甲府盆地でも有数の有力墳である。

古柳塚古墳からは、銀象嵌円頭大刀柄頭、金銅製透彫心葉形鏡板付簪、壺鏡など豪華な副葬品が出土している（同 255）。

竹居 1～3 号墳周辺にも古墳が点在したことが知られており、竹居古墳群のおおよその範囲は第 5 図 1 に示した。しかし、分布範囲の把握もできておらず、どの程度の広がりをもつかも明らかにできない無いため、あくまでも暫定的なものである。

御崎古墳は、長さ 8 m ほどの横穴式石室墳をもち、農作業によって須恵器、鉄劍、鉄鎌、馬具、丸玉、ガラス小玉などが出土した（同 199）。なかでも、馬具類は金銅製で毛彫りが施される「毛彫馬具」で希少なものである。7世紀後半に位置づけられ、位置的には本古墳群に隣接しており、同一の古墳群とみることもできる。

本地域をはじめとして、天川、金川周辺には多くの後期古墳群が群集している。天川右岸には下野原古墳群があり、蝙蝠塚古墳（同 81）、彈誓窟古墳（同 109）などが大形墳として知られる。

金川扇状地扇端に位置する錦生古墳群は、大小の古墳からなるが、その中核を成すのは全長 17.54 m の大形横穴式石室を主体部にもつ姥塚古墳である（同 59）。姥塚古墳は、直径 40 m ほどを測り、南西に開口する左片袖の横穴式石室墳である。古くから開口していたようで、出土遺物は明らかではないが、石室形態から 6世紀後半の築造と考えられている。姥塚古墳に隣接する姥塚遺跡（後畠遺跡）においても、4基の古墳が調査されている（同 69）。そのうちの 2 基は横穴式石室が残存しており後期古墳であるが、石室の痕跡を残さない 1 基からは、古式の須恵器高坏が出土しており、5世紀代に遡る低墳丘古墳であると考えられる。同井之上地内からは陶棺が出土している。陶棺は幅 1 段、長さ 2 段 5 寸ほどの礎床の石室から出土しているらしい。山梨県内においては唯一の例となるが、胎土や脚の装着方法から在地のものとされ、その大きさからは火葬骨や小児の埋葬施設と考えられている（小野 1999）。

金川両岸には多くの古墳が分布している。左岸の長田古墳群は、自然堤防上に立地し、金川工業団地建設に先立って平成元年（1989）11月 1 日より発掘調査を開始し、35 基の古墳を調査した（同 76）。すべて円墳で、南西に開口する横穴式石室であった。石室形態は基本的には有袖型と無袖型の二つに大別されるが、主体部のはほとんどを地下に構築する半地下式の主体部、T 字形石室などもみられ、形態的にはバラエティーに富んでいる。金川周辺に分布する古墳群の中では造墓開始が比較的早く、6世紀中頃より造墓活動を開始している。

長田古墳群の下位に位置する四ツ塚古墳群は、昭和 56 年に中央自動車道開設に先立って 22 基が、平成 7 年に「山梨県森林公園金川の森」建設に先立って 5 基の後期古墳が発掘調査されている（同 44）。直径 15 m から 16 m ほどの円墳が多く、川原石乱石積みの横穴式石室が主体を占める。副葬品には、土師器・須恵器のほか、勾玉・管玉・切子玉・円頭把頭・八窓鏡・象嵌柄縁金具・鉄鎌・鎌・刀子などが知られる。6世紀末頃から 7世紀後半まで造墓を行っていたものと思われる。

金川右岸の国分墓地古墳群は、110 基ほどの古墳が知られる大規模な群集墳である。分布にいくつかのま

とまりがみられ、下流域から国分墓地・国分南森・塙田本地蔵・塙田大新田の支群に分けることができる。調査例はわずかであるが、主体部は、自然石の乱石積みで、ほとんどが横穴式石室を有し、無袖式と両袖式のプランが知られる。

国分墓地古墳群に隣接する樂音寺古墳群は、塙田古墳群とも呼ばれ、稻荷塙古墳、狐塙古墳、蝙蝠塙古墳、八幡塙古墳が知られる。

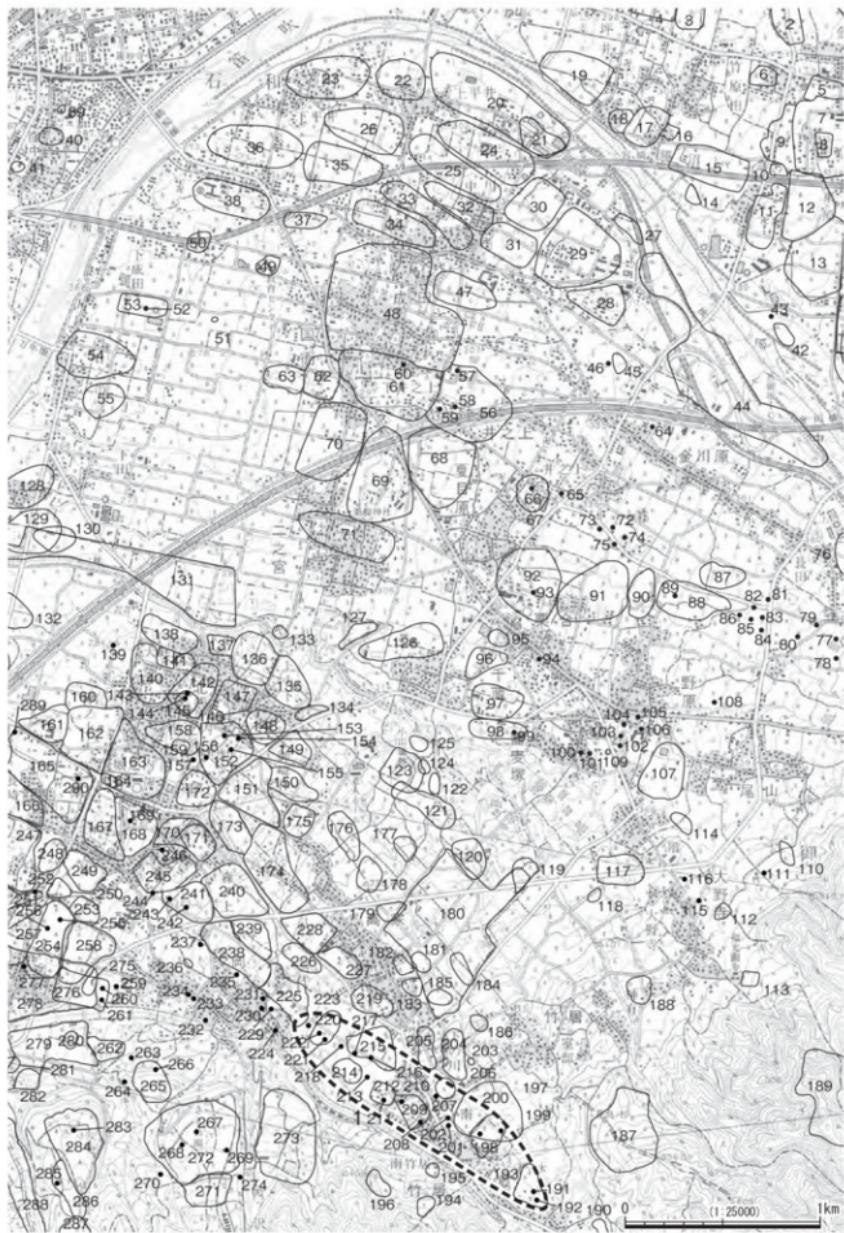
経塙古墳は、金川右岸に位置する。金川の森公園建設に先立って復元整備を目的として発掘調査が実施された（同 43）。主体部は自然石乱石積みの両袖式横穴式石室で胴張りの玄室長 3.0 m、羨道部長 3.6 m の小形墳である。出土遺物は鉄斧が知られるのみであるが、石室プランなどから 7 世紀前半に築造されたものだと考えられている。墳形は八角形墳とされるが、問題も多い。

浅川扇状地上には古墳時代の集落遺跡も数多く知られている。堀之内遺跡（同 163）、五里原遺跡、三光神遺跡、下長崎遺跡（同 247）、保ノ下遺跡（同 162）などが、浅川扇状地扇端部から扇央部にかけて広く分布している。

浅川扇状地上には、奈良時代以降の遺跡も多数知られ、堀之内遺跡、八王子遺跡（同 172）、金地藏遺跡（同 151）などがある。平安時代には、遺跡数も増加し、八代地域は「和名類聚抄」記載の八代、長江の郷にあたるものと考えられている。甲斐四郡のうちの一つである八代郡という郡名もこの八代にちなんでいることから、郡家の所在地であったものと考えられている。

竹居古墳群の東側を甲斐と駿河を結ぶ若彦路が通っている。若彦路は、平安時代末の『吾妻鏡』を初見として、中世以降には軍事的に重要な役割を果たしてきた。古道が通る竹居地区にはヤマトタケルにちなんだ口碑や伝承が遺されている。岡跳子塙古墳に代表される古墳時代以降の八代地域の発展を考慮すれば、この古道が古墳時代当初より機能していたことが想定される。

以上のように、本地域は古墳時代前期以降、後の八代郡の中心地として繁栄を続けてきた地域といえ、古代甲斐国において本地域が果たした役割は大きかったものと考えられる。



第5図 遺跡の位置と周辺の遺跡

第1表 周辺の遺跡一覧

第3章 遺構と遺物

第1節 1号墳

3基の古墳のうち最も下位に立地する1号墳は、X = 45、Y = 16 グリッドを中心として位置している。

1 墳丘（第6・7図）

本墳の墳丘は大きく削平を受け、平坦化され、モモ畑として使用されていた。ただし、墳丘の西側は畠が一段低くなってしまい、1.2 mほどの比高差が存在した。そこには石垣が積まれ、石垣は弧状となっており、古墳の存在が明確であった。

表土である耕作土および石垣を撤去し、残存する墳丘の検出作業を実施した。表土から 0.15 mほど掘り下げた段階で墳丘盛土が確認された。

墳丘の残存高さは 1.2 mほどで、径 16 mほどであった。

墳丘西側と奥壁側において周溝確認のためのトレンチ調査を実施した。その結果、西側の第1トレンチでは、現存墳端より 1.28 mのところで、幅 0.86 m、深さ 0.15 mほどの浅い落ち込みを確認したため周溝であると判断した。奥壁側の第2トレンチでは、残存状況は良好ではなかったが、現存墳端より 2.9 mのところで、幅 0.96 m、深さ 0.1 mほどの浅い落ち込みを確認したためこちらも周溝であると判断した。2ヶ所で確認された周溝の痕跡から、径 20 mほどの墳丘を有していることが推定された。

墳丘の断ち割り調査も実施し、盛土の状況も確認した（第7図）。墳丘東側は調査区外となっているため、主体部主軸並行線上と直交線上に設定した。直交線上では、第27層が古墳構築時の表土層であり、第30層までが自然堆積層である。旧地表から墳丘残存部の盛土は 0.6 mほどが確認された。暗褐色砂質土と黒褐色砂質土を水平方向に互層状に積み上げ、墳丘を構築している。平行線上においても同様な状況が確認された。主体部構築のための掘り込みは、墳丘盛土と同時に並行で行われたものと考えられる。

2 前庭部（第8図）

南西方向に開口する横穴式石室墳の入口部には入口部側壁より平坦な礫を墳丘に貼りつけるようにして、「八字状」に聞く前庭部を形成していた。前庭部には細片となった須恵器とともに、多量の礫が確認された。これらの礫がいつ頃投棄されたものかは明らかではない。

投棄された礫を取り除くと、石室入口部から弧状に並行する石列がみられた。築造時以降の入口部の改変に伴うものだと判断された。

築造時の前庭部は、墳丘に礫を貼ったような状態であった。左側は3石ほどで調査区外となっていたため、どのように延びていたのか不明であるが、右側は墳丘端へ向かい弧状に広がりをもつことから、墳丘へ巻き込むように広がりを持っていたものと考えられる。前庭部底面には礫などを敷いた痕跡は確認できず、0.4 × 0.3 mほどの平石が1石のみ埋め込まれていた。

3 閉塞部（第9・10図）

閉塞石は、奥壁から 5.47 mのところに位置し、基底部で奥行 2.13 mを測る。長さ 0.3 ~ 0.5 mほどの細長い礫を3段ほど主軸と並行に並べていた。閉塞は、石室側から 0.75 mほどのところで、石積みが明瞭に区分できることから、石室内方向への拡張積み直しが行われていたようである。石室側から2列の石積みは拡張閉塞部のものである。第2次閉塞石下から、礫床および遺物が出土したことからも裏付けられよう。閉塞部の石室側立面は、綺麗な面を形成はしていないかった。第1次閉塞は、入り口側に小形の礫を乱雜に配し、その内側に細長い礫を2列並べており、奥行きは入り口閉塞部より 1.35 mほどある。入口部に小礫を配していたため、正面の景観は端正なものではない。

4 石室（第12図）

主体部は南西に開口する無袖型の横穴式石室墳である。側壁の残存状況が悪く、断定は出来ないが、残存する側壁からは、玄室と羨道を区分するような側壁の積み方は確認できない。主軸をN-39°-Eに採り、石室全長7.41m、幅は奥壁で1.95m、石室中央部で1.60m、入口部で1.09mを測り、奥壁から入口に向かい石室幅が半分ほどになる極端な羽子板状を呈する。側壁は弧状とはならず直線的である。

床面には0.05~0.15mほどの礫を乱雑に敷き詰めていた。本来、石室内全体に敷かれたものであろうが、後世の擾乱によって礫がみられない部分が多い。奥壁から1~2mの範囲には0.3~0.4mほどの扁平な礫を据え置いたものが数点みられる。

側壁のうち右側壁は入口から1.2mほどは基底部の1段のみ残存し、それより奥側は3段ほどが残存する。石室用材は、0.5~0.8mほどの比較的扁平な花崗岩の自然石を横口を石室内に向け積むのを基本としている。大形の用材の隙間は小形の亜円礫で充填している。

左側壁は、入口部から3.5mほどは大きく破壊を受け、1~2段のみ残存し、それより奥側は3段ほどが残存する。用材の積み方は、右側壁と同様である。両壁とも床面からの残存高は、1.1mほどである。

奥壁は、幅0.7~1.0mほどの扁平な礫を広口に積んでおり、2段が残存していた。基底部では3石、2段目は2石を用いて石室幅を満たしている。

天井石は残存せず、石室内への崩落も確認できなかった。

5 遺物出土状況（第13~16図）

前庭部における遺物出土状況は、多量に投棄された礫の下層より須恵器を中心とした土器類が多量に出土した。いざれも小破片となっており、故意に破碎したものと考えられる。出土した須恵器には、甕を中心として壺身、壺蓋、甕、瓶などがある。前庭部西側に積まれていた石垣を解体したところ、裏込めの中から多量の須恵器片が出土した。前庭部を削平し、石垣を積んだ際に埋め込まれたものであろう。

前庭部や閉塞石上からは土器類のほかに、鍔、鉄鎌なども出土しているが、盗掘時に石室内より持ち出されたものであろう。

石室内における遺物出土状況は、盗掘等による搅乱によってあまり良好ではなく、石室中央部付近では床石もほとんど残存してなかった。出土遺物としては、須恵器、武器（刀装具（鍔・籠・切羽・責金具）、鉄鎌）、装身具（金環・勾玉・ガラス小玉）、石製品（砥石）などがある。

須恵器は、石室内に置かれたような状況は認められず破片が少量出土したに過ぎない。ただ、右側壁付近の第2次閉塞石下には、提瓶の胴部がまとまってみられ、前庭部出土の破片と接合関係にある。閉塞石下ということもあり、破片後、石室入口部と前庭部付近に投棄された可能性が高い。

刀装具のうち、鍔は4点出土しているが、そのうち八窓鍔および多円孔の鍔は、第2次閉塞石下にあり、閉塞部を解体した際に出土している。無窓鍔のうち大形のものは、閉塞石上から出土しており、石室内より持ち出されたものだと考えられる。小形のものは、石室右側の閉塞石寄りから出土している。籠は、八窓鍔に隣接して第2次閉塞石下から出土している。切羽は、奥壁左隅付近から鉄鎌、刀子などとともに出土している。象嵌装大刀は、入口部に置かれたものと考えるより、切羽が奥壁付近より出土したことから、本来奥壁付近に置かれたものが、追葬による片付けによって入口部に置かれ、その後、第2次閉塞下になったものと考えられる。

責金具は、多くが石室内閉塞性付近ないし第2次閉塞石下から出土している。

鉄鎌は、先触れたように、奥壁左隅付近と、第2次閉塞石下に分布が大きく分かれる。

金環は2点出土しているが、1点は閉塞石中より発見され、勾玉も同様な状況にあったことから、第2次閉塞時に閉塞石下に埋まつたものか盗掘の際持ち出されたものであろう。もう1点の金環は、奥壁右隅付近のN-1区より出土している。ガラス小玉は10点ほどあり、N-1・2、S-6区からの出土が多い。

砥石は2点出土しているが、1点は墳丘上、提砥は八窓鍔とともに、第2次閉塞石下より出土した。

また、石室内の全域から人骨が出土しているが、散乱しており、埋葬状態を示す状況にはなかった。とくに奥壁寄りに多くみられ、S-1・2区において集中傾向にある。石室中央付近からは、馬の歯も出土している。馬の歯については、年代測定も実施したが、計測不能ということであり、古墳に伴うものかどうか明らかな出来ない。

以上のように、発見された遺物は、本来の副葬状態を保ったような状況ではなく、かろうじて奥壁左隅付近に遭された遺物と、第2次閉塞石下になった遺物が盗掘を免れ、残存したに過ぎないことが明らかとなつた。

6 出土遺物（第25～32図）

本墳からは、土師器・須恵器のほか、金属製品として刀装具・鉄錐などの武器、装身具としての金環・勾玉・ガラス小玉、刀子、提砥などがある。

a 土器

土器では、土師器と須恵器が出土しているが、土師器はわずかで須恵器が圧倒的数量を誇る。

土師器（第25図）

第25図1～5は、土師器である。同1・2は碗形になる壺で、1は口縁部の内外面に煤の痕跡がある。同3・4は、いわゆる須恵器模倣壺で、外面に棱を有する。3は口縁部が稜から外方に大きく開き、4はそれほど外反せず、立ち上がる。同5は高壺で、身部と脚部下半を欠損する。みこみ部は丹念な磨き、外面はヘラナデによって調整されている。

須恵器（第25～30図）

第25図6～49・第30図1～5は須恵器で、出土量も多く、器種も豊富である。第25図6～30は壺身である。器径、立ち上がりの高さ等によっていくつかに分類できる。器径11cm前後を測り、立ち上がりが比較的高いもの（同6～8）、器径10cm前後を測り、立ち上がりは低いが、若干の直立傾向がみられるものの（同9～20）、器形は半球形を呈し、器径9cm前後を測る。立ち上がりは退化し、受部より上にわずかに突出するのみのもの、器径11.7cmとやや大型であるが、立ち上がりは退化が著しく、受部より上には突出せず、焼成がややあまいもの（同29）、器径10cm前後でやや扁平な器形を呈し、腰折れになる。立ち上がりは斜め上方に立ち上がり、受部より上にわずかに突出するもの（同30・31）、器形は半球形を呈し、立ち上がりをもたないもの（同32）に分けることができる。

壺蓋にもいくつかのタイプが存在する。器高が高く、半球形を呈するもの（同33）、半球形を呈するものの、器高が低くなり、口縁部が内傾するもの（同34～38）、半球形を呈し、器径が8.5cmとやや小ぶりであるが器径に対して器高が高くなるもの（同39・40）、扁平な半球形を呈し、口縁部は外反するもの（41）、やや扁平な器形を呈し、肩部に棱をもつもの（同42）、つまみをもち、かえりを有するもの（43）がある。

同44～47は短頸壺で小形のもの。いずれも肩部はなで肩で、口縁部が直線的に立ち上がる（同44・45）、わずかにしか口縁部をもたないもの（同46・47）がある。

同48・49は甕である。同48は、口縁部を欠損し、体部と頸部が接合関係がないが同一個体であろう。肩部は欠損するが張るものとのと思われる。体部に突出した注口部をもつ。同49は、口縁部、体部ともに欠損する。

第26図1は、提瓶である。球胴形の体部に直線的に長く立ち上がる口縁部をもつ。肩部に環状把手を付す。

同2は、長頸瓶の口縁部資料。同3は、フラスコ瓶の体部資料だと思われる。同4・5は広口壺の頸部から口縁部にかけての資料。

第26図6～第30図5は、甕である。第26図6・第27図1・2は、口縁部を沈線によって3区画にし、櫛齒状刺突を施す大形のものである。第28図1～第30図5は甕の胴部資料で、いずれも外部は並行引き目文をもち、内面は丁寧にナデ調整をし、整形痕を消している。第30図1～4は、甕の胴部破片であるが、

外面は並行叩き目痕、内面には青海波文を明瞭に残す。いずれも胎土中に石英、花崗岩、緑色変質火山岩などの粒子を多く含み、器壁は荒く、焼きもあまり。表面の色調は、通常の褐灰色ではなく、黄灰から褐色系のものが多い。同5は、焼成良好な壺胴部の破片であるが、内面に青海波文を明瞭に残す。

b 装身具

装身具類としては、勾玉、ガラス小玉、金環が出土しているが、総量はそれほど多くはない。

勾玉（第30図6）

軟玉製と思われる勾玉で、やや扁平な形態を呈するものである。孔は通常よりやや下がった位置に穿たれ、穿孔は両面から行っている。

ガラス小玉（第30図7～19）

合計で13点出土している。径3.38～4.25mm、厚さ2.0～2.75mm、重さ0.02～0.07gを測る。色調はいずれもブルー系である。

金環（第30図20・21）

2点出土しており、いずれも鍍金されている。径2.8cmのものと1.3cmの小さいものがみられる。

c 金属器（第30図22～第32図29）

装飾品類である金環を除き、金属器としては武器である刀装具類、鉄鎌、工具として刀子、飾り金具類などが出土している。

武器

1号墳より出土した武器類には、刀装具、鉄鎌がある。刀装具は豊富に出土しているものの、刀身は破片も確認されていない。

刀装具

鐔（第30図22・第31図1～3）

第30図22・第31図1～3鐔である。第30図22は、表裏面および耳に銀象嵌を施した八窓の鐔である。倒卵形で、長径7.4cm、短径5.8cm、厚さ0.5cmである。透し孔は台形である。両面とも透し孔の間に渦巻文を連続させたS字状の渦巻文を1単位ずつ配し、透し孔外縁には巻き数の多い渦巻文を巡らす。渦巻文は両面とも右巻きを主体とするが、時計でいうところの2時から4時付近の渦巻文は左巻きである。耳には交互二重半円文を全体に巡らせており、刃側の外縁部渦巻文はやや大きくなる。象嵌表出作業は、面、側面とも一部のみしか実施しておらず、側面は象嵌表出作業を行った部分のみを図化し、面の象嵌文様はX線写真の实体視によって、表裏文様を分離したものを図化したものである。

第31図1は無窓の鐔である。上半を欠損する。倒卵形を呈し、現存値で長径5.65cm、短径6.0cm、厚さ0.6cmである。断面は長方形を呈する。象嵌はみられない。

同2は、多円孔の鐔である。半分ほどを欠損する。倒卵形になるものと思われるが、やや円形に近い形態を呈するようである。現存値で長径5.55cm、短径5.5cm、厚さ0.3cm、孔径は0.25～0.3cmほどである。断面は長方形とはならず、縁部分を肥厚させT字形に仕上げている。

同3は倒卵形を呈する小形の無窓鐔である。長径5.7cm、短径4.2cm、厚さ0.6cmを測る。鐔の大きさに比して厚さは厚い。

鍔（第30図23・第31図6）

鍔は、2点出土している。第30図23は、閉塞板を伴う閉塞式鍔で、閉塞板および側面に象嵌を施している。倒卵形を呈し、長径3.3cm、短径2.0cm、側面幅1.5cmを測る。鐔1同様、象嵌表出作業を一部しか実施しておらず、X線写真より象嵌文様を判断している。閉塞板には左右とも二重の弧状の象嵌が施されている。側面には、二列の波状文と弧側を波状文側に向けたやや楕円を呈する半円文を巡らせており、第31図6は、閉塞板を伴わないもので、象嵌はみられない。2/3ほどを欠損するが、倒卵形になるものと思われる。

長径現存で2.7cm、短径現存で2.4cm、幅1.2cm、厚さ3mmほどである。

切羽（第30図24）

切羽は、楕円形を呈する形態であるが、1/3ほどを欠損する。現存値で長径5.3cm、短径4.4cm、厚さ1.1cmを測る。断面は方形を呈する。側面には楕円状の半円文を巡らせている。象嵌出作業を一部実施したが、象嵌の残存状況が悪く、肉眼で象嵌を確認することは出来ていないため、X線写真より象嵌の図化作業を行つた。

鞘尻金具（第31図4・5）

鞘尻金具は数点出土しており、すべて同一個体と思われるが全体像は不明である。そのうちの2点を図化した。鉄製で、倒卵形になるものと思われるが、径などは不明である。厚さ0.3cmで、象嵌はみられない。

資金金具（第31図7～13）

資金金具は7点出土している同7～10は、倒卵形で、やや大形のもの。同11は、長径3.9cm、短径3.3cmで中型のもの。同12は、長径3.85cm、短径2.9cmと大きさは同11とそれほど変わらないが、断面径が厚く内径は小さくなる。同13は青銅製で、倒卵形を呈し、長径3.2cm、短径2.3cm。断面形は薄鉢形を呈し、0.2cmを測る。

鉄鎌（第31図14～18・第32図1～18）

鉄鎌には、平根系と尖り根系がみられる。平根系は、五角形式（第31図14～17）と三角形式鎌（同18）がある。五角形式鎌の断面には平造のもの（同14～16）と両丸造りのもの（同17）がみられる。茎関部は棘関（同14）と台形関（同15）のものがある。同18の三角形式鎌は茎部を欠損する。尖根系鎌はそれほどバラエティーに富んではおらず、片刃箭式のみ確認されている（第32図1～11）。同1は、片丸造無闇片刃箭式で茎部は撫関である。同2～10は片平造無闇片刃箭式で、茎部が棘関となるもの（同2）、台形関となるもの（同3・4）、撫関となるもの（同5・6）、無闇となるもの（同7～10）がある。同11は平方刃造片刃箭式鎌の鎌身と頭部である。同12は片丸造鑿箭式鎌である。同13～18は鎌身部を欠損する資料であり、茎関は棘関（同13～17）と無闇（同18）がある。

工具

刀子（第32図19～22）

刀子は5点が確認できる。第32図19は完形品で全長14.3cmを測り、均等な両関造となっている。茎部には本質痕跡を残す。同20は刃部先端と茎部端を欠損する。接合関係にはないが2点は同一個体である。背側に撫関が認められるが、刃部側には関は認められない。同21は刃部破片、同22は茎部破片である。

柄縁金具（第32図23）

鉄製の柄縁金具で、倒卵形を呈し、長径1.85cm、短径1.2cm、幅0.7cmを測る。大きさから刀子に伴うものだと思われる。

飾金具類（第32図24～27）

本墳からも、飾り金具類がわずかながら認められる。同24は端部が弧状となる板に鉄鋲が残る。鋲は太く断面方形を呈する。同25・26は板状金具に1mm前後の穿孔がされている。2点ともに表裏面が剥離しており、本来の厚さは不明である。同27は鋲である。

不明鉄製品（第29図28・29）

第29図28は、茎状の形態を呈した部位をもつ鉄製品。刀子のような形態をするが、刃部になるべき部位が断面方形を呈しており、性格不明である。同29は、板状の鉄製品であるが、片面は剥離が激しく本来の厚さは不明。刃部なども形成しておらず性格不明である。

d石製品

石製品としては、砥石が12点出土している。

砥石（第32図30・31）

第32図30は、緑色凝灰岩製の提砥で、長さ6.0cm、幅上辺で3.3cm、下辺で2.4cm、厚さ1.4cmを測る。

上辺付近に径 0.04cm の孔を有する。同 31 は、四面を使用した緑色凝灰岩製の砥石であるが、墳丘上からの出土であり、近代の遺物である可能性もあり本墳に伴うものかどうかが明らかではない。

第 2 節 2 号墳

2 号墳は、1 号墳の北東、X = 13、Y = 95 グリッドを中心として位置している。

1 墳丘（第 17 図）

本墳は大きく削平を受け、墳丘はまったく残存していない。おそらくは石室用材だと思われる礫を用いて主体部を包むような土地区画となっていた。この礫を除去し、表土を 0.2 m ほど掘り下げたところで、側壁と思われる石列が確認された。

墳丘は削平され、石室用材外側にわずかな高まりを認めたに過ぎない。

主体部奥壁寄りの東側で、幅 1.93 m、深さ *m ほどの溝状の掘り込みを確認したが、調査区端から 2.70 m ほどで終息してしまう。位置的には周溝の可能性もあるあるが、断定は出来ない。

2 石室（第 18・19 図）

主体部は、南西に開口する無袖型の横穴式石室墳である。南西傾斜面に立地することから、石室入口側が斜面下方となっており、前庭部が形成されていたかどうかが明らかではない。

奥壁より 4.12 m 付近まで礫床が敷かれ、礫床下の床石も主軸方向と直交した列状をなすことから、これより南西に残存する 2 石は閉塞石だと判断したが、2 石とも扁平なため床石の可能性も残る。現存部では閉塞部の奥行きが短すぎることになり、閉塞石ではなく床石だとしても入口部の側壁が削平されていることは変わりはない。

主軸を N - 41° - E に採り、石室現存長 4.73 m、幅は奥壁側で 1.78 m、石室中央部で 1.62 m、入口側で 1.44 m を測り、奥壁から入口に向かい石室幅をやや減じている。両側壁とも弧状とはならず直線的である。

床面には、0.2 ~ 0.4 m ほどの扁平な礫を平坦に敷いている。石室北隅と中央付近は擾乱によって、床面が削平されている。この床石の上には、0.05 ~ 0.1 m ほどの亜円礫を敷いて礫床を形成していた。

石室は奥壁、側壁とも基底部石の残存していた。

側壁のうち右側壁は、奥壁と接する側壁と中央付近の側壁が取り去られていた。石室用材は、0.5 ~ 0.8 m ほどの比較的扁平な花崗岩の自然石を横口ないし小口を石室内に向けて積んでいる。左側壁は、中央付近の側壁が 1 石取り去られている。用材の積み方は、右側壁と同様である。

奥壁は、幅 0.5 ~ 0.6 m ほどの方形に近い礫を広口に積んでいる。3 石を用いて石室幅を満たしている。

左側壁の裏込め側に、溝状の掘り込みに、拳大の礫を充填した施設がみられた。石室に関連する遺構の可能性もあったため、平面図作成後掘り上げたところ、掘り込み底部付近から近世以降の磁器が出土したため、後世の掘り込みであることが確認された。

3 遺物出土状況（第 20・21 図）

石室入口および前庭部は削平されていたために、土師器および須恵器はほとんど確認されていない。石室内における遺物はそれほど多くはなく、装飾品類、わずかな金属製品がみられる程度である。土器類は、奥壁付近において須恵器提瓶の破片がわずかに確認されているに過ぎない。

装飾品類のうち金環は、奥壁寄りの N - 1 ~ 3 区にみられ、丸玉、切子玉は奥壁に近い N - S - 1 区に集中していた。ガラス小玉は多数出土しているが、N - 2 - 3 区の石室中央付に集中していた。

金属製品のなかで、鉄鎌類は、S - 1 区である奥壁左隅に集中しているが、ほとんどが細片となっており、ある程度の原形を留めるものはほとんどない。鉄斧は N - 3 区側壁付近から、轡は入口側の中央部分より出土している。

4 出土遺物（第33～35図）

本墳からは、須恵器片の外、装身具（金環・切子玉・丸玉・ガラス小玉）、武器（鉄鎌）、馬具（轡）、工具（鉄斧）などが出土している。

a 土器類

石室入口部付近が削平されているために、出土は少なく、すべて須恵器である。

須恵器（第33図1～6）

第33図1～3は瓶の胴部および肩部破片資料で、3点ともにカキメ痕跡がみられる。同4～6は壺胴部資料である。

b 装身具

装身具類は量的に豊富で、切子玉、丸玉、ガラス小玉、金環がある。なかでもガラス小玉は400点近くが出土している。

玉類（第33図7～207・第34図1～201）

第33図7は水晶製切子玉である。長さ21.3mm、幅15.0mmである。

第33図8～27は、丸玉で、長径9.5mm～12.7mm、厚さ5.8mm～10.2mm、0.75g～2.36gを測る。いずれも石製であるが、材質により3種類ほどに分けることができる。同8～14は、苦鉄質岩製で、色調は黒色系を呈するもの。同15～21は苦鉄質岩製で、色調が灰白～黄褐色系を呈するもの。同22～26は、砂礫状苦鉄質岩製でやや風化が進み、褐色系を呈するもの。同27は、はんれい岩製で黒色系を呈する。

第33図28～207・第34図1～201は、ガラス小玉で、破片も含めると380点以上が出土している。長径7.75～5.13mm、厚さ3.15～1.50mmを測る大形のグループと長径4mm以下、厚さ2mm以下を測る小形のグループに分けることができる。ほとんどがブルー系であるが、一部に緑色系の色調を呈しているものがみられる。金環（第34図202～207）

金環は、6点が出土している。大きさから3つに分類できる。第34図202・203は大形で、径2.1cm・2.0cm、重量は7.61g・7.55gである。同204・205は中形で、径1.9cm・1.8cm、重量5.27g・5.13gである。同206・207は、ともに径1.4cm、重量2.09g・1.99gである。これらの組合せは大きさ、重量とも近似しており、一对であつたものと思われる。いずれも、青銅に鍍金したものである。

b 金属器（第34図～第35図）

装飾品類である金環を除いた金属製品には、刀装具、鉄鎌、馬具、鉄斧などがみられる。

武器

貴金属（第34図208）

第34図208は、貴金属の破片である。断面椭円形を呈し、倒卵形になるものと思われる。その他に刀装具は出土していない。

鉄鎌（第34図209～2018）

鉄鎌は、尖り根式鎌だけが確認されている。第34図209は、片丸造撫関三角形式鎌であり、茎部を欠損する。同210は、片丸造片刃箭式鎌である。頭部を欠損する。同211・212は、平片刃造片刃箭式鎌である。前者は鎌身先端部を欠損する。同213～216は鎌身部を欠損する資料で、棘関（同213・214）、台形関（同215）、撫関（同216）のものがある。同217・218は、鎌身部のみの資料で、いずれも平片刃造片刃箭式鎌である。

馬具

轡（第35図1）

2号墳からは、馬具関連の遺物として轡のみ出土している（第35図1）。鉸具立開素環鏡板付轡で、片側の環状鏡板および両側の引手を欠損する。銜は二連式で、遊環を介さず鏡板と連結している。銜の連結部および銜先環は円形を呈する。引手軸はほとんど残存しないが、銜先環に引手の端環および引手軸の一部が銷びて固着しており、引手は銜先環と連結されていたことが分かる。銜先環は2.25cmほどを測る。鏡板の環状部分は、5.6cm×4.8cmほどの梢円形を呈し、幅2.1cm、高さ最長で0.9cmの板状の立間に環状と思われる鉸具を付している。鉸具の環状部は一部のみ残存する。差し金を付す孔は幅0.5cm、高さ0.3cmほどの梢円形を呈し、差し金の一部も残存する。

工具

2号墳からは工具として、刀子、鉄斧が各1点出土している。

刀子（第35図2）

第35図2は、湾曲した面に刃部をもつ。裏面は剥離しており本来の厚さは不明であるが、残存部からは片刃のようにみえる。ここでは、刀子として扱ったが、刃幅もあり、厚さもかなりあることから、別の道具である可能性もある。

鉄斧（第35図3）

第35図3は、厚さ0.2cmほどの鉄板の端部を折り曲げた袋状鉄斧である。長さ6.8cm、袋部の厚さ1.7cm、袋部の幅2.1cmを測る。銷の進行により残存状況が良好ではなく、明瞭ではないが、刃部は弧状を呈しているようにみえる。袋部の端部の片側は広がっており、左右対称ではない。

第3節 3号墳

本墳は現存する墳端が工事によって削平を受ける可能性があるということで調査を実施した。調査地点はX=60、Y=86グリッドを中心とする。長さ8.3m、幅2.5mほどの調査区を設定し構造確認を行った。

1 墳丘（第23図）

調査区内の石垣を解体し、掘り下げを行ったところ、調査区中央の東側において盛土らしい痕跡を確認したが、試掘調査によるトレンチが設定しており、盛土らしい痕跡はほとんど残存していなかった。

平面図作成後に盛土らしい土層の断ち割り調査を実施した。暗褐色砂質土と黒褐色砂質土の水平堆積が確認されたが、互層状と断定できるような状況ではなく、自然堆積の可能性もあり、墳丘の盛土であるとの確証は得られなかった。

2 遺物出土状況（第24図）

調査区内において出土したのは、須恵器片が数点、黒曜石片が多く認められた。その他に古墳時代の遺物は出土しておらず、周辺の表面採集によって須恵器片が数点採集されている。

3 出土遺物（第35図4～8）

調査区内における出土遺物ではないが、周辺から採集された須恵器である。第35図4は、須恵器高台付壺の底部資料であり、猿投産である。同5は、平瓶ないし広口壺の底部だと思われる。同6は外面に並行叩き目文を残すが、薄い作りであり、瓶の可能性がある。同7は外面に並行叩き目文、内面に青海波文を明瞭に残す。胎土中に花崗岩、緑色変質火山岩などの粒子を多く含み、器壁は荒く、焼きもあまり。内面にはひび割れの痕跡も残す。同8も壺の破片資料で、外面には並行叩き目文、内面には青海波文を残す。胎土は密で、焼成は良好な資料であり、同7の資料とは異なる。

第2表 出土遺物調査表(土器)

遺物名	遺物No.	器種・ 器形	器 體 寸 法 (cm)	口 径 基部 厚	高 度 基部 厚	横 径 基部 厚	内 面 基部 厚	外・面		施 色	施 物	施 土	含 有 物	残 成 率(%)	備 考
								ナメル	ナメル						
弓削	25-1	土器皿	井	(11.6)	-	-	-	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-2	土器皿	井	(11.0)	-	-	-	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-3	土器皿	井	(10.0)	-	-	-	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-4	土器皿	井	(10.0)	-	-	-	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-5	土器皿	井	(10.0)	-	-	-	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-6	土器皿	井	(9.6)	10.8	(4.1)	4.6	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-7	土器皿	井	(8.3)	10.0	(4.2)	4.6	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-8	土器皿	井	(9.7)	11.3	-	-	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-9	土器皿	井	(8.6)	9.7	4.6	3.1	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-10	土器皿	井	(8.3)	10.2	-	2.9	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-11	土器皿	井	(8.1)	10.0	(4.2)	3.6	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-12	土器皿	井	(8.6)	11.0	4.5	3.7	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-13	土器皿	井	(8.6)	10.6	(4.0)	2.3	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-14	土器皿	井	(9.0)	10.6	(4.2)	3.5	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-15	土器皿	井	(9.6)	10.6	(4.0)	3.5	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-16	土器皿	井	(9.6)	10.6	(4.0)	3.5	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-17	土器皿	井	(8.4)	9.9	(4.1)	-	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-18	土器皿	井	(9.6)	10.6	(4.0)	3.5	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-19	土器皿	井	(8.6)	9.9	(4.0)	3.5	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-20	土器皿	井	(8.0)	9.9	(4.0)	3.5	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-21	土器皿	井	(7.6)	10.7	-	3.6	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-22	土器皿	井	(7.2)	10.0	(4.0)	3.2	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-23	土器皿	井	(8.0)	10.0	(4.0)	3.4	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-24	土器皿	井	(7.9)	8.6	(4.0)	2.6	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-25	土器皿	井	(7.0)	10.0	(4.0)	3.4	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-26	土器皿	井	(7.6)	9.2	-	3.2	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-27	土器皿	井	(7.6)	9.7	-	3.2	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-28	土器皿	井	(7.6)	9.7	-	3.2	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-29	土器皿	井	(10.6)	11.7	2.2	3.5	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-30	土器皿	井	(9.6)	10.7	-	3.2	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-31	土器皿	井	(8.0)	9.7	-	3.2	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-32	土器皿	井	(8.2)	9.0	-	3.2	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-33	土器皿	井	(8.2)	9.0	-	3.2	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-34	土器皿	井	-	11.2	-	4.4	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-35	土器皿	井	-	10.2	-	3.3	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-36	土器皿	井	-	10.1	-	3.3	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-37	土器皿	井	-	10.9	-	3.3	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-38	土器皿	井	-	10.4	-	3.3	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-39	土器皿	井	-	8.4	-	3.6	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-40	土器皿	井	-	9.1	-	3.3	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-41	土器皿	井	-	10.4	-	3.3	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-42	土器皿	井	-	9.4	-	3.4	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-43	土器皿	井	-	10.0	-	3.6	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良
弓削	25-44	土器皿	井	-	10.0	-	3.6	ナメル	ナメル	-	ナメル(7.35/20)	ナメル	ナメル	10	良

〔注〕()は復元寸法群、()は復元寸法。

〔参考〕

第3表 出土遺物觀察表(石製品)

法量[]は現存値である。

第4表 出土遺物観察表(金属製品)

遺物名	固版No.	種別	法量(cm)					長さ・径	幅	厚さ (g)	備考
			A	B	C	D	E				
1号墳 30-20 金環								2.8		0.65	18.90 金鋼製
1号墳 30-21 金環								2.8		0.2	2.24 金鋼製
1号墳 30-22 八重譯											
								高さ:7.4	6.8	0.5	66.68 象嵌
								高さ:3.1	1.95		
1号墳 30-23 譚								高さ:3.3	2.0	1.5	11.34 象嵌
1号墳 30-24 切羽								高さ:5.3	4.8	1.1	19.16 象嵌
1号墳 31-1 譚								高さ:5.65	[6.6]	0.6	15.75
1号墳 31-2 譚								高さ:5.65	[6.60]	0.3	19.39
1号墳 31-3 譚								高さ:5.7	4.3	0.6	35.72
								高さ:2.9	1.7		
1号墳 31-4 梢民金具								[4.3]	[2.05]	0.3	4.73
1号墳 31-5 梢民金具								[3.65]	[2.4]	0.2	5.63
1号墳 31-6 譚								[3.4]	[2.7]	1.2	5.22
1号墳 31-7 銀金具								[4.5]	[3.0]	0.4	4.51
1号墳 31-8 銀金具								[3.75]	[1.4]	0.55	3.42
1号墳 31-9 銀金具								[2.1]	[1.9]	0.3	1.75
1号墳 31-10 銀金具								[2.75]	[1.8]	0.6	1.21
1号墳 31-11 銀金具								3.9	3.3	0.4	4.46
1号墳 31-12 銀金具								3.85	2.9	0.4	6.04
1号墳 31-13 刀装具								3.2	2.3	0.2	3.31 金鋼製
1号墳 31-14 鋼譚			[7.1]	[3.75]	[2.6]	3.20	[0.35]			0.45	8.90
1号墳 31-15 鋼譚			[6.95]	[3.35]	3.2	2.25	1.35			0.4	13.45
1号墳 31-16 鋼譚			[8.8]	4.45	3.1	[2.70]				0.5	13.20
1号墳 31-17 鋼譚			[4.5]	4.5	3.3	[0.20]				0.75	14.32
1号墳 31-18 鋼譚			[3.2]	3.2	3.0					0.35	7.65
1号墳 32-1 鋼譚			[11.8]	0.65			[1.95]			0.35	9.40
1号墳 32-2 鋼譚			[15.85]	0.5			[4.0]			0.4	8.40
1号墳 32-3 鋼譚			[11.6]	0.65			[1.55]			0.35	8.81 末端に木質埋存
1号墳 32-4 鋼譚			[15.1]	0.75			4.45			0.3	9.84
1号墳 32-5 鋼譚			[14.5]	0.6			4.05			0.4	10.68
1号墳 32-6 鋼譚			[14.5]	0.6			[1.9]			0.4	7.14
1号墳 32-7 鋼譚			[12.05]	0.65			[1.9]			0.4	7.75
1号墳 32-8 鋼譚			[11.65]	0.7			[1.9]			0.3	8.93
1号墳 32-9 鋼譚			[8.1]	0.55						0.4	4.63
1号墳 32-9 鋼譚			[6.2]				[2.95]			0.45	4.68
1号墳 32-10 鋼譚			[10.85]	0.75						0.35	5.86
1号墳 32-11 鋼譚			[6.2]	4.0	0.9	[2.2]				0.55	6.14
1号墳 32-12 鋼譚			[3.6]	2.7	0.6	[0.9]				0.4	1.76
1号墳 32-13 鋼譚			[8.9]				[3.5]	[5.4]		0.3	4.42
1号墳 32-14 鋼譚			[7.3]				[6.0]	[1.3]		0.5	6.71
1号墳 32-15 鋼譚			[7.55]				[0.85]	[6.7]		0.6	5.51 木質埋存
1号墳 32-16 鋼譚			[6.35]				[0.5]	[5.85]		0.35	2.90 木質埋存
1号墳 32-17 鋼譚			[6.7]				[3.4]	[3.3]		0.55	5.52 木質埋存
1号墳 32-18 鋼譚			[9.9]							0.4	5.47
1号墳 32-19 刀子								14.8	0.5~1.6	0.5	17.28 木質埋存
1号墳 32-20 刀子								[5.1]	[1.2]	0.35	8.69
1号墳 32-21 刀子								[3.7]	[0.8]	0.3	2.84
1号墳 32-22 刀子								[5.0]	[1.0]	0.3	6.16
1号墳 32-23 梢民金具								1.85	1.2	0.7	1.20
1号墳 32-24 梢民金具								[1.95]	1.7		2.59
1号墳 32-25 梢民金具								[2.1]	[2.2]	0.4	3.90 礼あり・両面刃鋸
1号墳 32-26 梢民金具								[2.85]	[1.5]	0.25	2.01 礼あり・両面刃鋸
1号墳 32-27 譚								長さ:11.5 頭部径:0.9	0.25	0.47	木質埋存
1号墳 32-28 不明鉄製品								[7.3]	[1.0]	1.0	10.20 木質埋存
1号墳 32-29 鋼片								[6.7]	[3.25]	0.7	26.71 鋼片刀
2号墳 34-299 金環								2.1		0.45	7.61 金鋼製
2号墳 34-203 金環								2.0		0.45	7.55 金鋼製
2号墳 34-204 金環								1.8		0.35	5.17 金鋼製
2号墳 34-205 金環								1.9		0.35	5.23 金鋼製
2号墳 34-206 金環								1.4		0.3	3.90 金鋼製
2号墳 34-207 金環								1.4		0.25	2.82 金鋼製
2号墳 34-208 金合具								[4.65]	[1.3]	0.6	3.58
2号墳 34-209 鋼譚			[7.50]	[1.60]	[0.9]					0.3	5.10
2号墳 34-210 鋼譚			[7.45]	2.6	0.8					0.5	2.96
2号墳 34-211 鋼譚			[8.50]	0.9						0.6	8.72 調によるふくれ顕著
2号墳 34-212 鋼譚			[8.7]	[2.4]	0.85					0.4	4.89
2号墳 34-213 鋼譚			[8.5]					[4.9]	[3.6]		0.4 5.98
2号墳 34-214 鋼譚			[10.55]					[5.85]	[4.7]		0.5 7.77 実部極端
2号墳 34-215 鋼譚			[8.0]					[6.0]	[2.0]		0.5 5.82
2号墳 34-216 鋼譚			[7.8]							0.4	6.12
2号墳 34-217 鋼譚			[4.35]		0.9					0.5	4.14 調によるふくれ顕著
2号墳 34-218 鋼譚			[3.90]		0.8					0.6	3.11
2号墳 35-1 帶								帶体 質	5.55×4.85		
2号墳 36-2 刀子か									[2.2]		50.18
2号墳 35-3 鉄斧									[6.3]	1.9	0.45 12.86
										6.8	[2.4]
										2.2	49.81 鉄頭が激しい

第5表 出土遺物観察表(五)

法番〔 〕は現存値である。

造形名	國版No.	種別	Grid	徑(mm)		孔径(mm)		厚さ(mm)	重量(g)	色調	材質
				長径	短径	長径	短径				
1号墳	30-6	勾玉		閉塞	長:12.4cm 幅:1.0cm			6.5	3.55	暗オリーブ(5Y4/3)～灰(7.5Y6/1)	軟玉か
1号墳	30-7	ガラス玉	N-1	3.50	3.50	1.00	1.00	2.00	0.05	納戸(4B4/6)	
1号墳	30-8	ガラス玉	N-2	4.25	4.00	1.25	1.25	2.75	0.07	藍(2PB3/5)	
1号墳	30-9	ガラス玉	N-2	3.88	3.63	1.25	1.13	2.50	0.05	納戸(4B4/6)	
1号墳	30-10	ガラス玉	N-2	3.75	3.75	1.13	1.13	2.25	0.04	藍(2PB3/5)	
1号墳	30-11	ガラス玉	N-4	4.13	4.00	1.25	1.25	2.50	0.04	褐返し(7.5B2/3)	
1号墳	30-12	ガラス玉	S-6	3.75	3.75	1.00	1.00	2.25	0.05	納戸(4B4/6)	
1号墳	30-13	ガラス玉	S-6	3.88	3.75	1.25	1.13	2.38	0.04	褐返し(7.5B2/3)	
1号墳	30-14	ガラス玉	S-6	3.75	3.63	1.13	1.00	2.25	0.03	藍(2PB3/5)	
1号墳	30-15	ガラス玉	S-6	4.13	4.00	1.25	1.25	2.38	0.04	藍(2PB3/5)	
1号墳	30-16	ガラス玉	閉塞	3.38	3.38	1.13	1.00	2.25	0.03	ビーコックグリーン(7.5B64.5/9)	
1号墳	30-17	ガラス玉	N-2	[4.00]	-	[2.00]	[1.50]	2.13	0.03	藍(2PB3/5)	
1号墳	30-18	ガラス玉	N-2	-	-	-	-	2.25	0.03	藍(2PB3/5)	
1号墳	30-19	ガラス玉	N-2	-	-	[1.25]	-	2.75	0.02	藍(2PB3/5)	
2号墳	33-7	切子玉	S-1	長:21.3mm 幅:4.0	1.6				6.45	スノーホワイト(N-9.5)	石英(水晶)
2号墳	33-8	丸玉	N-8	12.7	3.7	3.7	3.1	9.0～10.0	2.36	暗灰(3N2)	芳鉄質岩
2号墳	33-9	丸玉	S-1	11.4	-	3.8	3.5	8.3～9.4	1.68	黒(7.5V2/1)	芳鉄質岩
2号墳	33-10	丸玉	N-1	11.5	10.8	3.3	-	8.1～9.6	1.70	黒(7.5V2/1)	芳鉄質岩
2号墳	33-11	丸玉	N-1	11.0	10.3	3.8	3.5	7.4～8.5	1.24	明褐(7.5B5/6)～黒褐(7.5V3/1)	芳鉄質岩
2号墳	33-12	丸玉	N-1	11.3	11.0	4.3	3.5	7.6～8.4	1.49	オリーブ黒(5V3/1)	芳鉄質岩
2号墳	33-13	丸玉	N-1	11.3	10.8	4.1	3.6	7.1～8.1	1.28	褐(10W4/4)	芳鉄質岩
2号墳	33-14	丸玉	S-1	10.1	9.2	3.5	-	7.9～8.6	1.07	オリーブ黒(5V3/1)	芳鉄質岩
2号墳	33-15	丸玉	NS-1	12.0	10.9	3.8	3.2	9.3～10.2	1.44	灰白(10W8/2)	芳鉄質岩(風化)
2号墳	33-16	丸玉	N-1	11.3	-	3.4	-	7.7～9.4	1.49	灰白(5V8/1)～黄褐(2.5V5/3)	芳鉄質岩(風化)
2号墳	33-17	丸玉	N-1	11.0	-	3.5	3.2	6.4～7.7	0.76	灰白(2.5V1)～黄褐(2.5V5/3)	芳鉄質岩(風化)
2号墳	33-18	丸玉	N-1	11.1	-	3.2	-	8.2～9.1	1.38	にぶい黄褐(7.5B5/4)	芳鉄質岩
2号墳	33-19	丸玉	S-2	9.7	-	3.5	3.1	5.8～7.9	0.88	にぶい黄褐(10Y8/3)	芳鉄質岩
2号墳	33-20	丸玉	N-1	9.8	9.4	3.4	-	7.3～8.5	0.73	にぶい黄褐(10Y8/3)	芳鉄質岩
2号墳	33-21	丸玉	N-1	9.5	9.1	3.5	3.0	7.4～8.1	0.86	暗灰(2.5V5/2)～にぶい褐(7.5Y5/5)	芳鉄質岩
2号墳	33-22	丸玉	N-1	11.5	-	3.5	-	9.5～10.2	1.72	にぶい黄褐(10Y8/3)	砂礫状芳鉄質岩
2号墳	33-23	丸玉	N-1	12.5	-	3.4	3.1	8.5～9.3	1.81	にぶい黄褐(10Y8/4)～オリーブ灰 (5G5/1)	砂礫状苦鉄質岩
2号墳	33-24	丸玉	N-1	11.7	11.1	3.4	-	9.4～10.1	1.53	桃(10W4/6)	砂礫状苦鉄質岩
2号墳	33-25	丸玉	N-1	10.5	-	2.9	-	7.5～8.7	0.91	にぶい褐(7.5R5/4)	砂礫状苦鉄質岩
2号墳	33-26	丸玉	S-1	10.2	9.6	3.5	-	6.9～8.8	0.93	にぶい黄褐(10Y8/4)	砂礫状苦鉄質岩
2号墳	33-27	丸玉	S-1	11.7	-	3.6	-	7.8～8.5	1.63	にぶい褐(7.5R5/4)～黒(N1.5/0)	はんれい岩
2号墳	33-28	ガラス玉	N-3	7.50	6.75	3.13	2.25	7.38	0.58	藍(2PB3/5)	
2号墳	33-29	ガラス玉	N-2	7.75	7.13	2.63	1.63	5.50	0.47	藍(2PB3/5)	
2号墳	33-30	ガラス玉	N-3	7.75	7.13	2.15	1.75	5.25	0.46	藍(2PB3/5)	
2号墳	33-31	ガラス玉	N-3	7.25	7.00	2.00	2.00	5.25	0.46	藍(2PB3/5)	
2号墳	33-32	ガラス玉	N-3	6.75	6.38	3.25	2.38	5.63	0.39	青(2PB3/5)	
2号墳	33-33	ガラス玉	N-2	7.25	6.75	2.50	2.38	5.50	0.36	青(4.5PB3/5)	
2号墳	33-34	ガラス玉	N-3	6.13	6.13	1.63	1.25	4.50	0.25	藍(2PB3/5)	
2号墳	33-35	ガラス玉	N-3	5.13	4.25	2.25	1.75	5.25	0.17	ブルシャンブルー(5PB3.5/9)	
2号墳	33-36	ガラス玉	N-2	5.25	4.38	2.13	1.50	4.50	0.16	褐(7P2.5/3)	
2号墳	33-37	ガラス玉	N-2	5.63	5.50	1.50	1.50	3.25	0.15	鉄(7.5PB1.5/2)	
2号墳	33-38	ガラス玉	N-2	4.25	4.25	1.38	1.13	2.50	0.06	藍(2PB1/5)	
2号墳	33-39	ガラス玉	N-2	3.88	3.63	1.75	0.88	2.25	0.05	鈍(3PB4/7.5)	
2号墳	33-40	ガラス玉	N-2	3.88	3.75	1.88	1.13	2.75	0.05	鈍(3PB4/7.5)	
2号墳	33-41	ガラス玉	N-2	3.63	3.50	1.58	1.00	2.50	0.04	鈍(3PB4/7.5)	
2号墳	33-42	ガラス玉	N-2	4.00	3.75	2.38	1.38	2.25	0.05	サックスブルー(1PB5/4.5)	
2号墳	33-43	ガラス玉	N-2	4.38	4.13	1.75	1.38	2.25	0.05	サックスブルー(1PB5/4.5)	
2号墳	33-44	ガラス玉	N-3	5.30	3.88	1.75	1.00	3.13	0.06	鈍(3PB4/7.5)	
2号墳	33-45	ガラス玉	N-2	4.25	3.88	1.75	1.00	2.38	0.05	鈍(3PB4/7.5)	
2号墳	33-46	ガラス玉	N-3	4.13	4.00	1.63	1.13	2.50	0.06	鈍(3PB4/7.5)	
2号墳	33-47	ガラス玉	N-2	4.50	4.00	2.00	1.13	2.50	0.06	サックスブルー(1PB5/4.5)	
2号墳	33-48	ガラス玉	N-3	7.75	3.75	1.75	1.13	2.00	0.05	鈍(2PB3/5)	
2号墳	33-49	ガラス玉	N-3	4.13	3.88	1.50	1.00	2.75	0.05	鈍(2PB3/5)	
2号墳	33-50	ガラス玉	N-3	4.25	3.88	1.63	1.13	2.13	0.05	鈍(2PB3/5) 赤色含有物あり	
2号墳	33-51	ガラス玉	N-3	3.88	3.63	1.38	1.00	3.00	0.05	鈍(2PB3/5)	
2号墳	33-52	ガラス玉	N-3	4.50	4.38	1.63	1.00	2.63	0.08	鈍(2PB3/5)	
2号墳	33-53	ガラス玉	N-2	4.63	4.38	1.50	1.38	2.38	0.06	鈍(2PB3/5)	
2号墳	33-54	ガラス玉	N-2	4.38	4.38	2.00	1.25	2.75	0.08	鈍(2PB3/5)	
2号墳	33-55	ガラス玉	N-3	3.88	3.75	1.25	0.88	2.88	0.06	サックスブルー(1PB5/4.5)	
2号墳	33-56	ガラス玉	N-3	4.25	4.13	1.75	1.00	3.00	0.07	鈍(2PB3/5)	
2号墳	33-57	ガラス玉	N-2	4.25	4.13	1.75	1.00	2.50	0.06	鈍(2PB3/5)	
2号墳	33-58	ガラス玉	N-3	4.00	3.75	1.63	1.00	2.25	0.05	サックスブルー(1PB5/4.5)	
2号墳	33-59	ガラス玉	N-3	4.00	3.88	1.60	1.00	2.75	0.06	鈍(2PB3/5)	
2号墳	33-60	ガラス玉	N-2	3.50	3.38	1.38	0.88	2.13	0.03	鈍(2PB3/5)	
2号墳	33-61	ガラス玉	N-2	4.50	4.25	2.00	1.25	2.38	0.06	鈍(2PB3/5)	
2号墳	33-62	ガラス玉	N-3	3.88	3.75	1.63	1.00	2.75	0.05	サックスブルー(1PB5/4.5)	
2号墳	33-63	ガラス玉	N-3	4.25	4.25	1.63	1.13	2.25	0.05	鈍(2PB3/5)	
2号墳	33-64	ガラス玉	N-2	3.75	3.75	1.13	0.88	3.50	0.07	鈍(2PB3/5)	
2号墳	33-65	ガラス玉	N-2	4.25	3.88	1.63	1.25	2.13	0.05	鈍(2PB3/5)	
2号墳	33-66	ガラス玉	N-3	3.75	3.50	1.50	1.25	2.25	0.04	鈍(2PB3/5)	
2号墳	33-67	ガラス玉	N-2	5.00	4.45	1.75	1.25	3.75	0.12	ビーコックブルー(1PB4/8.5)	
2号墳	33-68	ガラス玉	N-2	3.50	3.50	1.50	1.13	1.75	0.03	鉄納戸(10B3.5/2.5)	
2号墳	33-69	ガラス玉	N-2	4.00	3.63	1.25	0.75	2.75	0.06	鈍(2PB3/5)	
2号墳	33-70	ガラス玉	N-3	3.50	3.38	1.25	0.88	2.75	0.04	サックスブルー(1PB5/4.5)	

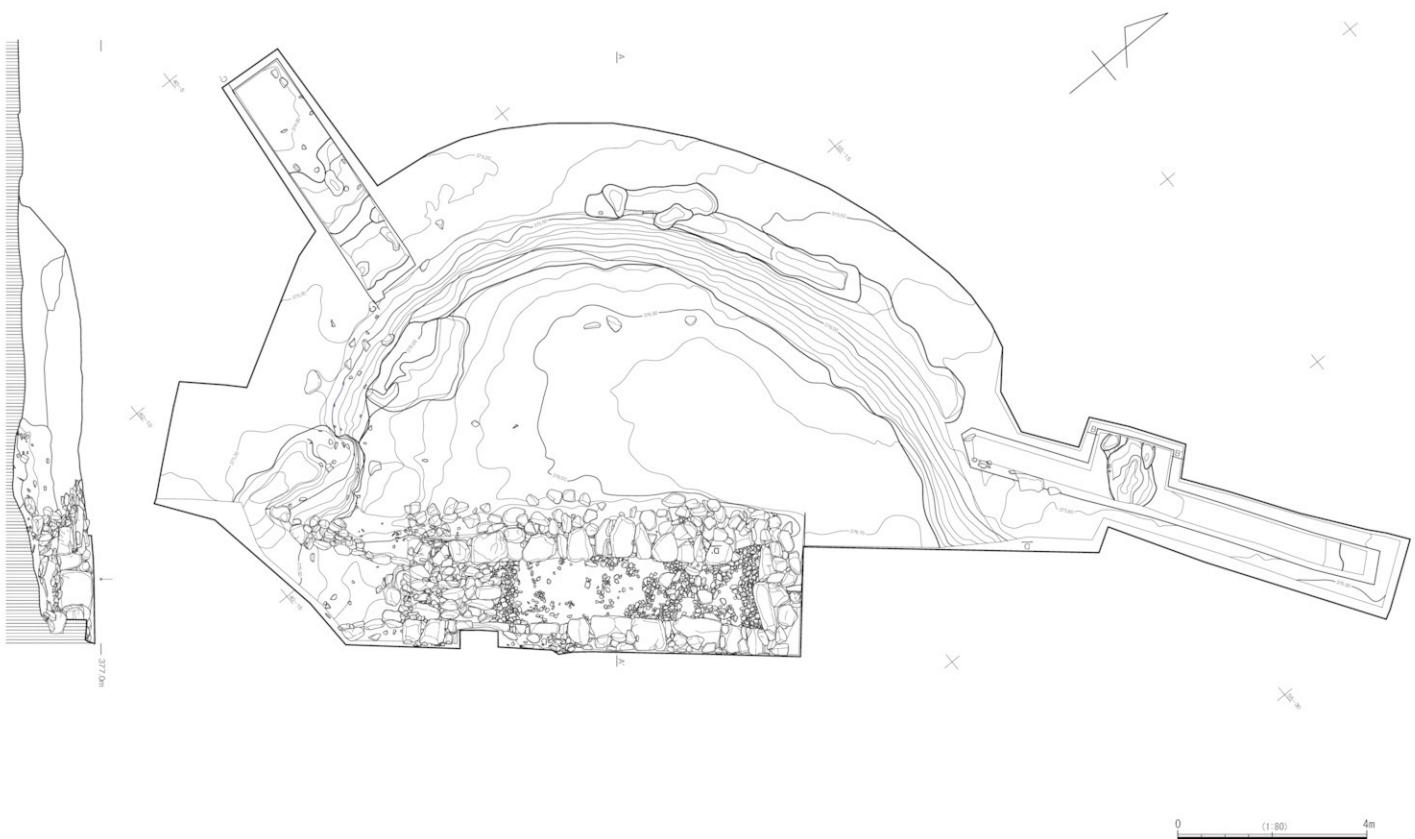
選択名	図版No.	種別	Grid	横 (mm)		孔径 (mm)		厚さ (mm)	重量 (g)	色 調	材 質
				長径	短径	長径	短径				
2号墳	33- 71	ガラス玉	N-2	4.25	3.88	1.50	1.00	2.50	0.05	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 72	ガラス玉	N-3	4.38	4.25	1.63	1.25	3.13	0.08	サックスブルー(1PB5/4.5)	
2号墳	33- 73	ガラス玉	N-3	4.13	4.00	1.25	1.00	2.75	0.06	サックスブルー(1PB5/4.5)	
2号墳	33- 74	ガラス玉	N-3	4.25	4.25	2.25	1.38	2.50	0.07	褐色(7.5B5/2.3)	
2号墳	33- 76	ガラス玉	N-3	4.63	4.50	2.00	1.13	3.13	0.10	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 77	ガラス玉	N-3	4.25	4.00	2.88	1.25	2.38	0.06	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 78	ガラス玉	N-3	4.00	4.00	1.63	1.25	2.50	0.05	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 79	ガラス玉	N-3	4.00	3.88	1.75	1.13	2.38	0.05	褐色(7.5B5/2.3)	
2号墳	33- 80	ガラス玉	N-2	4.13	4.00	1.75	1.00	2.25	0.06	海螺(1.5PB5/6.5)	
2号墳	33- 81	ガラス玉	N-3	3.98	3.25	1.38	1.00	2.13	0.03	褐色(7.5B5/2.3)	
2号墳	33- 82	ガラス玉	N-2	4.13	4.00	2.13	1.13	2.13	0.05	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 83	ガラス玉	N-3	4.13	4.13	1.63	1.25	2.25	0.05	褐色(7.5B5/2.3)	
2号墳	33- 84	ガラス玉	N-3	3.50	3.38	1.88	1.13	2.75	0.05	納戸(4B4/6)	
2号墳	33- 85	ガラス玉	N-3	3.50	3.25	1.75	1.13	2.50	0.04	納戸(4B4/6)	
2号墳	33- 86	ガラス玉	N-2	4.50	4.38	2.50	1.25	2.38	0.07	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 87	ガラス玉	N-3	3.75	3.63	2.13	1.13	3.00	0.06	納戸(4B4/6)	
2号墳	33- 88	ガラス玉	N-3	4.88	4.13	1.63	1.13	2.50	0.07	ビーコックブルー(10BG4/8.5)	
2号墳	33- 89	ガラス玉	N-2	4.25	4.25	2.25	1.13	2.63	0.06	黒(2.5BG2/5.2.5)	
2号墳	33- 90	ガラス玉	N-2	4.63	4.50	1.88	1.38	2.63	0.06	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 91	ガラス玉	N-3	4.38	4.13	1.75	1.00	2.50	0.06	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 92	ガラス玉	N-3	3.63	3.63	1.63	1.13	3.00	0.06	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 93	ガラス玉	N-3	4.50	4.38	1.75	1.25	2.25	0.05	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 94	ガラス玉	N-3	3.75	3.75	2.88	1.13	3.38	0.07	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 95	ガラス玉	N-2	4.38	4.25	1.75	1.25	2.75	0.08	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 96	ガラス玉	N-3	4.25	4.25	2.25	1.25	2.38	0.06	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 97	ガラス玉	N-2	4.25	4.25	1.75	1.13	2.50	0.06	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 98	ガラス玉	N-3	4.50	4.38	1.50	1.13	2.63	0.07	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 99	ガラス玉	N-3	4.38	4.25	1.88	1.13	2.50	0.06	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 100	ガラス玉	N-2	3.63	3.50	1.38	1.00	2.13	0.02	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 101	ガラス玉	N-3	4.25	4.25	1.63	1.13	2.50	0.05	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 102	ガラス玉	N-2	3.63	3.38	1.88	1.38	2.25	0.04	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 103	ガラス玉	N-2	4.13	4.13	1.88	1.25	2.50	0.05	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 104	ガラス玉	N-3	3.75	3.63	1.50	1.00	2.13	0.05	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 105	ガラス玉	N-2	3.75	3.75	2.00	1.13	2.75	0.04	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 106	ガラス玉	N-2	4.00	3.88	1.63	1.13	2.75	0.06	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 107	ガラス玉	N-3	4.00	3.88	2.13	1.38	2.75	0.06	納戸(4B4/6)赤色含有物あり	
2号墳	33- 108	ガラス玉	N-3	3.75	3.63	1.25	1.13	2.25	0.05	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 109	ガラス玉	N-3	4.75	4.25	1.88	1.38	2.38	0.07	褐色(7.5B5/2.3)	
2号墳	33- 110	ガラス玉	N-3	5.50	3.50	1.63	1.25	1.50	0.03	褐色(7.5B5/2.3)	
2号墳	33- 111	ガラス玉	N-3	3.75	3.50	1.38	1.38	2.25	0.05	青鳥(6B2/5.2.5)	
2号墳	33- 112	ガラス玉	N-3	3.50	3.50	1.50	0.88	2.00	0.04	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 113	ガラス玉	S-3	3.75	3.75	1.25	1.13	2.50	0.04	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 114	ガラス玉	N-3	4.38	4.38	1.75	1.25	2.25	0.06	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 115	ガラス玉	N-3	4.25	4.25	1.75	1.25	2.50	0.06	褐色(7.5B5/2.3)	
2号墳	33- 116	ガラス玉	N-3	4.25	4.25	1.63	1.00	2.63	0.07	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 117	ガラス玉	N-3	4.63	4.63	1.38	1.00	1.88	0.02	蝶(3W4/7.5)	
2号墳	33- 118	ガラス玉	N-3	4.13	4.13	2.00	1.00	2.50	0.05	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 119	ガラス玉	N-3	4.38	4.13	1.63	1.25	2.50	0.06	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 120	ガラス玉	N-3	4.38	4.25	2.13	1.13	2.50	0.07	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 121	ガラス玉	N-3	4.38	4.13	1.38	1.25	2.88	0.08	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 122	ガラス玉	N-3	4.25	4.25	1.75	1.13	2.50	0.06	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 123	ガラス玉	N-3	3.88	3.75	1.50	1.00	3.00	0.06	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 124	ガラス玉	N-3	4.75	4.63	1.50	1.13	3.38	0.11	深緋(5G3/7)	
2号墳	33- 125	ガラス玉	N-3	3.38	3.38	1.50	1.00	2.00	0.03	納戸(4B4/6)	
2号墳	33- 126	ガラス玉	N-3	4.25	4.13	1.63	1.13	2.38	0.06	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 127	ガラス玉	N-3	3.88	3.75	1.75	1.13	2.13	0.04	納戸(4B4/6)	
2号墳	33- 128	ガラス玉	N-3	2.13	2.00	1.50	0.88	2.13	0.03	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 129	ガラス玉	N-3	4.00	3.75	1.50	1.25	3.25	0.09	浅葱(2.5B5/8)	
2号墳	33- 130	ガラス玉	N-3	3.63	3.38	1.63	1.00	2.88	0.05	ビーコックブルー(10BG4/8.5)	
2号墳	33- 131	ガラス玉	N-3	3.88	3.88	1.63	1.00	2.38	0.05	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 132	ガラス玉	N-3	4.13	3.75	1.88	1.00	2.25	0.05	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 133	ガラス玉	N-3	3.88	3.88	1.63	1.13	2.00	0.04	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 134	ガラス玉	N-3	3.88	3.88	1.75	1.13	2.00	0.04	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 135	ガラス玉	N-3	4.50	4.38	2.00	1.38	2.50	0.07	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 136	ガラス玉	N-3	4.38	4.00	1.75	1.25	2.38	0.05	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 137	ガラス玉	N-2	4.25	4.13	2.00	1.13	2.25	0.05	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 138	ガラス玉	N-2	4.38	4.25	2.00	1.13	2.25	0.05	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 139	ガラス玉	N-2	2.13	2.00	1.13	1.00	1.75	0.03	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 140	ガラス玉	N-2	4.38	4.38	2.00	1.13	2.25	0.05	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 141	ガラス玉	N-3	2.13	2.00	1.50	1.00	1.75	0.03	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 142	ガラス玉	N-3	4.13	4.00	2.13	1.25	2.25	0.06	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 143	ガラス玉	N-3	5.25	4.75	1.75	1.50	3.13	0.11	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 144	ガラス玉	N-3	3.75	3.63	1.00	1.00	2.25	0.03	花浅葱(6B4/5.6)	
2号墳	33- 145	ガラス玉	N-2	4.38	4.00	1.38	1.00	2.75	0.06	納戸(4B4/6)	
2号墳	33- 146	ガラス玉	N-3	4.13	4.00	1.38	1.00	2.25	0.05	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 147	ガラス玉	N-3	4.00	3.88	1.50	1.00	2.75	0.05	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 148	ガラス玉	N-3	4.38	4.25	2.00	1.13	2.50	0.06	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 149	ガラス玉	N-3	4.25	4.25	2.13	1.13	2.50	0.06	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 150	ガラス玉	N-3	4.00	3.88	1.00	1.00	2.75	0.06	黒(2PB3/5)	
2号墳	33- 151	ガラス玉	S-3	3.88	3.88	1.50	1.38	2.50	0.01	黒(2PB3/5)	

造様名	図版NO.	種別	Grid	種(㎜)		孔種(㎜)		厚さ(㎜)	重量(g)	色調	材質
				長径	短径	長径	短径				
2号墳	33 - 152	ガラス玉	N-2	4.13	4.00	1.50	1.13	2.75	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 153	ガラス玉	N-3	4.13	4.00	1.63	1.13	2.50	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 154	ガラス玉	S-3	4.50	4.25	1.50	1.25	2.50	0.07	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 155	ガラス玉	N-3	3.75	3.63	1.75	1.38	2.25	0.04	納戸(4B4/6)	
2号墳	33 - 156	ガラス玉	N-3	4.50	4.50	1.13	1.25	2.38	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 157	ガラス玉	N-2	4.63	3.25	1.63	1.00	2.00	0.03	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 158	ガラス玉	N-3	4.00	3.88	1.50	1.13	2.50	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 159	ガラス玉	N-3	4.13	3.75	1.25	1.25	3.00	0.07	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 160	ガラス玉	N-2	4.50	4.25	2.00	1.50	2.75	0.09	マリンブルー(5B3/7)	
2号墳	33 - 161	ガラス玉	N-2	3.63	3.38	1.25	1.00	2.75	0.05	納戸(4B4/6)	
2号墳	33 - 162	ガラス玉	N-3	3.75	3.63	1.38	1.00	1.75	0.03	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 163	ガラス玉	N-2	3.88	3.63	1.00	1.00	2.63	0.05	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 164	ガラス玉	N-3	4.25	4.25	1.50	1.00	2.50	0.07	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 165	ガラス玉	N-3	4.13	4.00	1.50	1.00	2.50	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 166	ガラス玉	N-3	4.13	4.13	1.50	1.13	2.38	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 167	ガラス玉	N-3	2.38	2.25	1.25	1.00	1.88	0.03	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 168	ガラス玉	N-3	4.50	4.13	1.75	1.00	2.50	0.07	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 169	ガラス玉	N-3	4.00	4.00	2.25	1.38	2.25	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 170	ガラス玉	N-3	3.75	3.75	1.63	1.00	2.50	0.05	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 171	ガラス玉	N-3	5.50	5.25	2.13	2.00	3.38	0.13	ビーコックブルー(10BG4/8.5)	
2号墳	33 - 172	ガラス玉	N-3	3.88	3.63	1.88	1.38	2.50	0.05	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 173	ガラス玉	N-3	3.63	3.63	1.60	1.00	2.38	0.05	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 174	ガラス玉	N-2	6.3	3.28	1.50	1.00	2.63	0.04	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 175	ガラス玉	N-3	6.3	3.50	1.38	1.00	2.38	0.04	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 176	ガラス玉	N-3	7.5	3.75	1.63	1.00	1.75	0.03	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 177	ガラス玉	N-3	4.00	3.88	1.50	1.00	2.50	0.05	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 178	ガラス玉	N-3	4.88	4.13	2.13	1.38	2.75	0.07	納戸(4B4/6)	
2号墳	33 - 179	ガラス玉	N-3	6.3	3.63	1.25	1.25	2.00	0.03	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 180	ガラス玉	N-3	1.58	1.55	1.63	1.13	2.75	0.05	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 181	ガラス玉	N-2	4.13	4.13	1.63	1.25	2.38	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 182	ガラス玉	N-2	4.25	4.13	1.50	1.38	2.63	0.07	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 183	ガラス玉	N-2	4.25	4.25	1.75	1.25	2.50	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 184	ガラス玉	N-3	3.50	3.38	1.00	1.00	2.13	0.03	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 185	ガラス玉	N-2	4.00	3.88	1.50	1.25	2.13	0.05	納戸(4B4/6)	
2号墳	33 - 186	ガラス玉	N-2	4.25	4.13	2.00	1.25	2.25	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 187	ガラス玉	N-3	6.3	3.63	1.00	1.00	2.63	0.05	納戸(4B4/6)	
2号墳	33 - 188	ガラス玉	N-3	4.00	4.00	1.88	1.25	2.00	0.05	納戸(4B4/6)	
2号墳	33 - 189	ガラス玉	N-2	6.3	3.25	1.25	0.88	2.25	0.03	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 190	ガラス玉	N-3	4.13	3.88	1.50	1.00	2.63	0.05	複数し(7.5B2/3)	
2号墳	33 - 191	ガラス玉	N-3	4.38	4.38	1.75	1.25	2.75	0.08	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 192	ガラス玉	N-3	4.25	4.25	2.00	1.50	2.25	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 193	ガラス玉	N-3	4.25	4.25	2.00	1.50	2.13	0.05	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 194	ガラス玉	N-2	4.25	4.00	1.75	1.13	2.75	0.07	納戸(4B4/6)	
2号墳	33 - 195	ガラス玉	N-3	4.25	4.25	1.25	1.13	2.38	0.07	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 196	ガラス玉	N-2	4.00	3.88	1.50	1.25	3.13	0.07	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 197	ガラス玉	N-2	4.38	4.38	1.75	1.25	2.50	0.07	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 198	ガラス玉	N-3	4.00	3.75	1.25	1.00	2.63	0.04	納戸(4B4/6)	
2号墳	33 - 199	ガラス玉	N-3	3.88	3.88	1.00	1.00	2.50	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 200	ガラス玉	N-3	4.13	4.00	1.50	1.25	2.00	0.04	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 201	ガラス玉	N-2	4.13	4.13	2.00	1.38	2.00	0.05	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 202	ガラス玉	N-3	3.88	3.88	1.88	1.25	2.63	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 203	ガラス玉	N-3	4.25	4.25	1.25	1.13	2.38	0.07	藍(2PB3/5)	
2号墳	33 - 204	ガラス玉	N-2	3.88	3.88	1.38	1.13	2.13	0.04	納戸(4B4/6)	
2号墳	33 - 205	ガラス玉	N-2	4.13	4.00	1.00	1.00	2.50	0.05	納戸(4B4/6)	
2号墳	33 - 206	ガラス玉	N-2	3.63	3.63	1.50	1.00	2.25	0.04	納戸(4B4/6)	
2号墳	33 - 207	ガラス玉	N-2	4.38	4.25	1.25	1.25	2.50	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 1	ガラス玉	N-2	4.13	4.13	1.38	1.25	2.38	0.05	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 2	ガラス玉	N-2	3.89	3.63	1.38	1.00	2.50	0.05	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 3	ガラス玉	N-2	3.63	3.50	1.25	1.25	1.75	0.03	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 4	ガラス玉	N-2	4.00	3.75	1.63	1.00	2.50	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 5	ガラス玉	N-2	4.38	4.25	1.63	1.38	2.25	0.05	藍(4B4/6)	
2号墳	34 - 6	ガラス玉	N-2	3.88	3.88	1.63	1.00	2.63	0.06	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 7	ガラス玉	N-2	4.25	4.00	2.00	1.13	2.75	0.06	藍(4B4/6)	
2号墳	34 - 8	ガラス玉	N-2	3.89	3.75	1.25	1.00	2.75	0.06	藍(4B4/6)	
2号墳	34 - 9	ガラス玉	N-2	3.75	3.75	1.63	1.13	2.25	0.05	藍(4B4/6)	
2号墳	34 - 10	ガラス玉	N-2	3.75	3.75	1.00	1.00	2.25	0.05	藍(4B4/6)	
2号墳	34 - 11	ガラス玉	N-2	4.25	4.13	1.38	1.28	2.38	0.06	藍(4B4/6)	
2号墳	34 - 12	ガラス玉	N-2	3.75	3.50	1.25	1.00	2.38	0.04	藍(4B4/6)	
2号墳	34 - 13	ガラス玉	N-2	3.88	3.75	1.25	1.00	3.00	0.06	藍(4B4/6)	
2号墳	34 - 14	ガラス玉	N-2	3.50	3.25	1.13	0.88	2.50	0.04	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 15	ガラス玉	N-2	3.63	3.38	1.50	1.00	2.00	0.04	納戸(4B4/6)	赤色含有物あり
2号墳	34 - 16	ガラス玉	N-2	3.89	3.75	1.38	1.00	2.00	0.05	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 17	ガラス玉	N-2	5.00	4.75	1.50	1.13	2.63	0.10	施子細(7.5B2.5/2.5)	
2号墳	34 - 18	ガラス玉	N-2	4.50	4.50	2.25	1.13	2.50	0.07	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 19	ガラス玉	N-2	3.89	3.88	1.25	1.00	2.50	0.05	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 20	ガラス玉	N-2	4.25	4.25	1.75	1.00	2.50	0.07	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 21	ガラス玉	N-2	3.75	3.63	1.25	0.88	3.00	0.05	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 22	ガラス玉	N-2	4.38	4.38	1.50	1.13	2.38	0.07	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 23	ガラス玉	N-2	4.13	4.00	1.50	1.00	2.50	0.05	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 24	ガラス玉	N-2	4.00	3.88	1.38	1.13	2.50	0.05	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 25	ガラス玉	N-2	4.25	4.00	1.75	1.13	2.25	0.06	藍(2PB3/5)	

遺構名	図版No.	種別	Grid	復元 (mm)		孔径 (mm)		厚さ (mm)	重量 (g)	色 調	材 質
				長径	短径	長径	短径				
2号墳	34 - 26	ガラス玉	N-2	4.00	4.00	1.50	1.00	2.50	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 27	ガラス玉	N-2	4.25	4.00	2.25	1.00	2.38	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 28	ガラス玉	N-2	4.00	4.00	1.25	1.00	2.38	0.06	藍(4B4/6)	
2号墳	34 - 29	ガラス玉	N-2	4.75	4.25	1.25	1.00	2.75	0.08	藍(4B4/6)	
2号墳	34 - 30	ガラス玉	N-2	3.75	3.38	1.50	1.00	2.38	0.05	藍(4B4/6)	
2号墳	34 - 31	ガラス玉	N-2	3.63	3.50	1.75	1.25	2.13	0.04	藍(4B4/6)	
2号墳	34 - 32	ガラス玉	N-2	3.75	3.50	1.75	1.00	3.00	0.07	藍(4B4/6)	
2号墳	34 - 33	ガラス玉	N-2	4.38	4.25	1.88	1.25	2.88	0.07	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 34	ガラス玉	N-2	3.75	3.75	1.00	1.00	2.75	0.06	藍(4B4/6)	
2号墳	34 - 35	ガラス玉	N-2	3.88	3.88	1.63	1.25	2.75	0.05	藍(4B4/6)	
2号墳	34 - 36	ガラス玉	N-2	6.25	3.88	1.50	1.00	2.88	0.08	藍(4B4/6)	
2号墳	34 - 37	ガラス玉	N-2	6.00	3.88	1.50	1.00	2.88	0.06	藍(4B4/6)	
2号墳	34 - 38	ガラス玉	N-2	6.50	4.25	1.25	1.25	2.88	0.88	藍(4B4/6)	
2号墳	34 - 39	ガラス玉	N-2	3.75	3.63	1.00	1.00	2.63	0.05	藍(4B4/6)	
2号墳	34 - 40	ガラス玉	N-2	4.50	4.10	1.25	1.00	2.63	0.07	藍(4B4/6)	
2号墳	34 - 41	ガラス玉	N-2	3.88	3.75	1.63	1.00	2.88	0.05	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 42	ガラス玉	N-2	4.25	4.25	1.00	1.00	3.00	0.07	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 43	ガラス玉	N-2	4.25	4.00	2.00	1.50	2.25	0.05	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 44	ガラス玉	N-2	4.50	4.38	1.75	1.25	2.50	0.07	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 45	ガラス玉	N-2	4.25	4.25	1.63	1.25	2.88	0.07	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 46	ガラス玉	N-2	3.88	3.50	1.38	1.00	2.13	0.04	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 47	ガラス玉	N-2	5.25	5.05	1.75	1.38	2.50	0.11	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 48	ガラス玉	N-2	4.00	3.88	1.75	1.25	2.25	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 49	ガラス玉	N-2	3.88	3.63	1.63	1.00	3.00	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 50	ガラス玉	N-2	4.00	3.88	1.75	1.25	2.50	0.05	藍(2PB3/5) 赤色含有物あり	
2号墳	34 - 51	ガラス玉	N-2	6.38	4.13	1.25	1.25	2.13	0.09	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 52	ガラス玉	N-2	5.50	3.25	1.13	1.00	2.13	0.03	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 53	ガラス玉	N-2	6.00	3.75	1.50	1.00	2.25	0.05	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 54	ガラス玉	N-2	3.75	3.75	0.88	0.88	2.25	0.05	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 55	ガラス玉	N-2	6.00	3.75	1.50	1.13	2.63	0.05	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 56	ガラス玉	N-2	3.75	3.75	1.50	1.00	2.75	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 57	ガラス玉	N-2	4.50	4.25	1.50	1.00	2.50	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 58	ガラス玉	N-2	4.75	4.00	1.13	1.13	2.25	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 59	ガラス玉	N-2	4.25	4.00	1.13	1.00	2.88	0.07	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 60	ガラス玉	N-2	4.00	3.63	1.63	1.00	2.75	0.05	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 61	ガラス玉	N-2	4.38	4.25	1.88	1.25	2.25	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 62	ガラス玉	N-2	4.13	4.00	1.00	0.88	2.75	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 63	ガラス玉	N-2	4.38	4.25	1.75	1.25	2.25	0.05	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 64	ガラス玉	N-2	4.13	3.88	1.50	1.00	2.63	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 65	ガラス玉	N-2	6.25	4.13	1.75	1.25	3.00	0.08	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 66	ガラス玉	N-2	6.13	4.00	1.25	1.25	2.13	0.05	海没(7,502/3)	
2号墳	34 - 67	ガラス玉	N-2	6.43	4.38	1.88	1.25	2.75	0.08	海没(7,502/3)	
2号墳	34 - 68	ガラス玉	N-2	3.88	3.75	1.00	1.00	2.88	0.06	海没(7,502/3)	
2号墳	34 - 69	ガラス玉	N-2	4.50	4.38	2.00	1.25	2.75	0.07	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 70	ガラス玉	N-2	4.75	4.38	1.88	1.25	2.75	0.07	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 71	ガラス玉	N-2	4.38	4.38	1.75	1.13	2.50	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 72	ガラス玉	N-2	4.00	3.88	1.25	1.25	3.13	0.06	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 73	ガラス玉	N-2	4.13	4.00	1.25	1.25	2.25	0.05	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 74	ガラス玉	N-2	4.25	4.13	1.25	1.25	2.38	0.05	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 75	ガラス玉	N-2	4.25	4.13	1.25	1.00	2.50	0.05	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 76	ガラス玉	N-2	2.63	2.63	1.25	1.00	2.25	0.04	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 77	ガラス玉	N-2	3.75	3.75	1.25	1.00	2.63	0.05	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 78	ガラス玉	N-2	4.00	3.75	1.00	1.00	2.25	0.05	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 79	ガラス玉	N-2	4.50	4.00	2.00	1.50	2.25	0.05	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 80	ガラス玉	N-2	6.25	4.13	1.13	1.13	2.50	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 81	ガラス玉	N-2	6.38	4.25	1.75	1.25	2.50	0.07	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 82	ガラス玉	N-2	4.00	4.00	1.63	1.00	2.25	0.06	海没(7,502/3)	
2号墳	34 - 83	ガラス玉	N-2	3.88	3.88	1.25	1.25	2.25	0.05	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 84	ガラス玉	N-2	4.25	4.13	1.63	1.00	2.50	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 85	ガラス玉	N-2	6.00	3.88	1.25	1.25	2.63	0.06	海没(7,502/3)	
2号墳	34 - 86	ガラス玉	N-2	4.25	4.25	1.63	1.25	2.38	0.07	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 87	ガラス玉	N-2	4.00	3.88	1.13	1.13	3.00	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 88	ガラス玉	N-2	4.38	4.25	1.63	1.00	2.63	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 89	ガラス玉	N-2	4.38	4.25	1.50	1.25	2.75	0.08	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 90	ガラス玉	N-2	4.38	4.25	1.63	1.00	2.50	0.07	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 91	ガラス玉	N-2	4.38	4.13	2.00	1.50	2.38	0.06	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 92	ガラス玉	N-2	3.88	3.88	1.00	1.00	3.13	0.06	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 93	ガラス玉	N-2	4.38	4.25	2.00	1.25	2.50	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 94	ガラス玉	N-1	6.25	4.25	2.00	1.25	2.50	0.06	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 95	ガラス玉	N-2	6.50	4.38	2.00	1.38	2.25	0.05	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 96	ガラス玉	N-2	6.25	4.25	1.88	1.25	2.50	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 97	ガラス玉	N-2	6.25	3.88	2.00	1.38	2.75	0.05	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 98	ガラス玉	N-2	6.00	4.00	1.75	1.25	2.13	0.05	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 99	ガラス玉	N-2	6.50	4.00	1.75	1.13	2.00	0.05	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 100	ガラス玉	N-2	6.13	4.00	1.00	1.00	2.50	0.05	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 101	ガラス玉	N-2	3.75	3.75	2.00	1.25	2.25	0.04	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 102	ガラス玉	N-2	3.88	3.75	1.38	1.00	2.88	0.06	藍(2PB3/5)	
2号墳	34 - 103	ガラス玉	N-2	4.00	3.88	1.63	1.00	2.38	0.05	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 104	ガラス玉	N-2	3.75	3.75	1.13	1.00	3.25	0.07	海没(7,502/3)	
2号墳	34 - 105	ガラス玉	N-2	4.38	3.88	1.00	1.00	2.75	0.06	納戸(4B4/6)	
2号墳	34 - 106	ガラス玉	N-2	3.75	3.75	1.25	1.25	2.75	0.05	海没(7,502/3)	

造り名	図版NO.	種別	Grid	種(㎜)		孔径(㎜)		厚さ(㎜)	重量(g)	色 調	材 質
				長径	短径	長径	短径				
2号噴	34 - 107	ガラス玉	N-2	3.50	3.50	1.00	1.00	2.25	0.04	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 108	ガラス玉	N-2	3.88	3.75	1.00	1.00	2.75	0.05	納戸(4B4/6)	
2号噴	34 - 109	ガラス玉	N-2	3.88	3.75	1.88	1.75	2.38	0.04	褐色(7.5B2/3)	
2号噴	34 - 110	ガラス玉	N-2	3.63	3.50	2.00	1.25	2.00	0.03	納戸(4B4/6)	
2号噴	34 - 111	ガラス玉	N-2	3.75	3.75	1.13	1.00	2.63	0.05	褐色(7.5B2/3)	
2号噴	34 - 112	ガラス玉	N-2	3.75	3.50	1.00	1.00	1.88	0.03	納戸(4B4/6)	
2号噴	34 - 113	ガラス玉	N-2	3.50	3.50	1.00	1.00	2.38	0.04	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 114	ガラス玉	N-2	3.88	3.75	1.00	1.00	2.75	0.05	褐色(7.5B2/3)	
2号噴	34 - 115	ガラス玉	N-2	3.75	3.50	1.50	1.13	2.75	0.05	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 116	ガラス玉	N-2	3.63	3.63	1.00	1.00	2.38	0.04	褐色(7.5B2/3)	
2号噴	34 - 117	ガラス玉	N-2	2.00	2.00	1.00	1.00	1.50	0.02	褐色(7.5B2/3)	
2号噴	34 - 118	ガラス玉	N-2	4.00	4.25	1.38	1.38	3.25	0.10	赤墨(5B2/1)	
2号噴	34 - 119	ガラス玉	N-2	3.88	3.75	1.25	1.13	2.00	0.03	ビーコックグリーン(7.5B64/5.9)	
2号噴	34 - 120	ガラス玉	N-2	3.75	3.63	0.88	0.75	3.00	0.05	褐色(7.5B2/3)	
2号噴	34 - 121	ガラス玉	N-2	3.63	3.50	-	-	2.25	0.03	褐色(7.5B2/3)	
2号噴	34 - 122	ガラス玉	N-3	4.13	4.00	1.88	1.00	2.25	0.06	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 123	ガラス玉	N-3	3.75	3.75	1.50	1.00	2.50	0.05	褐色(7.5B2/3)	
2号噴	34 - 124	ガラス玉	N-3	4.25	4.00	1.50	1.00	2.75	0.06	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 125	ガラス玉	N-3	4.00	3.88	1.25	1.25	2.75	0.06	褐色(7.5B2/3)	
2号噴	34 - 126	ガラス玉	N-3	4.00	3.88	1.00	1.00	2.13	0.05	褐色(7.5B2/3)	
2号噴	34 - 127	ガラス玉	N-3	3.88	3.88	1.50	0.75	2.75	0.06	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 128	ガラス玉	N-3	3.88	3.88	1.63	1.13	2.75	0.05	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 129	ガラス玉	N-3	4.00	3.88	1.25	0.88	2.25	0.05	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 130	ガラス玉	N-3	4.25	4.13	1.13	1.13	2.50	0.06	褐色(7.5B2/3)	
2号噴	34 - 131	ガラス玉	N-3	3.88	3.75	1.63	1.00	2.50	0.05	褐色(7.5B2/3)	
2号噴	34 - 132	ガラス玉	N-3	4.50	4.13	1.60	1.13	2.75	0.07	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 133	ガラス玉	N-3	4.13	3.88	1.50	1.38	2.88	0.05	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 134	ガラス玉	N-3	3.88	3.75	1.50	0.75	2.25	0.05	納戸(4B4/6)	
2号噴	34 - 135	ガラス玉	N-3	4.25	4.13	1.75	1.00	2.38	0.06	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 136	ガラス玉	N-3	3.75	3.75	1.50	1.00	2.50	0.05	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 137	ガラス玉	N-3	4.38	4.38	1.75	1.13	2.38	0.07	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 138	ガラス玉	N-3	4.00	3.88	1.50	1.13	2.50	0.05	褐色(7.5B2/3)	
2号噴	34 - 139	ガラス玉	N-3	4.25	4.13	1.38	1.00	2.38	0.06	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 140	ガラス玉	N-3	4.13	4.00	1.88	1.38	2.13	0.05	納戸(4B4/6)	
2号噴	34 - 141	ガラス玉	N-3	3.75	3.75	1.00	1.00	2.63	0.05	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 142	ガラス玉	N-3	3.75	3.63	1.63	1.25	2.75	0.05	納戸(4B4/6)	
2号噴	34 - 143	ガラス玉	N-3	3.75	3.75	1.63	1.00	2.50	0.05	褐色(7.5B2/3)	
2号噴	34 - 144	ガラス玉	N-3	3.88	3.63	1.00	1.00	2.88	0.05	褐色(7.5B2/3)	
2号噴	34 - 145	ガラス玉	N-3	4.00	3.75	1.88	1.38	2.00	0.04	褐色(7.5B2/3)	
2号噴	34 - 146	ガラス玉	N-3	4.00	4.00	1.25	1.25	2.25	0.06	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 147	ガラス玉	N-3	3.88	3.88	1.00	0.88	2.25	0.06	褐色(7.5B2/3)	
2号噴	34 - 148	ガラス玉	N-3	4.00	3.75	1.75	1.13	2.13	0.04	褐色(7.5B3/5)	
2号噴	34 - 149	ガラス玉	N-3	3.75	3.50	1.75	1.13	1.75	0.03	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 150	ガラス玉	N-3	4.00	3.75	1.13	1.00	2.38	0.05	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 151	ガラス玉	N-3	3.88	3.88	1.00	1.00	2.75	0.05	褐色(7.5B2/3)	
2号噴	34 - 152	ガラス玉	N-3	3.50	3.38	1.75	1.25	2.75	0.04	納戸(4B4/6)	
2号噴	34 - 153	ガラス玉	N-3	3.88	3.63	1.50	1.13	3.00	0.05	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 154	ガラス玉	N-3	3.75	3.63	1.75	1.13	2.50	0.04	納戸(4B4/6)	
2号噴	34 - 155	ガラス玉	N-3	3.88	3.88	1.50	1.00	2.50	0.04	納戸(4B4/6)	
2号噴	34 - 156	ガラス玉	N-3	3.63	3.63	1.38	1.13	2.25	0.04	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 157	ガラス玉	N-3	4.00	4.00	1.13	1.00	3.00	0.06	褐色(7.5B2/3)	
2号噴	34 - 158	ガラス玉	N-3	3.75	3.63	1.88	1.25	2.25	0.04	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 159	ガラス玉	N-3	2.50	3.28	1.38	1.00	2.00	0.03	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 160	ガラス玉	N-3	2.50	3.25	1.50	1.00	1.75	0.02	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 161	ガラス玉	N-3	4.13	4.00	1.00	1.00	2.75	0.06	褐色(7.5B2/3)	
2号噴	34 - 162	ガラス玉	N-3	3.75	3.50	1.50	1.13	2.50	0.04	納戸(4B4/6)	
2号噴	34 - 163	ガラス玉	N-3	3.75	3.63	1.25	0.88	2.50	0.04	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 164	ガラス玉	N-3	3.75	3.75	1.63	1.25	2.50	0.04	褐色(7.5B2/3)	
2号噴	34 - 165	ガラス玉	N-3	3.88	3.75	1.00	1.00	2.13	0.04	納戸(4B4/6)	
2号噴	34 - 166	ガラス玉	N-3	3.88	3.25	1.00	0.75	2.00	0.02	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 167	ガラス玉	N-3	3.50	3.38	1.75	1.13	2.25	0.03	納戸(4B4/6)	
2号噴	34 - 168	ガラス玉	N-3	4.50	3.88	1.50	1.00	3.00	0.06	褐色(7.5B2/3)	
2号噴	34 - 169	ガラス玉	N-3	2.25	4.25	1.50	1.00	2.50	0.04	納戸(4B4/6)	
2号噴	34 - 170	ガラス玉	S-1	4.38	4.25	1.50	1.50	3.25	0.09	ビーコックブルー(10B64/8.5)	
2号噴	34 - 171	ガラス玉	S-1	3.50	3.38	1.00	1.00	2.25	0.04	藍(2PB3/5) 赤色含有物あり	
2号噴	34 - 172	ガラス玉	S-1	3.88	3.50	1.00	1.00	2.13	0.03	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 173	ガラス玉	S-2	3.75	3.63	1.38	1.00	2.63	0.05	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 174	ガラス玉	S-2	3.63	3.63	1.38	1.00	3.00	0.05	納戸(4B4/6)	
2号噴	34 - 175	ガラス玉	S-2	3.75	3.75	1.38	1.00	2.50	0.05	納戸(4B4/6)	
2号噴	34 - 176	ガラス玉	S-2	4.13	4.13	1.50	1.25	2.13	0.04	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 177	ガラス玉	S-2	3.63	3.50	1.38	1.25	2.25	0.03	褐色(7.5B2/3)	
2号噴	34 - 178	ガラス玉	S-2	3.75	3.75	1.88	1.38	1.75	0.03	納戸(4B4/6)	
2号噴	34 - 179	ガラス玉	S-2	3.88	3.88	1.00	1.00	1.63	0.03	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 180	ガラス玉	S-2	4.50	4.38	1.00	1.00	2.00	0.02	納戸(4B4/6)	
2号噴	34 - 181	ガラス玉	S-4	4.00	3.88	1.50	1.13	2.63	0.03	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 182	ガラス玉	S-5	4.00	4.00	1.75	1.25	2.50	0.06	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 183	ガラス玉	S-5	4.00	4.00	1.88	1.38	2.25	0.05	褐色(7.5B2/3)	
2号噴	34 - 184	ガラス玉	N-3	4.75	4.63	-	1.00	3.25	0.06	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 185	ガラス玉	N-3	3.88	4.38	2.25	1.50	2.50	0.04	褐色(7.5B2/3)	
2号噴	34 - 186	ガラス玉	N-3	4.25	4.25	[1.88]	[1.25]	2.25	0.04	藍(2PB3/5)	
2号噴	34 - 187	ガラス玉	N-2	[4.5]	-	[1.75]	-	2.50	0.03	藍(2PB3/5)	

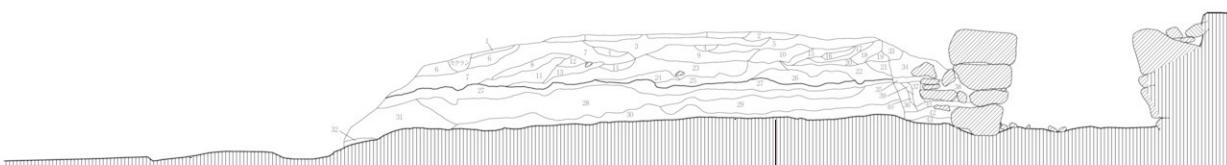
造機名	図版No.	種別	Grid	径 (mm)		孔径 (mm)		厚さ (mm)	重量 (g)	色調	材質
				長径	短径	長径	短径				
2号墳	34-188	ガラス玉	N-3	4.25	-	[1.63]	[1.50]	2.38	0.02	藍(2PB3/5)	
2号墳	34-189	ガラス玉	N-2	4.00	-	[1.25]	[1.00]	2.75	0.03	藍(2PB3/5)	
2号墳	34-190	ガラス玉	N-3	3.88	-	[1.50]	-	2.00	0.02	褐色(7, 5B2/3)	
2号墳	34-191	ガラス玉	N-2	[3.75]	[3.75]	[1.38]	[1.25]	2.75	0.04	藍(2PB3/5)	
2号墳	34-192	ガラス玉	N-2	-	-	[1.38]	-	2.50	0.03	藍(2PB3/5)	
2号墳	34-193	ガラス玉	N-3	-	-	[1.50]	-	2.25	0.02	納戸(4B4/6)	
2号墳	34-194	ガラス玉	N-1	-	-	-	-	2.25	0.02	納戸(4B4/6)	
2号墳	34-195	ガラス玉	N-3	-	-	-	-	2.25	0.02	藍(2PB3/5)	
2号墳	34-196	ガラス玉	N-2	-	-	[1.63]	[1.50]	2.38	0.03	藍(2PB3/5)	
2号墳	34-197	ガラス玉	N-2	[3.75]	-	[1.00]	-	2.13	0.02	褐色(7, 5B2/3)	
2号墳	34-198	ガラス玉	N-2	[4.63]	[4.63]	[1.63]	[1.00]	1.75	0.02	藍(2PB3/5)	
2号墳	34-199	ガラス玉	N-2	-	-	-	-	1.63	0.01	藍(2PB3/5)	
2号墳	34-200	ガラス玉	N-2	[3.60]	-	[1.25]	-	2.00	0.02	藍(2PB3/5)	
2号墳	34-201	ガラス玉	N-2	-	-	-	-	2.25	0.02	納戸(4B4/6)	



第6図 1号填平面図

A

377.0m



1号A-A'土層

- 1層 黒褐色砂質土層(0YR3-3) 0.5mの深さと白色粘子を多く含む。
- 2層 黒褐色砂質土層(0YR3-2) 黄褐色の土と白色のプロックを多く含む。
- 3層 助長移質土層(0YR3-1) 黑色の土と白色のプロックを多く、炭化物を少含む。
- 4層 黒褐色砂質土層(0YR3-0) 黑色の土と白色のプロックを多く含む。
- 5層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) 黑色の土と白色の土と白色のプロックを少含む。
- 6層 黑褐色砂質土層(0YR2-2) 黑色の土と白色の土と白色のプロックを少含む。
- 7層 黑褐色砂質土層(0YR2-1) 黑色の土と白色の土と白色のプロックを少含む。
- 8層 黑褐色砂質土層(0YR1-4) 黑褐色粘子多く、白色粘子を少含む。
- 9層 黑褐色砂質土層(0YR1-3) 黑色の土と白色の土と白色のプロックを少含む。
- 10層 黑褐色砂質土層(0YR1-2) 黑褐色粘子と白色粘子を少含む。上の層はホリ褐色の色調が強いく。
- 11層 黑褐色砂質土層(0YR1-1) 黑褐色粘子と白色粘子を少含む。
- 12層 黑褐色砂質土層(0YR1-0) 黑褐色粘子と白色粘子を少含む。
- 13層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) 黄褐色粘子と黑色土と白色のプロックを多く含む。
- 14層 黑褐色砂質土層(0YR2-2) 黄褐色粘子と白色粘子を少含む。
- 15層 黑褐色砂質土層(0YR2-1) 黄褐色粘子と白色粘子を少含む。
- 16層 黑褐色砂質土層(0YR1-7) 黑褐色粘子と白色粘子を少含む。
- 17層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) 黑褐色粘子を多く含む。
- 18層 黑褐色砂質土層(0YR2-2) 黑褐色粘子を多く含む。
- 19層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) 黑褐色粘子を多く含む。
- 20層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) 0.3mの深さとホリ褐色粘子を多く含む。
- 21層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) 黑褐色粘子とホリ褐色粘子を多く含む。
- 22層 黑褐色砂質土層(0YR2-4) 黑褐色土と白色の土と白色のプロックを多く、ホリ白色粘子と0.5cm-1cmの深さの薄を少含む。
- 23層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) 黑褐色土と白色の土と白色のプロックを少含む。
- 24層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) 0.5cm-1cmの深さとホリ褐色粘子とホリ白色粘子を少含む。
- 25層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) 3-5cmの深さとホリ褐色粘子とホリ白色粘子を少含む。
- 26層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) 黑褐色粘子とホリ白色粘子を少含む。
- 27層 黑褐色砂質土層(0YR2-1) 黑褐色粘子とホリ白色粘子とホリ褐色粘子を少含む。
- 28層 黑褐色砂質土層(0YR2-2) 黑褐色粘子とホリ白色粘子を少含む。
- 29層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) 黑褐色粘子とホリ白色粘子を少含む。
- 30層 黑褐色砂質土層(0YR2-2) 2.3m大深度の薄を多く含む。
- 31層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) 黑褐色粘子とホリ白色粘子を少含む。
- 32層 黑褐色砂質土層(0YR2-4) 黑褐色土とホリ白色粘子を少含む。
- 33層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) 黑褐色土とホリ白色粘子を少含む。
- 34層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) 黑褐色土とホリ白色粘子を少含む。
- 35層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) 黑褐色土とホリ白色粘子を少含む。
- 36層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) 黑褐色土とホリ白色粘子を少含む。
- 37層 黑褐色砂質土層(0YR2-4) 黄褐色粘子を含む。
- 38層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) 黑褐色粘子とホリ白色粘子を少含む。
- 39層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) 黑褐色粘子とホリ白色粘子を少含む。
- 40層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) 黑褐色粘子とホリ白色粘子を少含む。
- 41層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) ホリ白色粘子を含む。
- 42層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) 黑褐色粘子とホリ白色粘子を含む。ややホリ色あり。
- 43層 黑褐色砂質土層(0YR2-4) 0.3cm-0.5cmの深さの薄を少含む。ホリ白色粘子を多く含む。

B

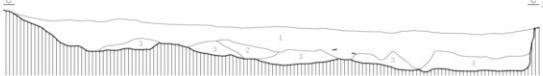


1号B-B'土層

- 1層 黒褐色砂質土層(0YR3-4) 粘子の無いホリ褐色土とプロックを多く含む。ホリの無いホリ褐色土とプロックを少含む。
- 2層 黃褐色砂質土層(0YR4-6) 黑褐色粘子とホリ褐色粘子を多く含む。

C

377.4m

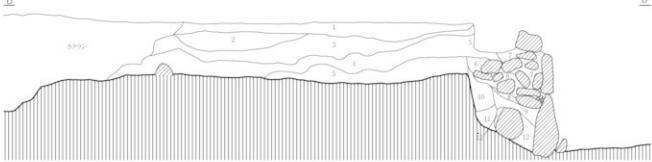


1号B-B'土層

- 1層 稲作土層
- 2層 黒褐色砂質土層(0YR2-2) 粘子の無いホリ褐色土を含む。少少含む。
- 3層 助長移質土層(0YR3-3) 黑褐色土とホリ褐色土を含む。
- 4層 黑褐色砂質土層(0YR2-2) 黑褐色粘子とホリ褐色粘子を含む。ややホリ色あり。

D

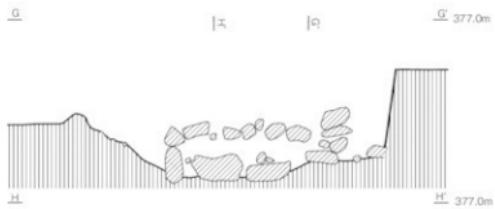
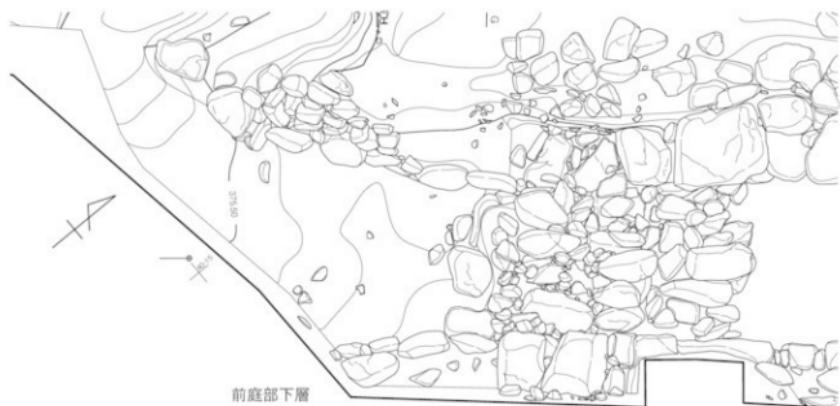
377.0m



1号D-D'土層

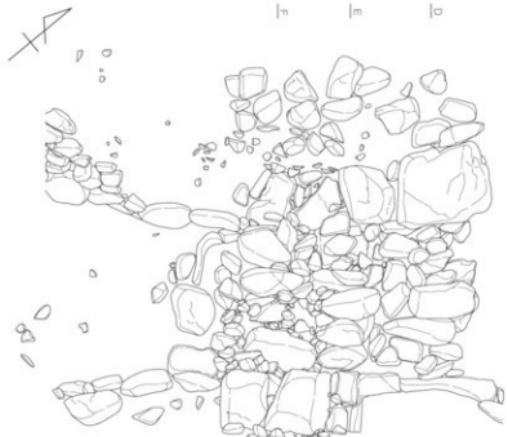
- 1層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) 2-3cmの深さの薄を少含むと白色粘子を少含む。
- 2層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) 1-2cmの深さとホリ褐色粘子とホリ白色粘子を含む。
- 3層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) 黑褐色粘子とホリ白色粘子を含む。
- 4層 黑褐色砂質土層(0YR3-2) 黑褐色粘子とホリ白色粘子を含む。
- 5層 黑褐色砂質土層(0YR4-6) 黑褐色土とホリ白色粘子とホリ褐色粘子を含む。
- 6層 黑褐色砂質土層(0YR4-6) 黑褐色土とホリ白色粘子を含む。
- 7層 黑褐色砂質土層(0YR4-6) 1-3cmの深さの薄を含む。
- 8層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) 1-3cmの深さの薄を含む。
- 9層 黑褐色砂質土層(0YR2-3) 1-3cmの深さの薄を含む。
- 10層 黑褐色砂質土層(0YR2-2) 1-2cmの深さの薄を含む。
- 11層 黑褐色砂質土層(0YR3-4) 黑褐色土とホリ白色粘子を含む。
- 12層 黑褐色砂質土層(0YR3-4) 2-3cmの深さの薄を含む。

第7図 1号填埴丘・周溝セクション図



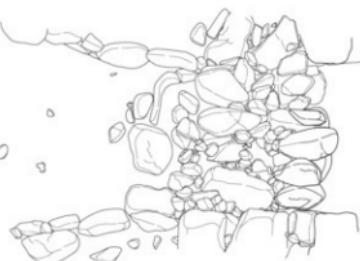
第8図 1号填前庭部

— 377.00



第2次閉塞

— 377.00



第1次閉塞

0 (1:40) 1m

第9図 1号填閉塞石

D ↓ D 377.0m



E ↓ E 377.0m



F ↓ F 377.0m

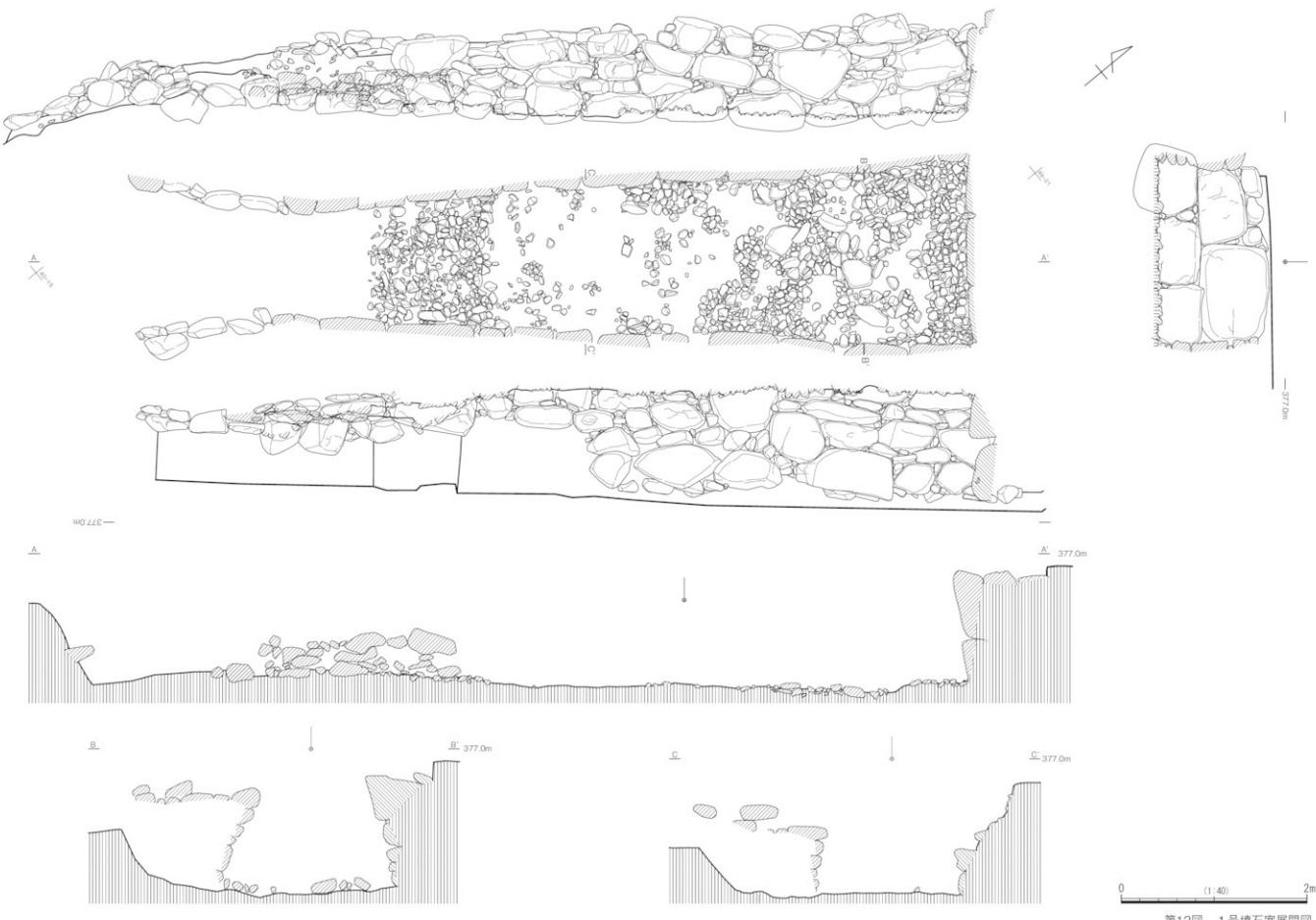


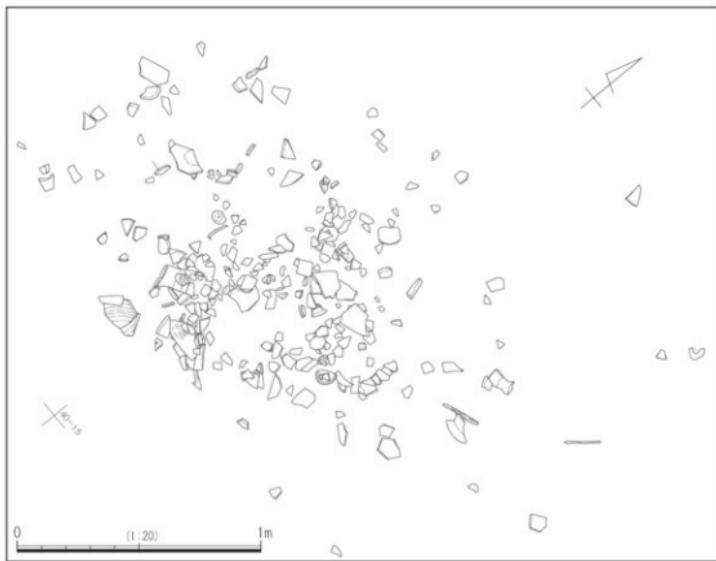
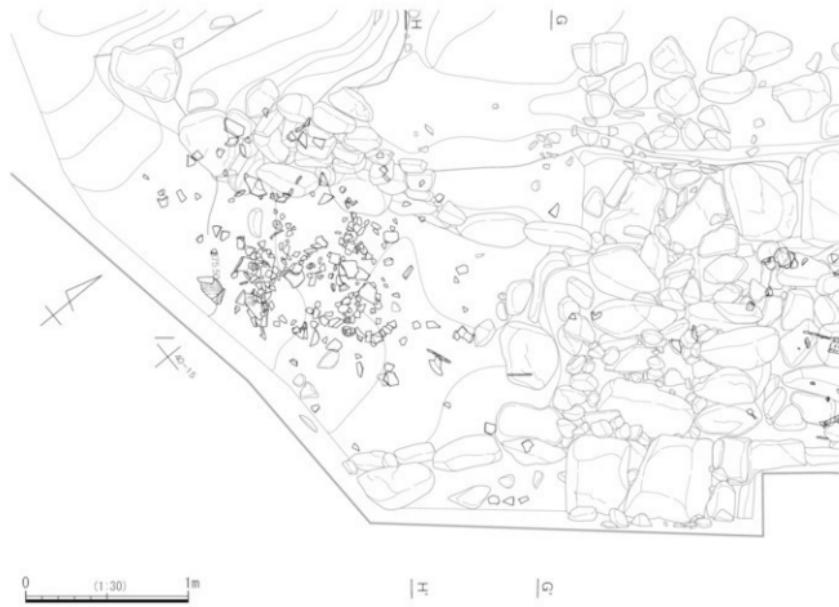
0 (1:40) 1m

第10図 1号墳閉塞石断面図

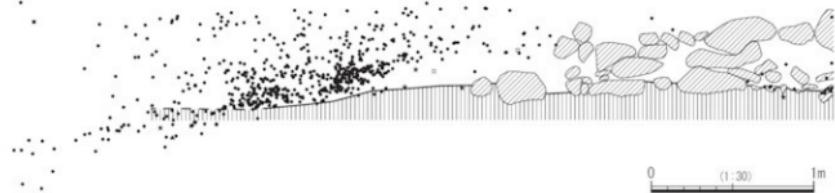
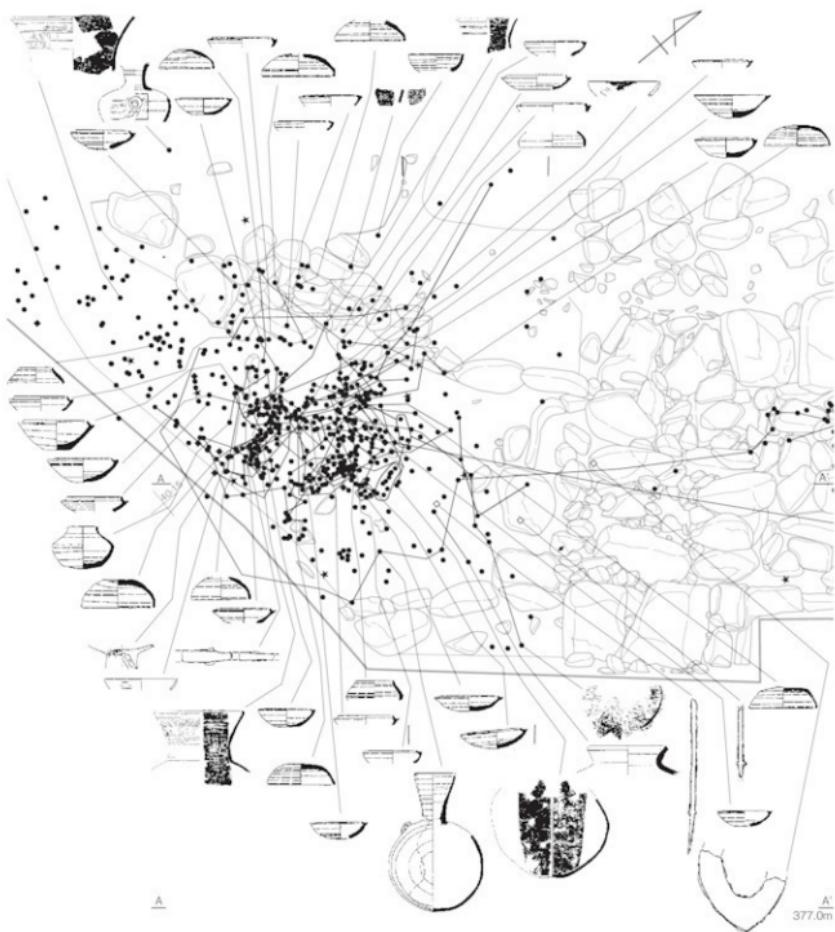


第11図 1号墳掘り方

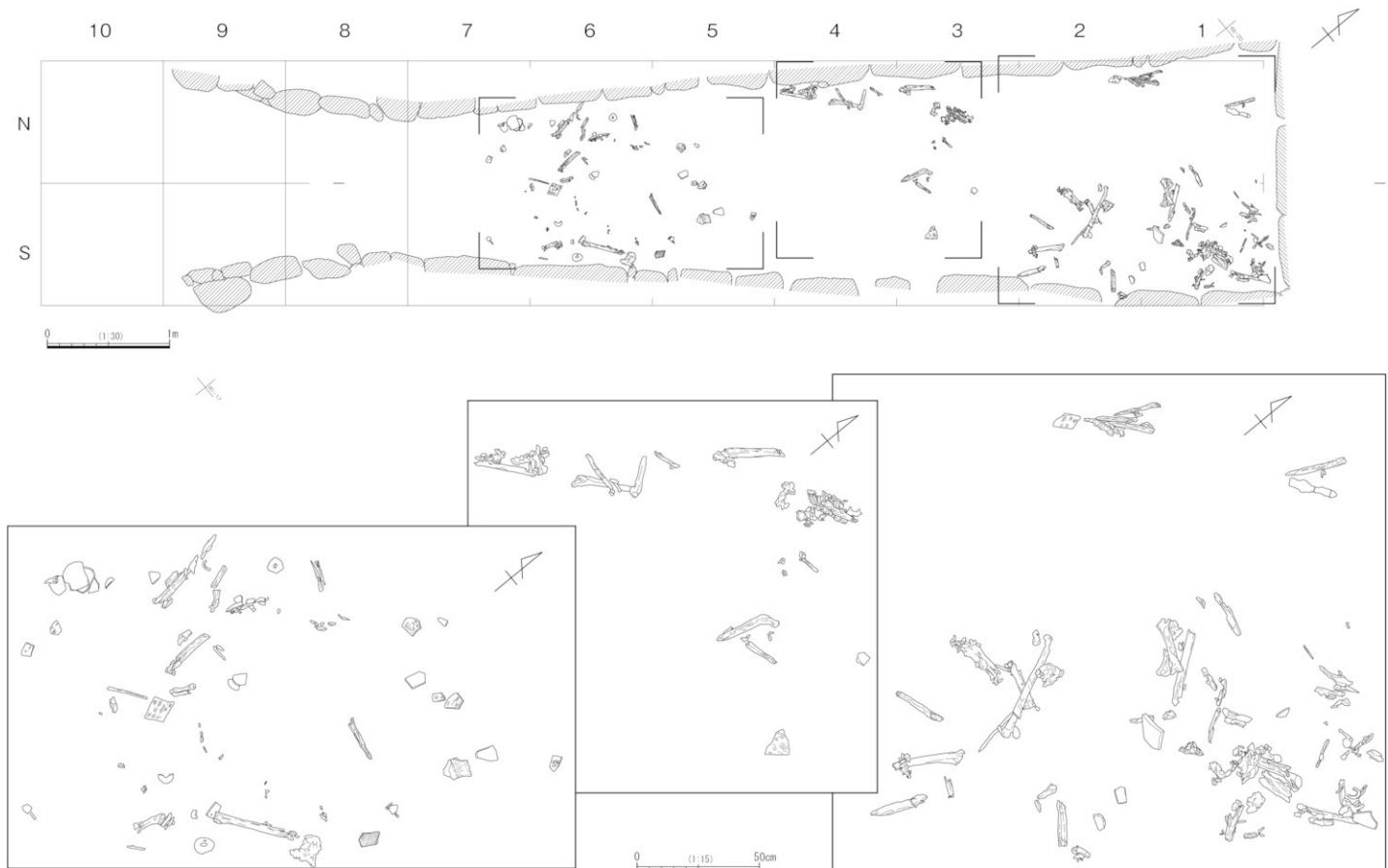




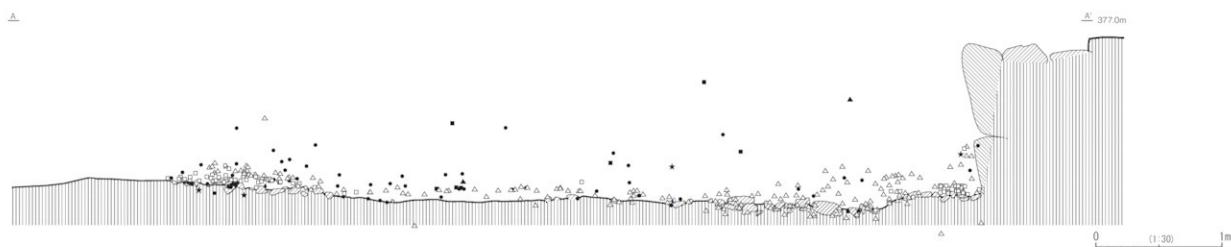
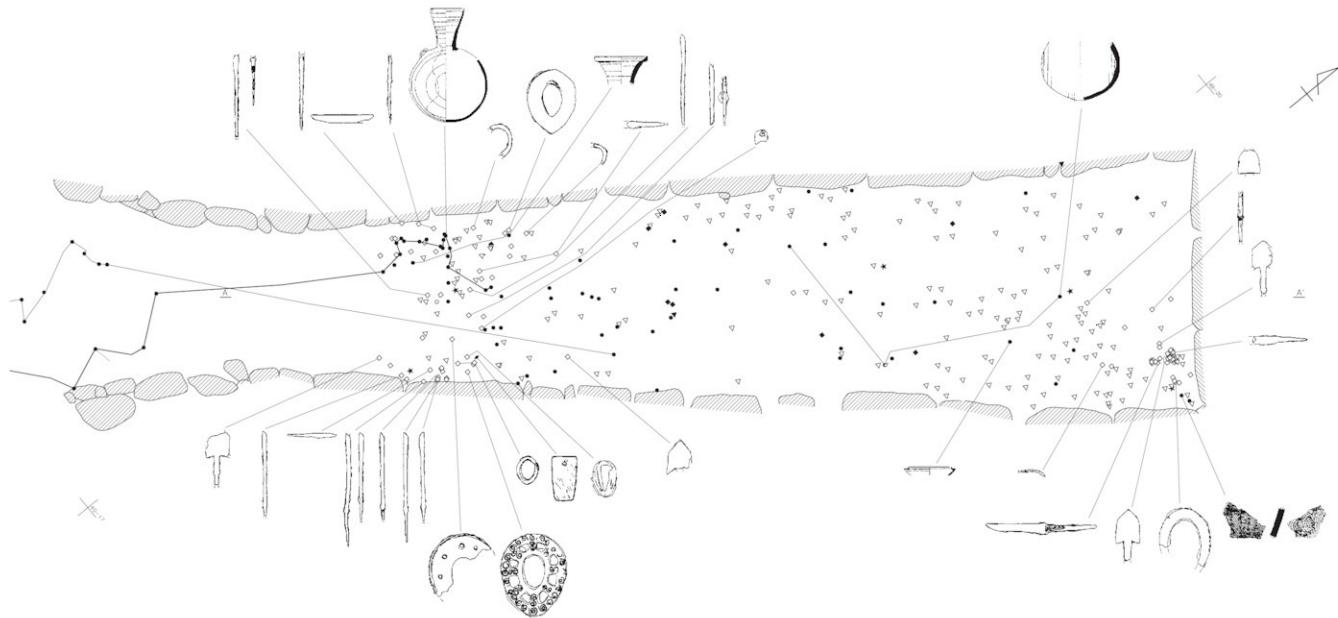
第13図 1号墳前庭部遺物出土状況(1)



第14図 1号墳前庭部遺物出土状況(2)



第15図 1号墳主体部遺物出土状況(1)



第16図 1号墳主体部遺物出土状況(2)

0 (1:80) 4m

2号堆积-A上层
1层 黑褐色腐殖土层, 厚约35cm, 土质含沙量大, 粘性土, 含砾石, 直径达10mm。
2层 黑褐色腐殖土层, 厚约35cm, 土质含沙量大, 粘性土, 含砾石, 直径达10mm。
3层 黑褐色腐殖土层, 厚约35cm, 土质含沙量大, 粘性土, 含砾石, 直径达10mm。
4层 黑褐色腐殖土层, 厚约35cm, 土质含沙量大, 粘性土, 含砾石, 直径达10mm。

10-30

A-A' 382.0m



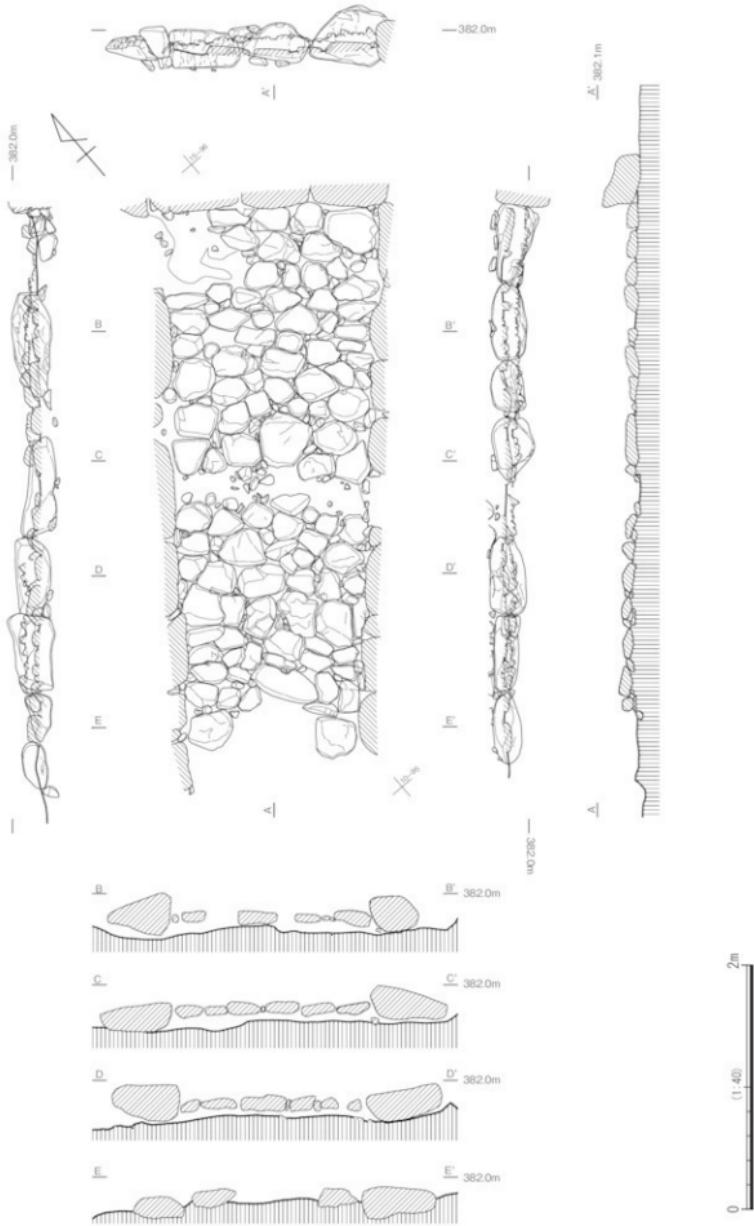
第17图 2号堆平面图

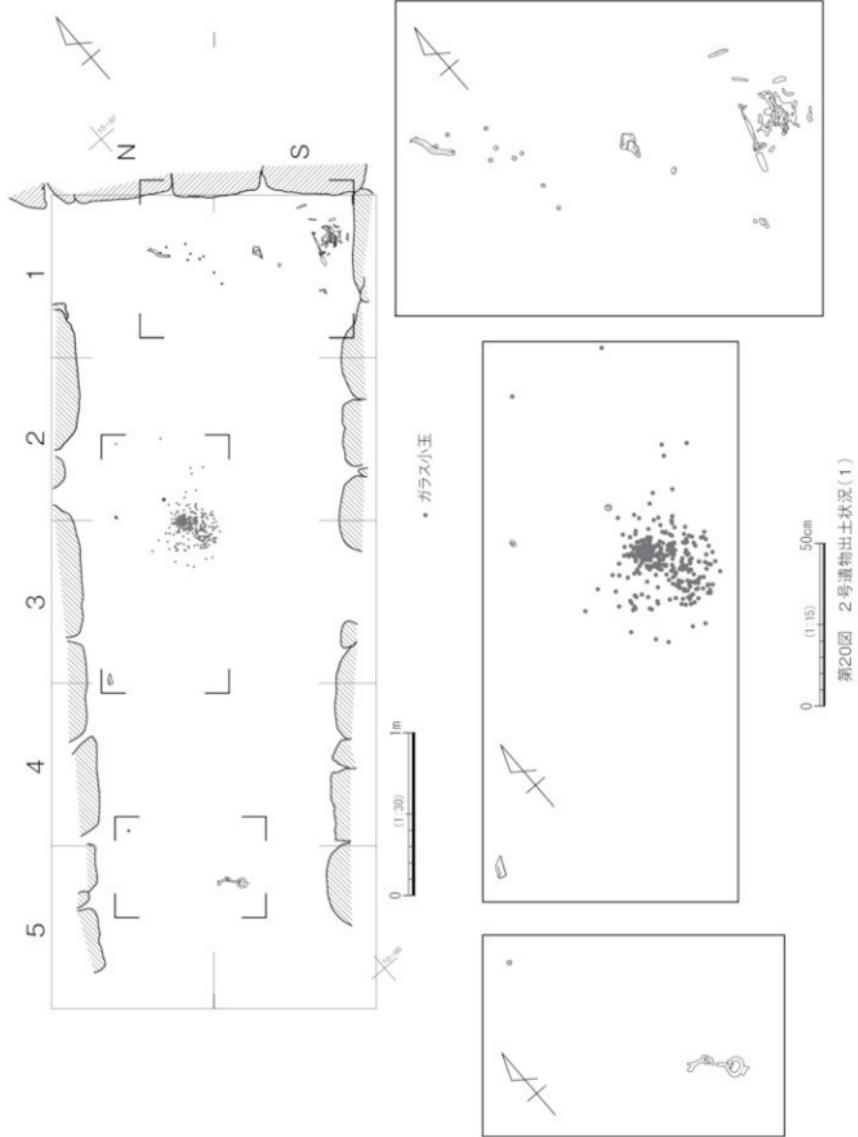


第18図 2号煤礦床

2号煤(コバヘン)
1層 斜褐色土(010732)382.1m
2層 斜褐色砂質土(010732)41cm
3層 黄褐色頁岩(03344) 墓上部-塊状
4層 黄褐色頁岩(03344) 塵化-粘性

第19圖 2號填石室展開圖

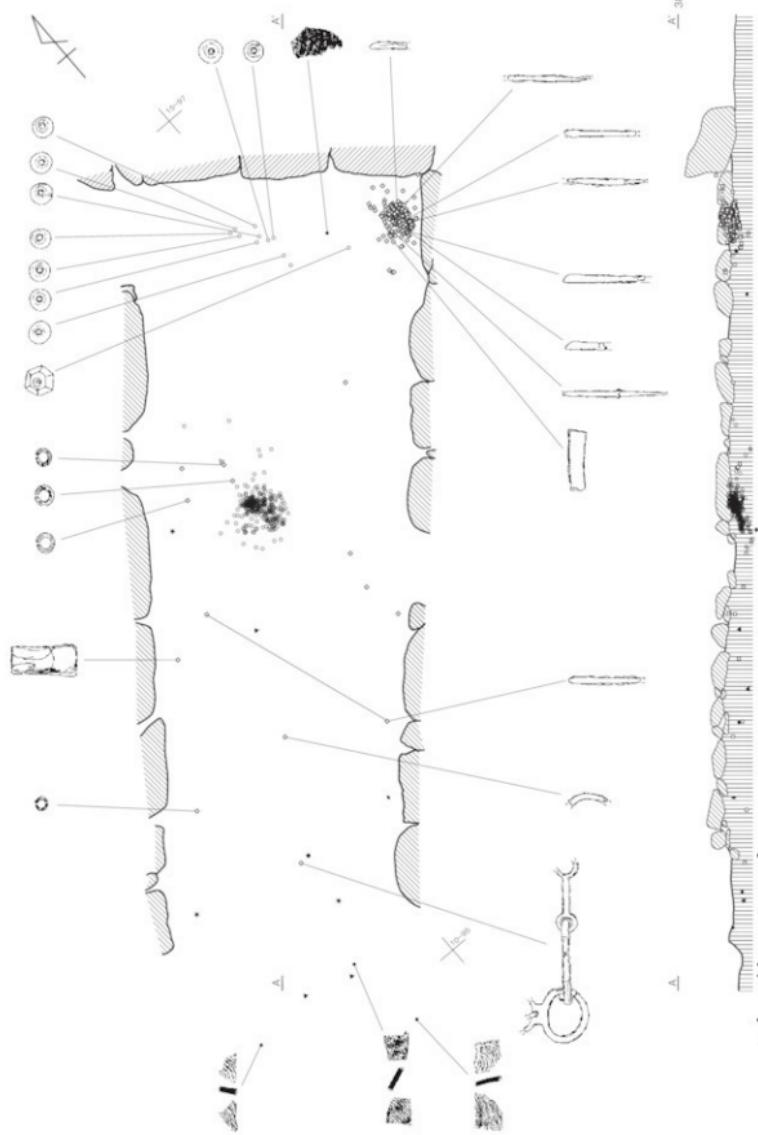




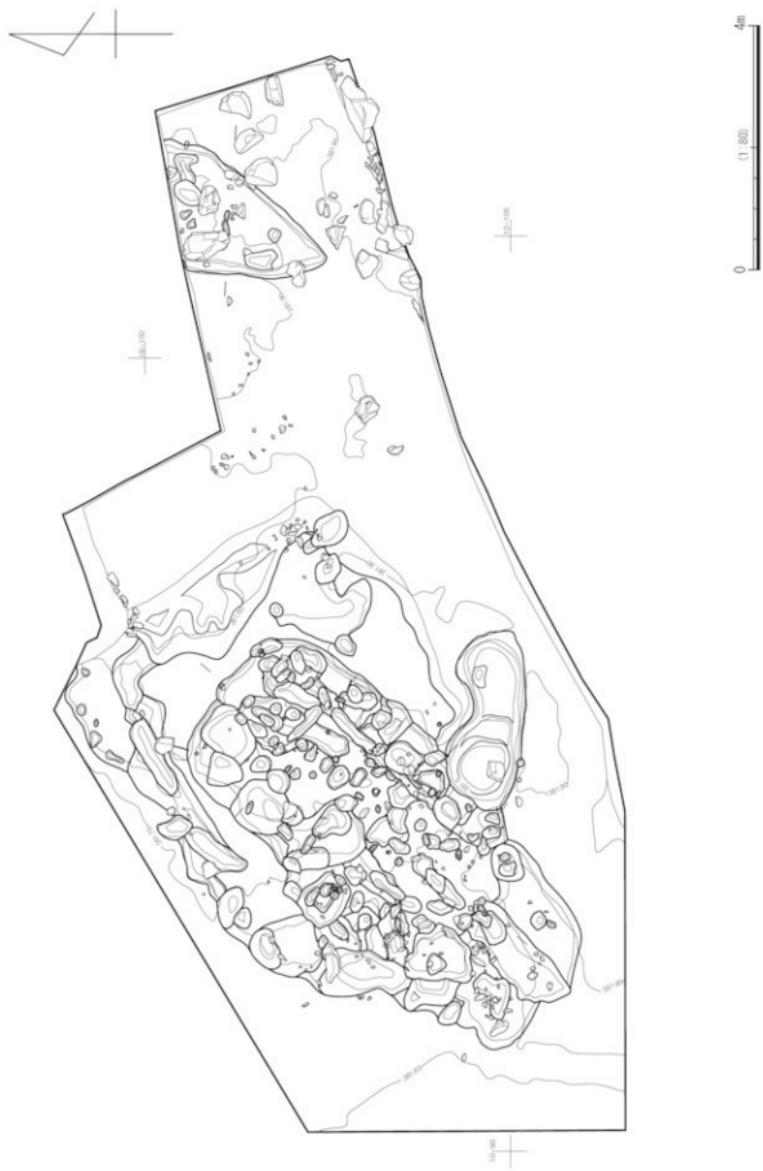
第20図 2号遺物出土状況(1)

图 21(2) 2号墓出土物状况

第21图 2号墓出土物状况(2)

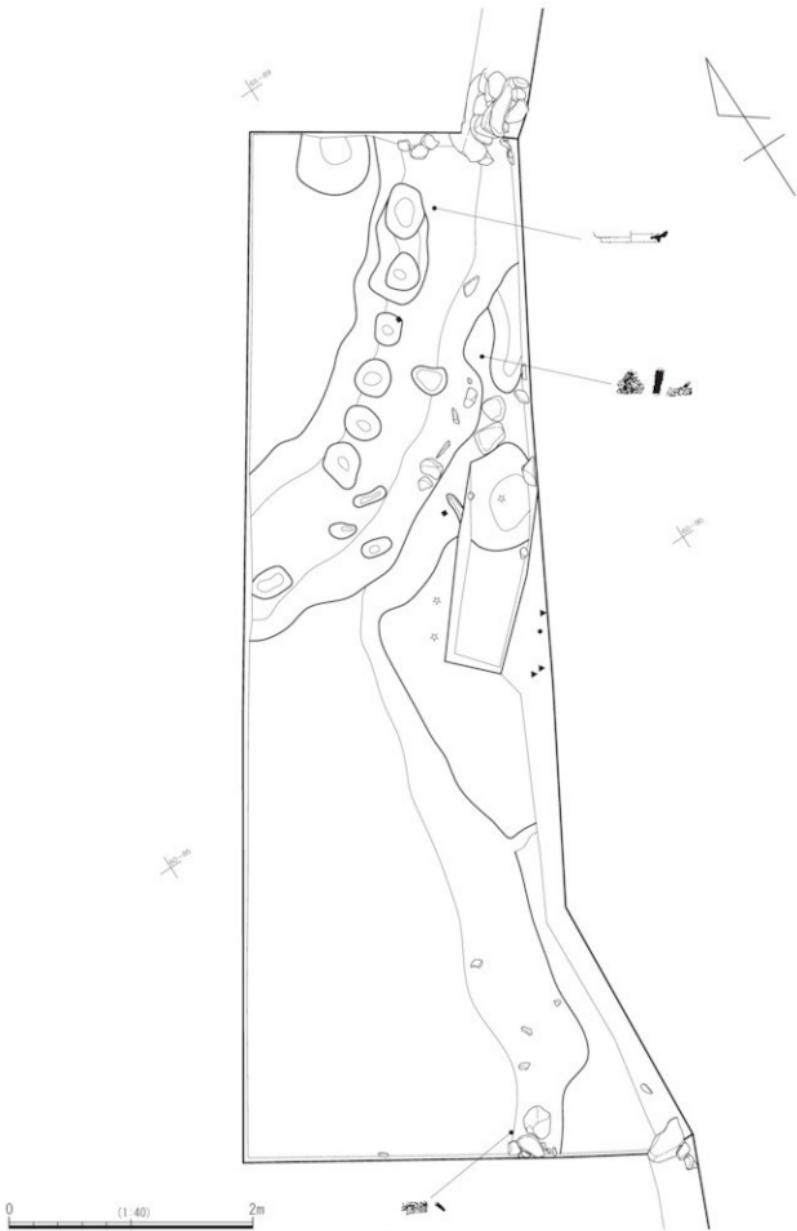


第22図 2号堀掘り方



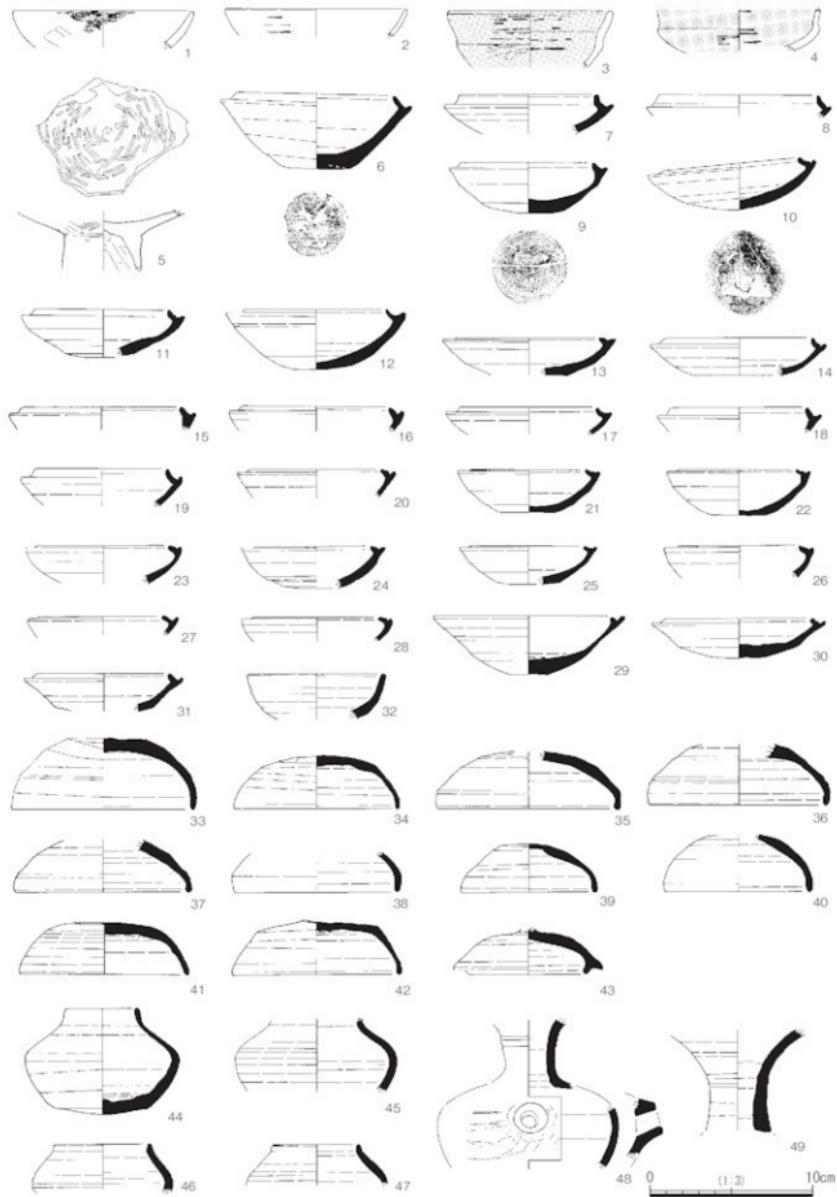


第23図 3号墳平面図



第24図 3号填遺物出土状況

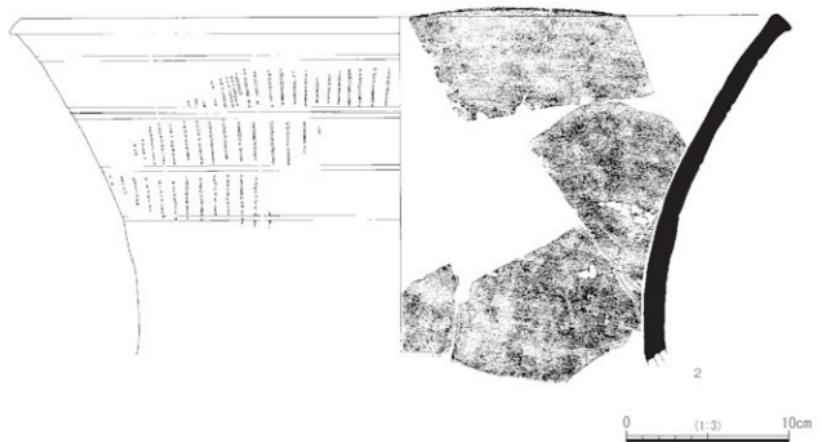
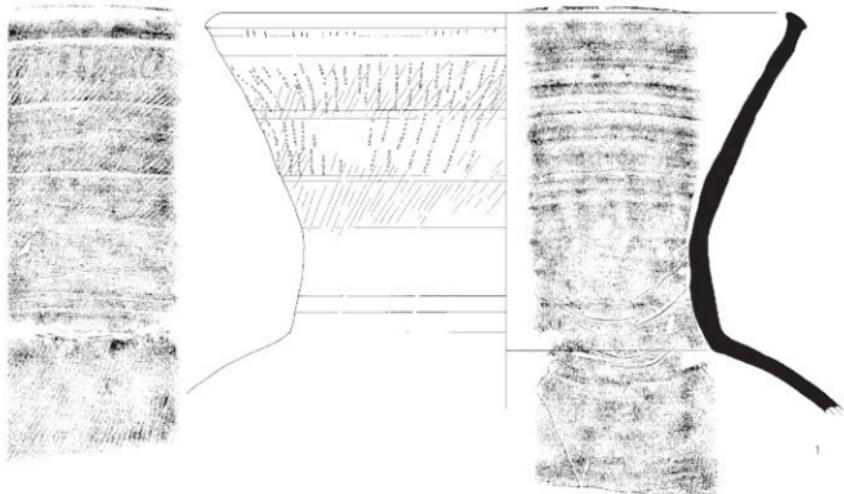
1号墳



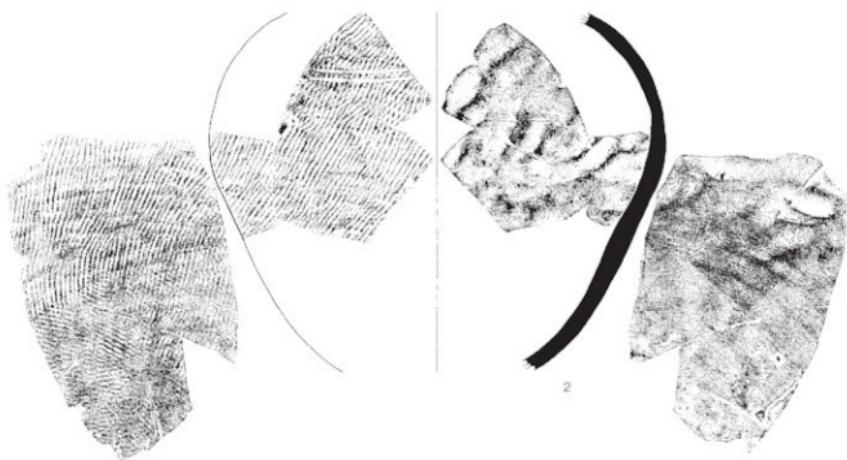
第25図 出土遺物(1)



第26図 出土遺物(2)



第27図 出土遺物(3)

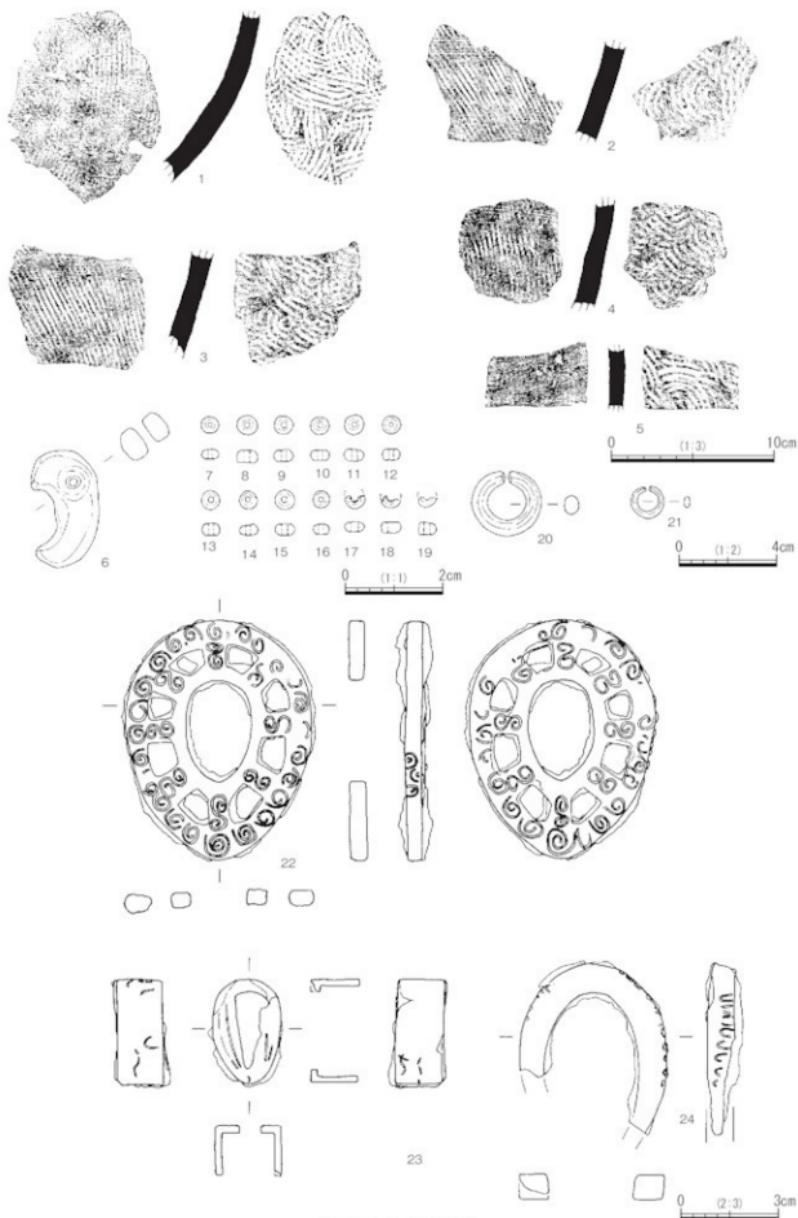


0 (1:3) 10cm

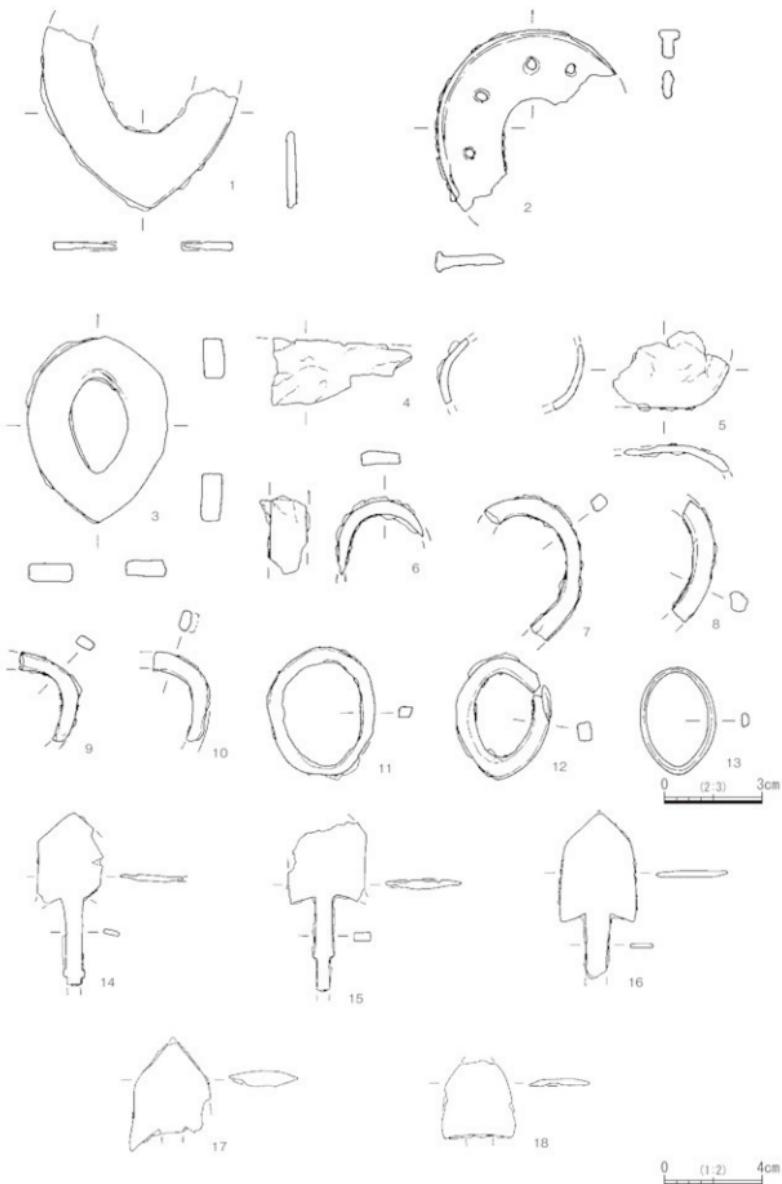
第28図 出土遺物(4)



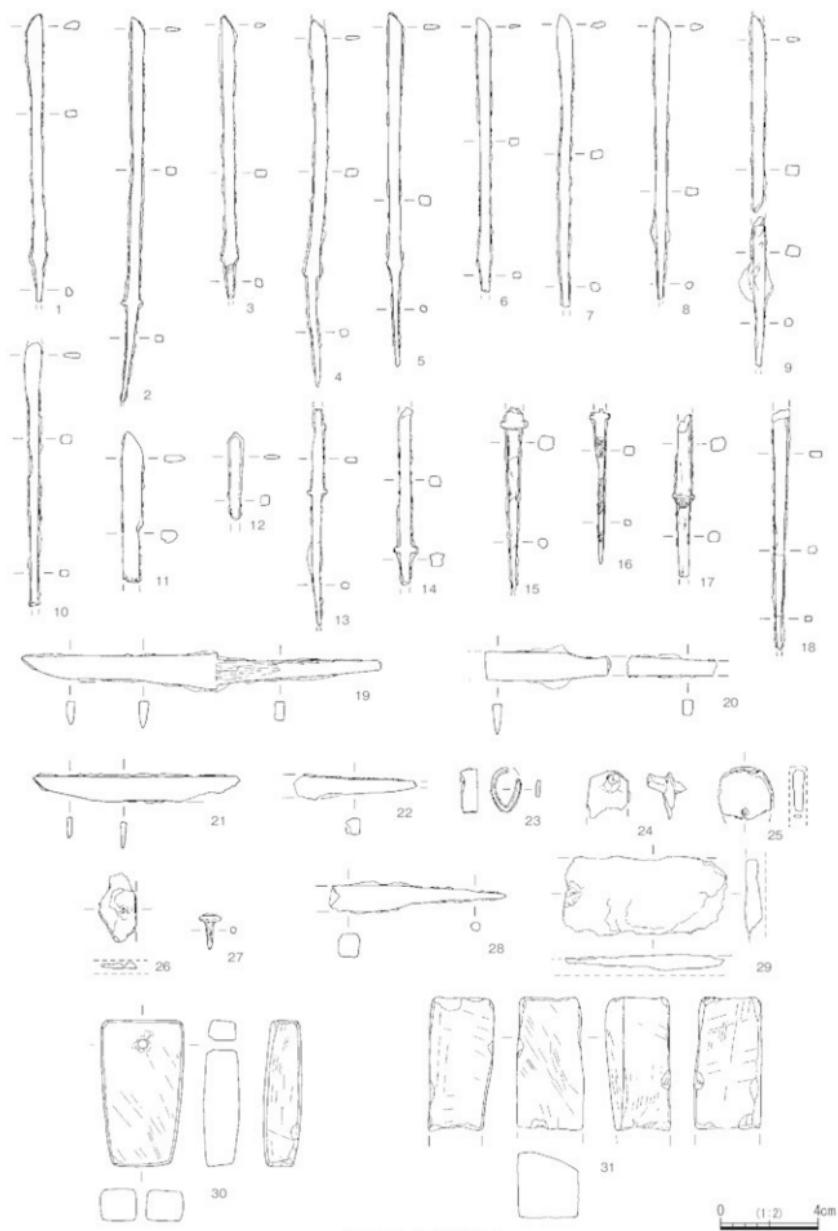
第29図 出土遺物(5)



第30図 出土遺物(6)

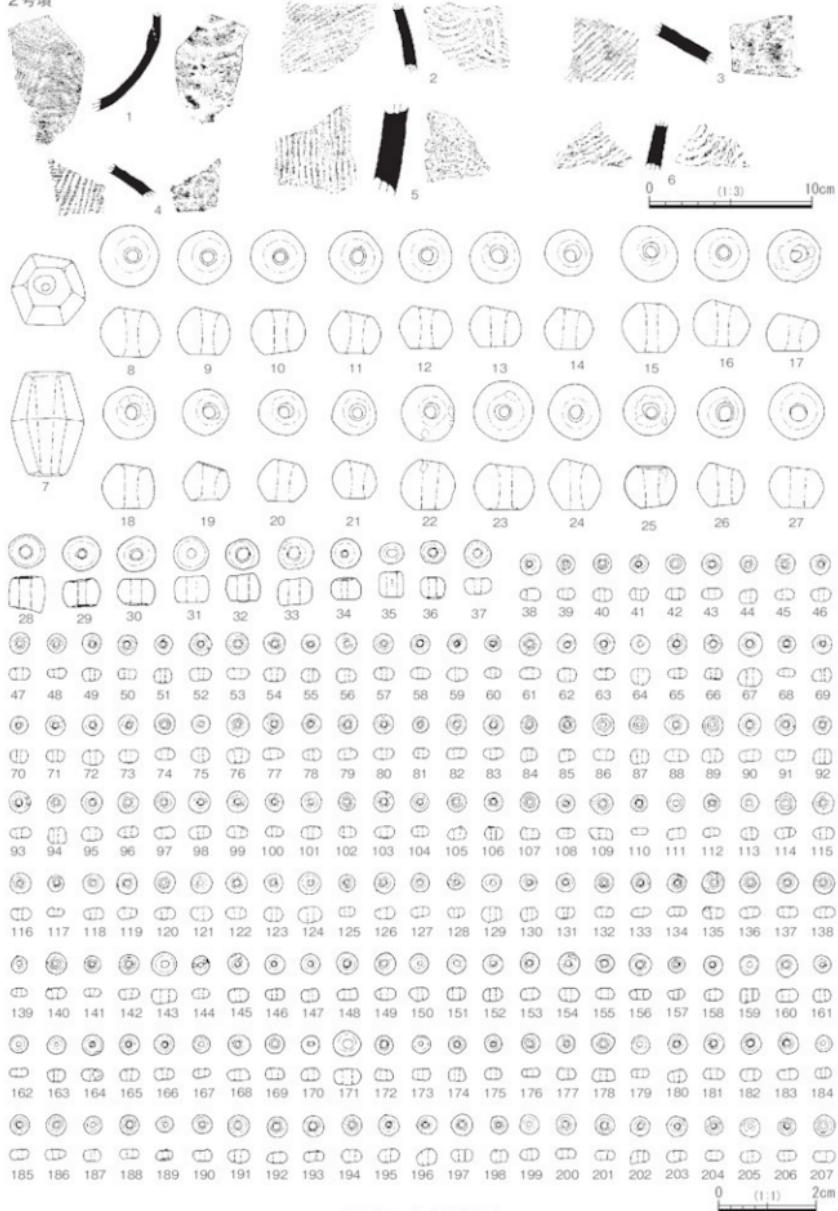


第31図 出土遺物(7)

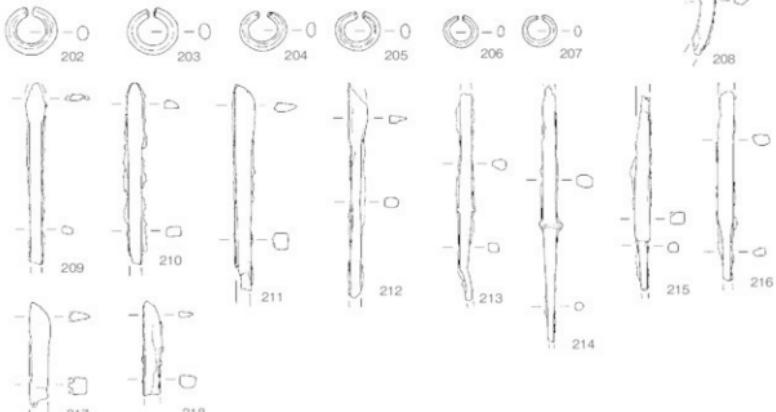
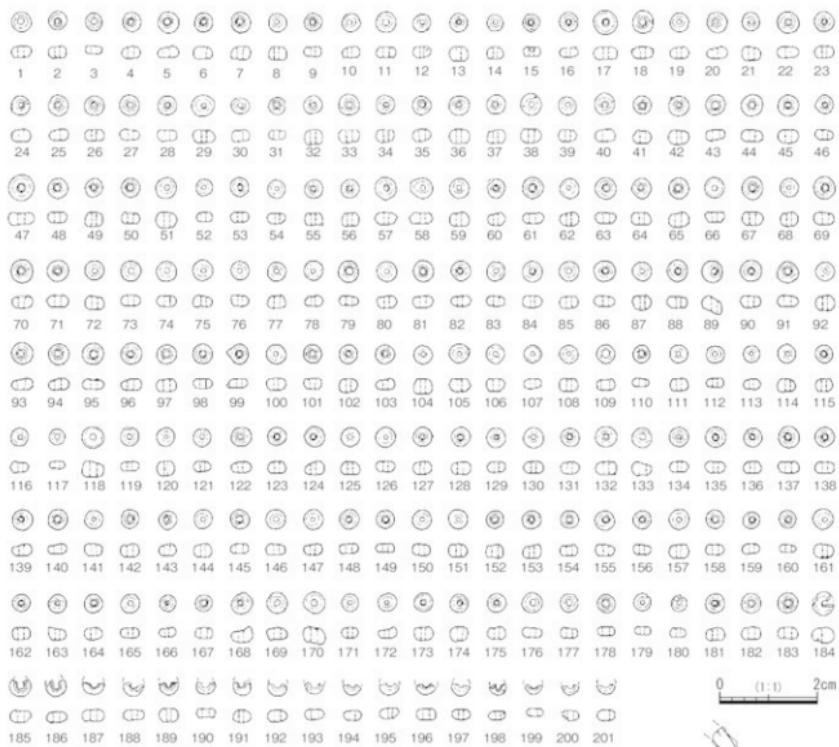


第32図 出土遺物(8)

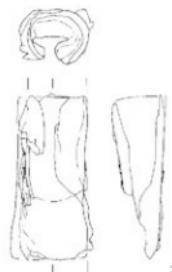
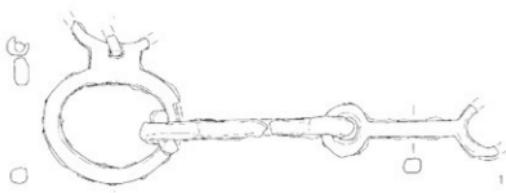
2号墳



第33図 出土遺物(9)



第34図 出土遺物(10)



0 (1:2) 4cm

3号墳



0 (1:3) 10cm

第35図 出土遺物(11)

第4章 科学分析

第1節 竹居古墳群から出土したウマ遺体

植月 学（山梨県立博物館）

1. 資料と方法

竹居古墳群1号墳の石室よりウマ1個体分の下顎骨が出土した。古墳は6世紀末～7世紀初頭の築造と考えられている。

下顎骨にはM3を除く5本の臼歯が植立している。骨の遺存状況は不良で、臼歯周辺部のみ現存する。特に舌側の風化が進む。臼歯はセメント質が遺存している部分が多く、比較的残りは良い。取り上げに際して補強のために樹脂（パラロイドB72）が塗布されていたが、計測のために、臼歯咬合面のみアセトンを使用して土を除去して露出させた。

計測は臼歯エナメル質の長さ、幅と高さを計測した。歯冠高は中心、および頬側と舌側を計測したが、頬骨に植立していることにより計測できなかった場合もある。歯冠高をもとに西中川・松元（1991）の推定式を用いて年齢推定をおこなった。推定には中心高を用い、計測できなかった場合は頬側や舌側を用いた。

なお、横穴式石室のため後世の資料が混入している可能性も排除できないとのことであったので、金沢大学覚張隆史氏に依頼して年代測定を試みた。臼歯の象牙質よりコラーゲンを抽出したが、測定に必要な量を得ることができなかつた。

2. 結果

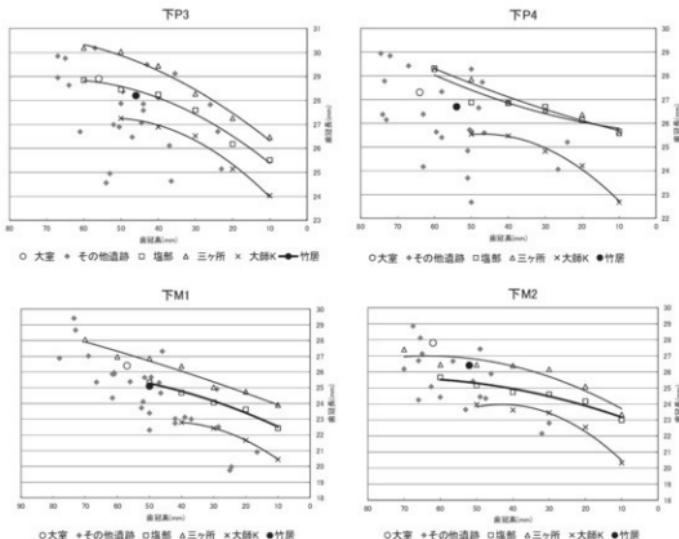
下顎骨は右側のみが出土した。P2からM3までの6本の臼歯すべてが残っている。推定年齢は歯種によりばらつきがあるが、おおむね7歳前後の個体と推定される。次に馬歯の大きさについて検討する。馬歯は加齢とともに大きさを減じる（植月2011）。ここでは加齢の影響も考慮し、歯冠長と歯冠高のグラフにプロットした。筆者がこれまでに計測した東日本の古墳から中世馬の計測値と比較すると、おおむね中位の大きさに相当する。M2はやや大形だが、その他3歯種は同じ古墳時代に属する甲府市塙部遺跡の馬に近い（第36図）。中世遺跡の基準3標本の平均的な変化曲線との偏差により求めたLSI（Log Size Index）の値は4歯種の平均で0.007となり、平均をやや下回るサイズである。やはり塙部遺跡（0.008）に近く、東日本では最大級に属する長野市大室古墳群出土馬（0.022）よりはかなり小さい。

3. 考察

本墳から出土した馬歯は約7歳の個体のもので、比較的若い個体が埋葬（もしくは供儀）されるという古墳時代の一般的な傾向に合致する（植月2013）。歯の大きさは東日本の古墳～中世馬の平均よりやや小さかった。ただ、古墳時代でも大室古墳群のように大形の例もあれば、甲府市塙部遺跡のように平均的な例もある。馬歯の属性のみから時代を決定することはできない。本標本の遺存状態からすれば、左の下顎や上顎の歯が残っていないのは不自然である。また、共伴している人骨も遺存状況は不良だが、主要な四肢骨が同定できる程度には残っており、より大形の馬骨が完全に消滅することは考えにくい。したがって、元来ウマ一体分が葬られたとは考えにくく、意図的な供儀のような状況を想定することは難しい。もっとも、人骨とされた標本の中に馬骨が混ざっている可能性もあり、今後精査する必要がある。

第6表 馬歯計測結果(mm)

歯種	歯冠長	歯冠幅	歯冠高			推定年齢	LSI
			舌側	中心	頸側		
P2	32.3	14.4	植立	29	28	9.7	-
P3	28.2±	15.4	植立	46	植立	7.3	-0.002
P4	26.7	14.9	54	54	植立	6.2	-0.001
M1	25.1	13.9	植立	50±	植立	7.2	0.004
M2	26.4	破損	50	52	51	7.5	0.026
M3	30.3	13.4	52	54	植立	7.3	-
				平均		7.5	0.007
				標準偏差		1.16	0.0128

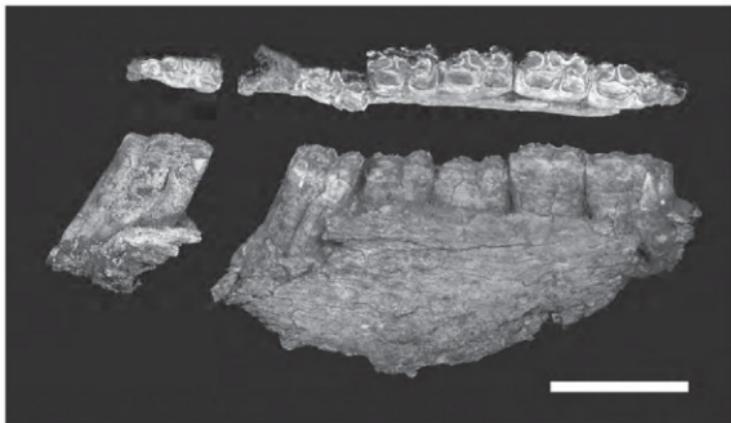


第36図 ウマの歯冠長・歯冠高の比較

今回の分析結果からは馬歯が古墳時代に属するものである可能性は否定できないが、少なくとも本墳を築造した人々が意図的に馬骨を石室内に持ち込んだ痕跡は認めがたい。

引用文献

- 植月 学 2011「出土馬歯計測値の比較のための基礎的研究」『動物考古学』28:1-22
 植月 学 2013「甲斐周辺における馬埋葬と頭骨埋納」『山梨県考古学協会誌』22:170-182
 西中川 駿・松元光春 1991 「遺跡出土骨同定のための基礎的研究ーとくに在来種および現代種の骨、歯の計測値の比較」『古代遺跡出土骨からみたわが国の牛、馬の渡来時期とその経路に関する研究』科学研究費成果報告書 pp.164-188



第37図 ウマ右下顎骨咬合面(上)と頬側面(下) 左よりM3,M2,M1,P4,P3,P2。スケールは5cm

第5章 総 括

第1節 竹居1～3号墳の築造年代

今回の発掘調査では、竹居古墳群のうち3基の古墳の調査を実施した。ここでは、それぞれの古墳について、出土遺物から年代を考えてみたい。

1号墳では、前庭部や墳丘をとりまく畠境の石垣裏込めより多量の須恵器が出土した。須恵器のうち、比較的変化が捉えやすい坏身・坏蓋を中心に分類とその編年的位置づけを試みたい。

本報告において図示した坏身は28点であるが、そのうち、かえりを有するもの27点、かえりを有さないもの1点である。

前者は、器径ならびにたちあがりや受部の形状から6種類に分類可能である。

第38図6～8は、器径10.6～11.3cmを測り、たちあがりも受部より0.48～0.78cmほど突出している。同7・8は、たちあがりも高く罐部は直立傾向を示すが、同6は立ち上がりもやや小さく内傾しており、やや新相を呈する。これらのことから、前者を坏身I類、後者を坏身II類とする。

同9～12・14は、第I類より概して小ぶりで、器径が11.0cmとなるものもみられるが、多くは9.7～10.8cmのもので、たちあがりはやや内傾し、受部より2～3mm程度受部端より突出するものを一括する（坏身III類）。

同21～24は、かなり小形化しており、器径が10cm以下となるものである。また、たちあがりはほぼ水平に伸び内傾するものが多く、受部端より若干突出するかほぼ同じ高さになる（坏身IV類）。

同30・31は、坏身IV類よりやや大形であり、器径が10cm前後となる。たちあがりは、斜め上方に立ち上がり、受部端より2～3mm突出する。腰には屈折部をもつ（坏身V類）。

同29は、小さな底部から直線的に広がる口縁部をもつ。器径は大きく、11.7cmを測る。たちあがりは、わずかに認められるだけで、受部端より突出しない（坏身VI類）。

同32は、かえりをもたな坏身である（坏身VII類）。

坏蓋も形態やかえりの有無によって数種類に分けることができる。同33は、半球形を呈し器径は11.2cmと大きく、器高も高いものである（坏蓋I類）。

同34～36は、坏蓋II類に比して、口径はほぼ同じであるが、器高が低くなりやや扁平なプロポーションを呈する。ただし、同35・36は沈線文をもち、口縁部付近で垂直に垂下しておらず、器径が小さくなる同34とは違いも認められる（坏蓋III類）。

同39・40は、器径が小さくなり、9cm前後となる。器径に比して器高は高いが、天井部は小さくなる（坏蓋IV類）。

同42は平坦な天井部から明瞭な屈折部をもち、口縁へと至るプロポーションを呈する（坏蓋V類）。

同41は、扁平な半球形の体部をもち、口縁部は外反したまま終息する（坏蓋VI類）。

同43は、つまみをもつかえり蓋である（坏蓋VII類）。

坏身I類とII類は先に触れたようにI類が古相を呈するが、それほどの時間差はないのかもしれない。これらに伴う坏蓋はII類とした、器高が高く半球形の体部になるものであろう。

坏身III類としたものには、器径にやや差異が認められるが、坏蓋III類にも同様に器径の異なるものが存在することから、両者は伴うものと見て良いであろう。

坏身IV類とした小ぶりな坏身には、同様に小ぶりな坏蓋IV類があり、両者の胎土が良く似ている。

坏身V類と組み合わせられるのは、坏蓋V類である。蓋・身とともに腰折れになる点が共通している。同31の坏身と同42の坏蓋は色調や焼成が類似しており、セットを成すものであろう。

坏身VI類としたものは、たちあがりをほとんど持たないものであり、大きさ的にも坏蓋VI類とセットになるものであろう。

坏身Ⅶ類は、1号墳からの出土はほとんどみられず、かえりの付く坏蓋も1点のみ確認されただけである。

1号墳から出土した須恵器は、ほとんどが湖西窯であり、提瓶が唯一猿投窯窯であることから、遠江編年（山村ほか 1966・鈴木 2001）を用いて古墳の年代を考えてみたい。

坏身・坏蓋I・II類は、それほど時間差を考えることはできず、ほぼ同時期と考えてもよいであろう。これらの特徴をもつものは、遠江Ⅲ期後段階とされる時期に近いものと思われる。坏・蓋のⅢ類は、遠江Ⅲ期末段階、坏身・坏蓋のⅣ類とした小ぶりのタイプは、遠江Ⅳ期前段階に類例が多くみられる。坏身・坏蓋のV類およびかえりが極端に縮小したVI類は、遠江Ⅳ期後段階にみられる。坏身と坏蓋が逆転した返り蓋と碗となるVII類の例は、遠江ではⅣ期前段階よりみられ、器径や器径に比して蓋の器高が高いことなどから、遠江Ⅳ期前段階のものとして考えておきたい。

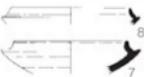
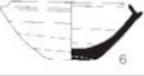
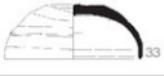
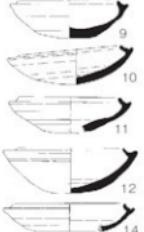
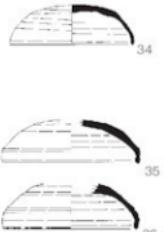
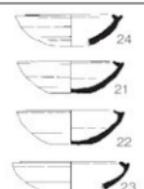
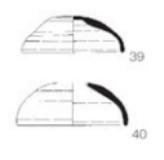
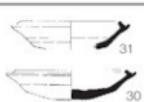
遠江Ⅲ期後段階は6世紀末から7世紀初頭、Ⅲ期末段階は7世紀前葉、Ⅳ期前段階は7世紀中葉、Ⅳ期後段階は7世紀後葉にそれぞれ比定されるものだと考えられる。

よって、1号墳の築造を6世紀末から7世紀初頭と考えたいが、坏身・坏蓋I・II類の出土量はきわめて少なく、7世紀前半の築造の可能性も高い。その後の多くの須恵器は、追葬ないし墓前祭祀によってもたらされたものである、7世紀後葉まで追葬が行われていたものと考えられる。

2号墳からは、装身具類（金環・切子玉・丸玉・ガラス小玉）、工具（鉄斧）、馬具（轡）須恵器が出土している。前部が削平されているため、土器類の出土はほとんどなく、年代を決定する資料は出土していない。石室内より発見

された轡は、鉸具立聞素環鏡板付轡であるが、およそ6世紀後半から7世紀後半までみられる形態であるが、立間に比べ鏡板が小さいことから、7世紀前半段階のものと考えられる。その他に2号墳の築造年代を推定するような資料はないことから、2号墳を7世紀前半の築造と考えておきたい。

3号墳からは、調査区内からの遺物の出土はわずかで、周辺から数点の須恵器片が採取されている。高台付坏（第35図4）は8世紀代になってからのものである。壺の破片には1・2号墳で出土している内面に青海波文を残したもののがみられることから、1・2号墳に近い時期と考えることもできるが、古墳墳端かどうか断定できないため、ここでは3号墳の存在、時期を保留とする。

	坏身	坏蓋
I 類		
II 類		
III 類		
IV 類		
V 類		
VI 類		
VII 類		

遺物番号は遺物図版番号と対応する。

第38図 竹居1号墳出土須恵器分類表

3基の古墳から出土した須恵器のうち、ほとんどのものは湖西産である。これは、笛吹市長田1号墳の様相とは異なるものである（笛吹市教育委員会2014）。これは、長田1号墳が6世紀中頃の築造であるに対し、調査された古墳が6世紀末から7世紀初頭に築造されたことによるものだと考えられる。おそらく、6世紀末以降、湖西産須恵器が山梨県内へ大量に流通するという現象があったことが想定される。

その中にあって、胎土中に花崗岩類を多く、緑色変質火山岩類も含有する壺が数点みられる。この須恵器は、1号墳ばかりではなく、2・3号墳からも採集されている（第33図5・6、第35図7）。外面は並行タタキメ痕を内面には青海波文を明瞭に残している。焼成もややあまく、外面には無数の亀裂が確認できるやや粗悪品といえるものである。広く流通したものと考えるよりも、限定的に流通したものと考えられるものである。

山梨県は、古墳時代において窯業生産が低調な地域であり、窯跡は、笛吹市境川町に6カ所ほどが知られるのみであり（境川村1977・橋本1979）、その生産はきわめて限定的である。そのうち、出土遺物が明確なのは牛居沢窯跡、下向窯跡である。下向窯の製品は採集品が数点知られるだけであり、その様相は明らかではないが、TK209段階の須恵器が確認されている。時期的にみれば近似した時期と考えることもできるが、本古墳群出土須恵器のような特徴をもつ遺物は出土していないようである。また、牛居沢窯跡は、発掘調査が実施され、7世紀後半でを中心とした窯跡が3基確認されている（山梨県教育委員会1990b）。発掘資料の中には、本古墳群出土の壺の特徴を有したような資料は確認できなかった。⁽³⁾須恵器壺の胎土中に含有する花崗岩類、緑色変質火山岩類は、境川・八代地域が母岩地域であることから、この周辺において焼成・供給された可能性が指摘できる。

註

- (1) 浜松市博物館鈴木敏則氏のご教示による。
- (2) 新潟大学橋本博文氏、笛吹市教育委員会野崎進氏のご教示による。
- (3) 山梨県立考古博物館のご配慮により実見。

第2節 象嵌鍔について

竹居1号墳からは、4点の鍔が出土している。八窓の象嵌鍔、多円孔鍔、無窓鍔、小形無窓鍔である。また、刀装具として象嵌をもつ籠、切羽などもみられる。

おそらく、八窓象嵌鍔、象嵌をもつ籠、切羽がセットとなるものであり、八窓象嵌鍔・円孔鍔・無窓鍔を装着した太刀3振、小形の無窓鍔を装着した小刀1振分が副葬されていたものとみてよい。

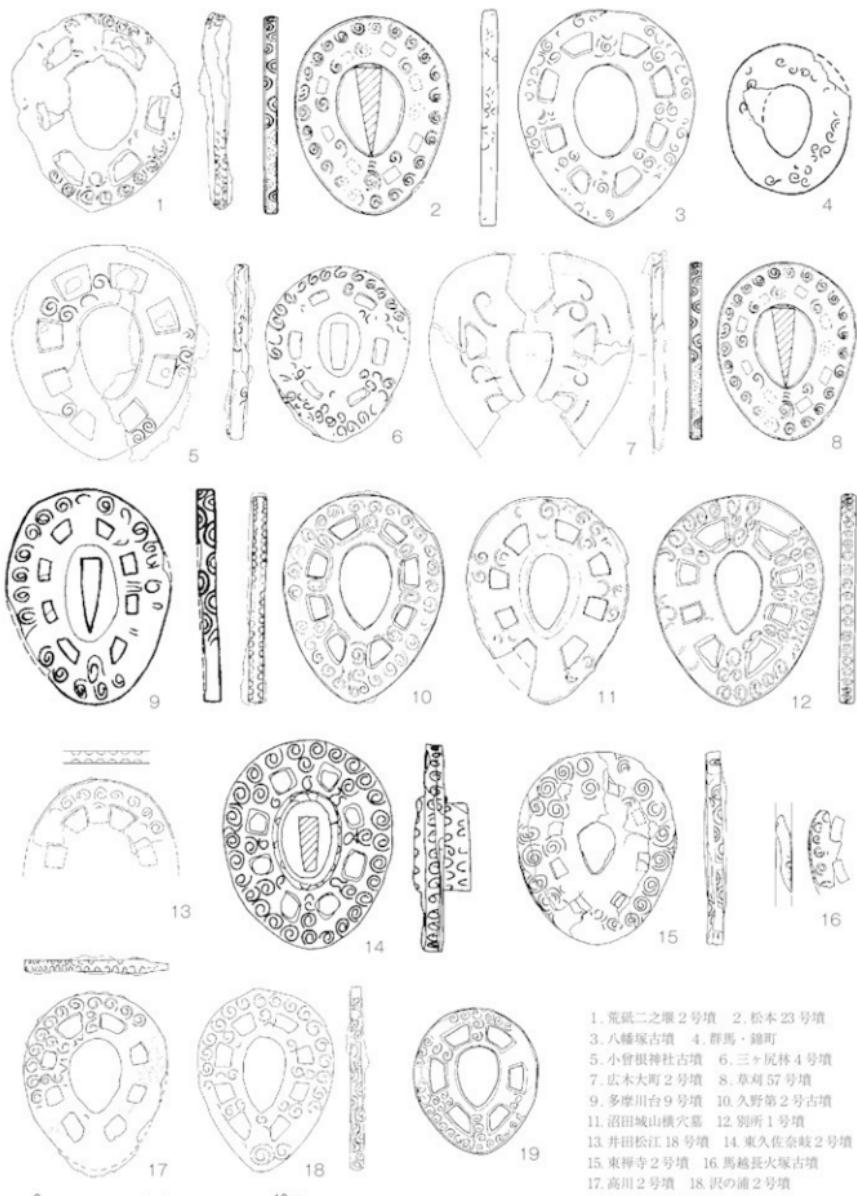
ここでは、象嵌装大刀に絞って位置づけを行ってみたい。

鍔の面に施される象嵌については、橋本博文氏の研究がある（橋本1993）。橋本氏は、象嵌文様の系列を唐草文様系列、C字文系列、ハート形文系列、渦文系列の4系列に分類し、それぞれの系列を5段階に分け、変遷を明らかにしている。

竹居1号墳から出土した象嵌鍔は、面の外縁部に右巻きを主体とした渦巻文を巡らせ、八窓の透し孔間に渦巻文が連結したS字状の文様を配している。

橋本氏の研究によれば、渦文系列は、C字文系列から6世紀第4四半期（第3段階）に分派して出現したとされる。第3段階の事例として天理参考館蔵例（第39図19）を、第4段階の事例として東禪寺2号墳例（同15）を、第5段階の事例として群馬・錦町（綿桐生市2号墳）（同4）例を挙げている。

天理参考館蔵例は面の縁辺に字状の渦巻文を巡らせ、透し孔間に2～4個の渦文を配しているが、縁取りがないことから新相としている。東禪寺2号墳例は、八窓の透し孔が縮小、縁部および透し孔間の渦文は大きくなる。綿桐生市2号墳例は、小形の無窓鍔で渦巻文の配列に規則性はみられなくなる。渦文系列は、「新しくなるにつれ、透し孔間に充填される文様帶は大陸になり、かつ少なくなる傾向がある」と指摘される。



第39図 竹居1号墳出土象嵌鏡の類例

1. 荒原二之塚2号墳
2. 松本23号墳
3. 八幡塚古墳
4. 群馬・錦町
5. 小曾根神社古墳
6. 三ヶ尻林4号墳
7. 広木大町2号墳
8. 草刈57号墳
9. 多摩川台9号墳
10. 久野第2号古墳
11. 沼田城山横穴墓
12. 別所1号墳
13. 井手松江18号墳
14. 東久佐奈岐2号墳
15. 東釋寺2号墳
16. 馬越長火塚古墳
17. 高川2号墳
18. 津の浦2号墳
19. 天理参考館蔵品

竹居1号墳の象嵌鍔は、台形の八窓の透し孔を穿ち、面の縁部に右巻きを主体とする渦巻文をもち、透し孔間には渦巻文が連結したものを1単位ずつ配して、側面には交互二重半円文を施している。このように、面に渦巻文をもち、側面に半円文を施す例として、大谷宏治氏によって22例が集成されている（大谷2012）。

竹居1号墳例の特徴的な文様は、透し孔間に配された渦巻文が連結したS字状文であろう。このような文様をもつ例に、兵庫県高川3号墳例（同17）がある。また、透し孔間ではないが、神奈川県久野第2号古墳例（同10）の外縁にみられ、C字文系列であるが静岡県東平1号墳出土の2点にもみられる。西澤正晴氏は、この東平1号墳の2例を橋本編年の3段階の新しいものとして位置づけている（西澤2002）。

面に渦巻文をもち、側面に交互二重半円文をもつ象嵌鍔は、福島県跡見塚古墳群・同鎧木田古墳、群馬県松本23号墳（同2）、千葉県草刈57号墳（同8）、神奈川県多摩川台9号墳（同9）・愛知県東禅寺2号墳、兵庫県沢の浦2号墳（同18）などの例がある。

その中で先にも触れたように、面の文様構成をみると、高川2号墳例が鍔の大きさ、透孔の形態、文様構成とも竹居1号墳例と類似する。また、沢の浦2号墳例は、面に渦巻文が連結した文様はみられないが、刃側の外縁部の渦巻文が大きくなる点は竹居1号墳例と同様である。

橋本氏が第4段階として例示した東禅寺2号墳例は、渦巻文が大きく巻き数が多くなり、渦巻文と渦巻文の間隔もやや広くなっている。八窓ではあるが、透し孔は小形化する。渦巻文の巻き数が多いのは、多摩川台9号墳例とともに竹居1号墳例と類似する。

竹居1号墳例は、面の文様構成、透し孔の形態などの比較検討から、高川2号墳、沢の浦2号墳例に類似し、渦巻文の巻き数は、東禅寺2号墳、東久佐岐2号墳、多摩川台9号墳例に類似する。巻き数が多くなるのが新相だとみれば、八窓でありながら透し孔が縮小する東禅寺2号墳、多摩川台9号墳例より古く、高川2号墳、沢の浦2号墳例より新しいと位置づけることができよう。

また、側面の文様については、滝瀬氏の論考がある。氏は、鍔の側面にのみ象嵌を施す資料について分析を行い、八窓鍔もしくは六窓鍔で交互（重）半円文が施されるものは、TK209型式期後半に相当するとしており、この変化は側面と両面に象嵌が施される象嵌装大刀においても、応用可能だとする（滝瀬・野中1995）。

前節において、1号墳の築造時期の検討を行い、出土した須恵器から6世紀末から7世紀初頭となる可能性を指摘した。象嵌鍔は、象嵌彫、円孔彫などとともに第2次閉塞石下から出土している。閉塞石下からは、提瓶（第26図1）の破片も出土している。提瓶は、球形の胴部に細長い単純な口縁部を付すもので、肩部には環状把手が付くものである。類例としては多くない（池上1985）、群馬県奥原53号墳、宮城県小寺町5号墳などに類例が知られる。およそ7世紀前半代のものといえるであろう。この遺物によって、閉塞石下の遺物の時期がある程度推定できる。閉塞石下の遺物は古墳築造時期に近いもので、6世紀末から7世紀前半段階が想定される。

沢の浦2号墳は、TK209形式期に比定されており、第2次閉塞石下より発見された竹居1号墳の象嵌鍔が、上記のような想定が可能だとすれば、TK209形式期に副葬されたものといえ、鍔側面文様の研究成果と併せても、時間的な齟齬はないものと考える。

竹居1号墳からは、鍔が4点出土しているにもかかわらず、刀身は破片も含め全く確認されていない。このため、象嵌装大刀がどのような形であったのか不明であるが、類似した象嵌鍔をもつ兵庫県沢の浦2号墳、同高川2号墳、千葉県草刈57号墳例では、頭椎大刀の可能性が高いという（大谷2012）。とくに草刈57号墳例は出土状況から木製の頭椎大刀であったことが指摘されている（千葉県教育振興財團文化財センター2007）。竹居1号墳では、象嵌装鍔・鍔・切羽の存在から、上記の例のように頭椎大刀であった可能性が高いが、盗掘により石室内の状態が良好ではなかったため、頭椎が金銅製であったのか木製であったのか明らかにすることは出来ない。

竹居1号墳では、鍔および刀装具が多く確認されているにも関わらず、刀身がまったく確認されないこと

に関しては、本来刀身に装着されているはずの鍔をはじめとした刀装具が遺されていることから、盗掘時に刀身だけが持ち出されたと考えるのは不自然である。鞘に付属する資金具も数点出土していることから、少なくとも鞘は副葬されていたものと思われる。当初より刀装具だけ副葬したのか、副葬の際に刀装具を外して副葬、追葬の際の片付けによって、刀身と刀装具が分離したなどが可能性として考えられる。別に副葬、片付けしたものと刀身だけ持ち出されたことも想定される。このことについては、今後の調査事例の増加を待って考えてみたい。

挿図出典

- 第39図1. 荒砥二之塚2号墳 財團法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1985を改変。 2. 松本23号墳 村岡・関・徳江 1998を改変。 3. 八幡塚古墳 村岡・関・徳江 1998を改変 4. 群馬・錦町 西山・李・山口 1996。 5. 小曾根神社古墳 滝瀬・野中 1995。 6. 三ヶ尻林4号墳 滝瀬・野中 1995を改変。 7. 広木大町2号墳 滝瀬・野中 1995。 8. 草刈57号墳 千葉県教育振興財团文化財センター 2007。 9. 多摩川台9号墳 西山・李・山口 1996を改変。 10. 久野第2号古墳 小田原市教育委員会 1996。 11. 沼田城山横穴墓 清水 1994。 12. 別所1号墳 川江 1992を改変。 13. 井田松江18号墳 戸田村教育委員会 2000。 14. 東久佐奈岐2号墳 清水市教育委員会ほか 1984を改変。 15. 東禅寺2号墳 松村 1981を改変。 16. 馬越長火塚古墳 豊橋市教育委員会 2012。 17. 高川2号墳 兵庫県教育委員会 1991を改変。 18. 津の浦2号墳 兵庫県教育委員会 1987を改変。 19. 天理参考館蔵品 山内 1988を改変

第3節 竹居古墳群の位置づけ

これまで浅川扇状地の古墳については、発掘調査が実施された事例はほとんどなく、第2章第2節で触れたように、耕作等によって莊塚古墳や古柳塚古墳から副葬品が偶然発見された程度である。竹居古墳群中の蝙蝠塚第1号墳が唯一の例といえる。蝙蝠塚第1号墳は、盗掘に遭ったためか古墳に伴う副葬品もほとんど出土しておらず、古墳の様相をうかがい知ることは出来なかった。

竹居1号墳も盗掘によって、石室内に副葬品はほとんど残っていないかったにもかかわらず、閉塞石の石室内への追加行為によって、副葬品の一部が盗掘を免れたのは幸いであった。その中には八窓象嵌鍔、多円孔鍔などが含まれている。

山梨県内から出土した象嵌遺物は、円頭柄頭・鍔を出土した甲府市稻荷塚古墳（山梨県教育委員会 1988）、同米倉山出土の鍔（岡野 1994）、笛吹市古柳塚古墳の圓頭柄頭（古柳塚古墳研究会 2004）、同梅沢無名墳出土の鍔（山梨県 1999）、同四ツ塚26号墳の綠金具（山梨県教育委員会 1999）、同境川田出土品（西山 1986）、南アルプス市曾根遺跡出土の鍔（南アルプス市教育委員会 2011）などが知られるに過ぎない。その他に、個人所有（鍔）のものがあるが、出土地は不明である（末木 1998）。

これらのうち、古墳の内容が明らかになっているのは、稲荷塚古墳のみである。稲荷塚古墳は、全長 8.2 m、玄室長 6 m、羨道長 2.2 m を測る自然石を用いた右片袖型の横穴式石室墳である。石室内からは、銀象嵌円頭大刀、鉄鎌、刀子、轡・鏡・飾金具・雲珠などの馬具、甲冑小札類、銅鏡、水晶製切子玉、土玉、金環、土師器、須恵器などが出土している。出土遺物などから、6世紀末頃に築造されたものであり、丘陵下に位置する博物館構内古墳に継続する中道地域の盟主墳であると考えられている。

古柳塚古墳は、主体部の規模等は不明であるが、透彫糸心葉形鏡板付轡、金銅製辻金具、壺鏡など優秀な遺物が伴出している。

四ツ塚26号墳は、全長 5.4 m ほどの横穴式石室をもつ。盗掘による結果か、副葬品には勾玉、切子玉、ガラス小玉、鉄鎌などが知られるに過ぎない。四ツ塚古墳群中においてはそれほど規模的には大きいものではない。

竹居1号墳も石室全長 7.4 m を測り、山梨県内における後期群集墳中においては比較的規模の大きな古墳

であるといえ、竹居古墳群中においても大形埴に属することが想定される。しかしながら、古柳塚古墳の例などを引くまでもなく、八代地域における有力墳は浅川扇状地扇端部の平坦地に位置する古墳であった可能性が高い。

装飾大刀は、一部地方で製作されたという考え方もあるが、畿内で製作されたものが畿内政権によって下賜された威信財であると考え方が大勢を占める。また、佩用者の性格については、6世紀後半には地方有力豪族層であったのに対し、6世紀末から7世紀前半にかけては地方でもさほど有力でない中流の豪族層にまで広がった（瀧瀬1986）、もので、地域小首長ないし有力家父長層だとしている（橋本1986）。

このような考え方は、圓頭太刀をはじめとする装飾大刀のみならず象嵌装大刀についても同様な性格を与えることも可能であることが指摘されている（瀧瀬・野中1996）。

地域において最有力とは言えない、浅川扇状地扇央部に点在する古墳に象嵌装大刀が副葬されていた事実は、上記のような指摘を裏付けるものだといえよう。

竹居古墳群の上位に位置する御崎古墳は、長さ8m、幅15mほどの横穴式石室を有していたと推定されている。副葬品には須恵器、鉄釧、鉄鎌、馬具、丸玉、ガラス小玉がある。そのうち馬具は、鏡板、杏葉、辻金具、飾り金具、蛇尾金具、鞍金具などが出土している。これらの多くは金銅製で毛彫りが施された豪華なものである。この遺物は東国中心に分布し、蘇我氏の東国經營にかかる東山道中心に配布された文物であるとされる（田中1980）。

以前、山梨県内出土の装飾大刀について、甲府盆地南東部地域出土例が多いことを指摘した（宮澤1989）。その後、竹居1号墳例も含め類例の増加はあるものの、その傾向には変わりはない。八代地域を含む甲府盆地南東部地域が、前期から中期にわたり有力古墳を築造した地域勢力が、後期に至っても有力な古墳を築造し続けた伝統的な地域であり、群集する古墳においてもこれらの副葬品がみられることは、地域勢力の強さを誇っていたことを物語るものといえる。

参考文献

- 池上悟 1985「古墳出土の須恵器について～フ拉斯コ形提瓶～」『立正大学人文科学研究所年報』23号 立正大学人文学科研究所
池上悟 2011「東國後期古墳出土大刀の様相」『大学院紀要』第27号 立正大学大学院文学研究科
岡野秀典 1994「米倉山出土の銀象嵌刀鉗」『丘陵』第14号 甲斐丘陵考古学研究会
大谷宏治 2003「遠江・駿河・伊豆における古墳時代後期の鉄鎌の変遷とその意義」『研究紀要』第10号 財静岡県埋蔵文化財調査研究所
大谷宏治 2012「象嵌装大刀の捲えについて」『馬越長火塚古墳群』 豊橋市埋蔵文化財調査報告書 第120集 豊橋市教育委員会
小田原市教育委員会 1996「久野第2号墳」
小野正義 1999a「御坂町井之上の陶棺」「山梨県史」資料編2 原始・古代2 山梨県
小野正義 1999b「御坂町井之上の陶棺」「国学院大學考古学資料館紀要」第15輯 国学院大学考古学資料館
折原洋一 1997「房総地域における有窓（孔）鉗について」『生産の考古学』 倉田秀郎先生古希記念会
角南聰一郎・田部剛士 2002「古墳出土砥石の基礎的研究—近畿地方の事例—」『奈良大学大学院研究年報』Vol.7号 奈良大学大学院
川江秀季 1992「御大刀」「静岡県史」資料編3 考古3 静岡県
古柳塚古墳研究会 2004「古柳塚古墳の研究」「帝京大学山梨文化財研究所研究報告」第12集 帝京大学山梨文化財研究所
財团法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1985「荒砥二ノ原遺跡」 昭和55年度県営圃場整備事業荒砥南部地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書
境川村役場企画室 1978『境川村誌』 境川村役場
坂本美夫 1985「馬具」考古学ライブラリー34 ニュー・サイエンス社
野野原 2006「古墳出土の砥石」『財团法人大阪府文化財センター・日本民家集落博物館・大阪府立弥生文化博物館・大阪府立近づ飛鳥博物館 2004年度 共同研究成果報告書』 財团法人大阪府文化財センター
清水市教育委員会ほか 1984「東久佐奈岐古墳群（3・4・6号墳・宮平1遺跡）発掘調査報告書」
清水久男 1995「多摩川台古墳群出土の銀象嵌装大刀」「大田区立郷土博物館紀要」第5号 大田区立郷土博物館
鈴木敏則 2001「古墳時代須恵器編の再構築」『須恵器生産の出現から消滅』第5分冊 補遺・論考編
瀧瀬誠・西澤正晴 2000「井田松江18号墳出土の象嵌刀装具類について」『井田松江古墳群』 戸田村教育委員会

- 瀧瀬芳之 1986 「円頭大刀・圭頭大刀の編年と佩用者の性格」『考古学ジャーナル』No.266 ニュー・サイエンス社
- 瀧瀬芳之・野中仁 1995 「埼玉県内出土象嵌遺物の研究」『研究紀要』12 埼玉県埋蔵文化財事業団
- 田中新史 1980 「東国終末古墳出土の馬具」『古代探査』1
- 千葉県教育振興財团文化財センター 2007 「千原台ニュータウンXVI -市原市草刈跡G地区・古墳群(P区)』 千葉県
教育振興財团調査報告書第567集 獨立行政法人都市再生機構千葉地域支社・財团法人千葉県教育振興財团
- 西澤正晴 2002 「遠江・駿河における鉄製板鏡の変遷と展開」『研究紀要』第9号 財團法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
- 豊橋市教育委員会 2012 「馬越長火塚古墳群」 豊橋市埋蔵文化財調査報告書 第120集
- 西山要一・李牛憲・山口誠治 1996 「日韓古代象嵌遺物の基礎的研究(1)」『青丘学術論集』第9集 財團法人韓國文化研究
振興財團
- 橋本博文 1979 「甲斐の須恵器(その1)」「丘陵」第6号 甲斐丘陵考古学研究会
- 橋本博文 1986 「銀鏡象嵌装飾円頭大刀の編年」『考古学ジャーナル』No.266 ニュー・サイエンス社
- 橋本博文 1993 「亀甲繁鳳鳳文象嵌大刀再考」『翔古論集』久保哲三先生追悼論文集刊行会
- 兵庫県教育委員会 1987 「沢の浦古墳群」
- 兵庫県教育委員会 1991 「高川古墳群」
- 笛吹市教育委員会 2014 「長田1号墳」 笛吹市文化財調査報告書 第30集
- 戸田村教育委員会 2000 「井田松江古墳群」
- 松村冬樹 1981 「名古屋市守山区東暉寺2号墳出土の銀象嵌遺物について」『名古屋市博物館研究紀要』第5巻 名古屋市博物館
- 水野敏典 2003 「鉄鏡にみる後期古墳の諸段階」『シンポジウム 後期古墳の初段階』 第8回東北・関東前方後円墳研究会大
会発表要旨資料
- 南アルプス市ほか 2011 「曾根遺跡(第2地点)」 南アルプス市埋蔵文化財長さ報告書第28集
- 宮澤公雄 1989 「後期古墳から見た甲府盆地の様相」『山梨考古学論集』II 山梨県考古学協会
- 村岡泰子・関邦一・徳江秀夫 1998 「邑楽町松本23号墳出土の象嵌大刀」『研究紀要』15 群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 森幸彦 2003 「福島県内出土の象嵌資料」『研究紀要』2003 福島県文化財センター白河館
- 八代町 1975 「八代町誌」
- 八代町教育委員会 1972 「蝙蝠塚第1号墳の發掘」
- 八代町教育委員会 1988 「山梨県東八代郡八代町跡詳細分布調査報告書」 八代町埋蔵文化財調査報告書 第7集
- 山梨県 1999 「山梨県史」資料編2 原始・古代 考古(造営・遺物)
- 山梨県教育委員会 a 1990 「笛荷塚古墳」 山梨県埋蔵文化財センター調査報告 第38集
- 山梨県教育委員会 b 1990 「山梨県生産遺跡分布調査報告書」 山梨県埋蔵文化財センター調査報告 第51集
- 山梨県教育委員会 1999 「南西田遺跡・西林遺跡・四ツ塚古墳群」 山梨県埋蔵文化財センター調査報告 第162集
- 山内紀嗣 1988 「天理参考館所蔵の鉄地銀象嵌頭椎把頭」『天理参考館報』創刊号 天理参考館
- 行田裕美 1997 「有孔紙石考」『年報 津山弥生の里』第4号(平成7年度) 津山弥生の里文化財センター

おわりに

今回の竹居古墳群の発掘調査において、2基の横穴式石室墳の調査を実施した。古墳の残存状況は良好ではなかったものの、さまざまな発見があり、これまで不明であった竹居地区に点在する後期古墳群の実体の一端ではあるが明らかにすることことができた。

とくに、1号墳から発見された銀象嵌刀装具類は多くの問題を提起した。八窓象嵌鍔は、威信財として畿内政権が製作・配布した遺物であると考えられている。八代地域が古墳時代前期以来、甲府盆地内で有力な地域で有りつけた結果、竹居地区の古墳も畿内政権と接点を持つことができたと考えられる。1号墳の被葬者は地域における有力家長層であったのだろうか。

また、盗掘の要き目に遭っているとはいえ、副葬品中に鍔が4点も発見されているにもかかわらず、刀身が全く確認できなかったことについては、今後検討しなければならないであろう。

発掘調査は、平成26年11月6日より開始し、年末年始を挟み1月30日まで実施した。天候不順な年の瀬であり、幾度となく降雨があり、年が明けてからは数度の降雪にも見舞われた。調査期間も十分に確保できなかった厳寒期の発掘調査であり、微細なガラス小玉の検出や散乱する人骨に足の踏み場もない狭い石室内での作業であったにもかかわらず、工期内に調査を完了することができたのは、調査に参加されたスタッフの協力によるところが大きい。また、発掘調査報告書刊行に向けた整理作業においてもさまざまな方々のご協力、努力があったことにより、ここに調査報告書を刊行することができました。

最後になりましたが、発掘調査ならびに発掘調査報告書刊行にあたり、ご参加、御協力いただいた方々に御礼申し上げます。



1. 1号墳モザイク写真

図版 2



1. 1号填石室全景



2. 1号填石室



1. 1号墳調査開始前



2. 1号墳調査開始前（除草後）



3. 1号墳奥壁



4. 1号墳右侧壁



5. 1号墳左侧壁



6. 1号墳閉塞石



7. 1号墳閉塞石内側



8. 1号墳前部

図版 4



1. 1号墳前底部右石列



2. 1号墳前庭部石列（上層）



3. 1号墳前庭部礫検出状況（1）



4. 1号墳前庭部礫検出状況（2）



5. 1号墳第1次閉塞石内側



6. 1号墳第1次閉塞石基底部



7. 1号墳遺物出土状況（1）



8. 1号墳遺物出土状況（2）



1. 1号填埋物出土状況（1）



2. 1号填埋物出土状況（2）



3. 1号填埋物出土状況（3）



4. 1号填埋人骨検出状況（1）



5. 1号填埋人骨検出状況（2）



6. 1号填埋人骨・馬の歯検出状況



7. 1号填埋第2次閉塞石下遺物出土状況（1）



8. 1号填埋第2次閉塞石下遺物出土状況（2）

図版 6



1. 1号填第2次閉塞石下遺物出土状況（3）



2. 第2次閉塞石下遺物出土状況（4）



3. 1号填第2次閉塞石下人骨検出状況



4. 1号填前庭部遺物出土状況（1）



5. 1号填前庭部遺物出土状況（2）



6. 1号填前庭部遺物出土状況（3）



7. 1号填西侧填丘



8. 1号填西侧周溝



1. 1号填埴丘西侧断面



2. 1号填奥壁裏断面



3. 1号填敷石除去状況



4. 1号填掘り方



5. 1号填出土人骨保存処理状況



6. 1号填調査風景（1）



7. 1号填調査風景



8. 竹居古墳群遠景



1. 2号墳モザイク写真



1. 2号填砾床検出状況



1. 2号填完掘

図版 10



1. 2号填調査開始前



2. 2号填調査開始前（除草後）



3. 2号填閉塞石除去状況



4. 2号填遺物出土状況（1）



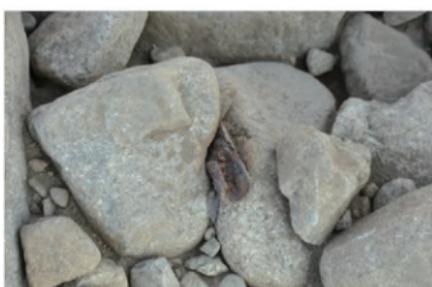
5. 2号填遺物出土状況（2）



6. 2号填遺物出土状況（3）



7. 2号填遺物出土状況（4）



8. 2号填遺物出土状況（5）



1. 2号填遺物出土状況（6）



2. 2号填遺物出土状況（7）



3. 2号填遺物出土状況（8）



4. 2号填遺物出土状況（9）



5. 2号填遺物出土状況（10）



6. 2号填床石除去状況



7. 2号填掘り方



8. 2号填調査風景



1. 3号墳モザイク写真



2. 3号墳調査開始前



3. 3号墳調査開始前(除草後)



4. 3号墳発掘



8. 3号墳填丘セクション



出土遺物（1）

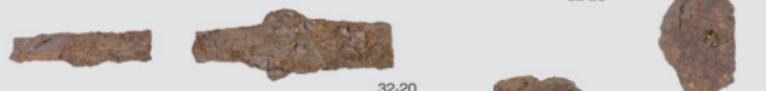


出土遺物（2）



出土遺物 (3)

図版 16





出土遺物（5）

図版 18



出土遺物（6）



出土遺物（7）

象嵌刀装具 X 線写真

竹居古墳群発掘調査報告書抄録

ふりがな	たけいこふんぐん
書名	竹居古墳群
副書名	中山間地域総合整備事業八代地区竹居2工区 ほ場整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ名	笛吹市文化財調査報告書
シリーズ番号	植月 学・宮澤公雄
著者名	33
発行者	山梨県東農務事務所 笛吹市教育委員会 公益財団法人山梨文化財研究所
編集機関	公益財団法人山梨文化財研究所
住所・電話	〒406-0032 山梨県笛吹市石和町四日市場1566-2 TEL055-263-6441
印刷日	2016年3月24日
発行日	2016年3月28日
所在地	山梨県笛吹市八代町竹居1630番地外
地図名	25,000分の1地形図 石和
位置	北緯35度39分18秒、東経138度39分07秒
標高	376m
市町村コード	19211
調査原因	中山間地域総合整備事業八代地区竹居2工区ほ場整備工事
調査期間	2014年11月6日～2015年1月30日
調査面積	298m ²
遺跡概要	主な時代 古墳時代
	主な遺構 横穴式石室墳2基
	主な遺物 土器（土師器・須恵器）、武器（刀装具・鉄劍）、農工具（鉄斧・刀子） 馬具（轡・飾り金具）、装身具（金環・勾玉・切子玉・丸玉・ガラス小玉） 象嵌刀装具（鍔・鑓・切羽）

竹居古墳群

— 中山間地域総合整備事業八代地区竹居2工区
ほ場整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 —

2016年3月24日 印刷

2016年3月28日 発行

編集 公益財団法人山梨文化財研究所
山梨県笛吹市石和町四日市場1566-2 Tel. 055-263-6441

発行 山梨県東農務事務所
笛吹市教育委員会
公益財団法人山梨文化財研究所